

カンボジア王国
政府統計能力向上計画フェーズ2
実施協議報告書

平成 19 年 4 月
(2007 年)

独立行政法人国際協力機構
社会開発部

社会
J R
07-31

カンボジア王国
政府統計能力向上計画フェーズ2
実施協議報告書

平成19年4月
(2007年)

独立行政法人国際協力機構
社会開発部

序 文

カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）の政府統計は、1998年に36年ぶりに人口センサスが実施され、統計整備の重要な第一歩となりました。しかし、依然として体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されています。一方、2005年5月、新統計法が成立し、少なくとも10年に1回、人口センサスを実施することが規定されました。したがって、1998年から10年目にあたる2008年に人口センサスを実施することが法律上必要とされており、2008年人口センサスの円滑な実施に向けてカンボジア計画省統計局（NIS）の組織強化や体制整備が緊急な課題となっています。

2005年8月、NIS及び各省庁統計部局の人材育成を強化し、政府統計能力を向上させることを目的として、統計研修を中心とした政府統計能力向上計画（フェーズ1）が開始されました。その後、2006年1月30日に人口センサス令が発令され、2008年3月に人口センサスを実施することが確定しました。このような状況のもと、人口センサスそのものに対する技術協力を中心としたフェーズ2を新たに発足するべくカンボジア政府よりフェーズ2の申請書が提出されました。

これを受けて、JICAは2006年11月に事前評価調査団を派遣し、主として2008年人口センサス実施支援のプロセスの中で、NIS職員、計画省州事務所統計担当職員及び関係省庁統計担当職員の人材育成、並びに組織としての経験を蓄積していくことを目指したプロジェクトの実施をNISと合意し、2006年12月に討議議事録（R/D）を締結することにより、本プロジェクトを2004年4月から2010年9月まで3年半の計画で実施することとなりました。

本報告書は、上記事前評価調査団の調査結果と、それに基づくR/D、事業事前評価表等を取りまとめたものであり、今後の本プロジェクトの実施にあたり、広く活用されることを願うものです。

終わりに、これらの調査にご協力とご支援をいただいた外務省、総務省統計局、総務省統計研修所、在カンボジア国日本国大使館など、内外関係各機関の方々に心から謝意を表するとともに、引き続き本プロジェクトに対する支援をお願い申し上げる次第です。

平成19年4月

独立行政法人国際協力機構

社会開発部長 岡崎 有二

目 次

序 文
目 次
略語表
地 図
写 真

第1章 要請背景	1
第2章 調査・協議の経過と概略	2
2-1 事前評価調査	2
2-2 R/D 署名	3
第3章 事業事前評価表	7
付属資料	
1. 討議議事録 (R/D)	17
2. ミニッツ (M/M)	29
3. 事前評価調査報告書	35

略 語 表

IT	Information Technology	情報技術
LAN	Local Area Network	ローカル・エリア・ネットワーク
MDG	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ
NIS	National Institute of Statistics	計画省統計局
OJT	On the Job Training	オン・ザ・ジョブ・トレーニング
PC	Personal Computer	パーソナル・コンピューター
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
R/D	Record of Discussions	討議議事録
UNFPA	United Nations Population Fund	国連人口基金



事前評価調査団



NIS 局長会談



Prey Veng 調査区設定作業



NIS 研修室



統計図書室



R/D 署名式



R/D 署名交換

第1章 要請背景

カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）の政府統計は、長期間にわたった内戦の影響からきわめて整備が遅れていたが、1990年代に入ってから国連等の支援により、徐々に整備が進められてきた。1998年には、国連人口基金（United Nations Population Fund : UNFPA）の支援により、36年ぶりに人口センサスが実施され、統計整備の重要な第一歩となった。しかし、カンボジアの政府統計は、依然、体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されていることも多い。

このような状況のもと、2004年8月、カンボジア政府は「2008年人口センサスへの技術指導、人材育成及び経済統計の改善」に対して5年間の技術協力プロジェクトを要請した。2005年5月事前評価を実施したが、その際、UNFPAの資金拠出の目処が立たず、人口センサス実施が未定となったことから、人口センサスを抱合したプロジェクトとせず、今後のカンボジア統計の基盤となる2008年人口センサスの円滑な実施が可能となるように、2005年8月、カンボジア計画省統計局（National Institute of Statistics : NIS）、地方統計部局及び各省庁統計部局の人材育成を強化し、政府統計能力を向上させることを目的として、統計研修を中心とした政府統計能力向上計画（フェーズ1）として開始された。なお、UNFPAの資金拠出の目処がたち、人口センサス実施が確定した場合には、フェーズ1を終了して人口センサスに向けたプロジェクトとする旨合意した〔討議議事録（Record of Discussions : R/D）上に記載〕。

その後、UNFPAの資金拠出が確定し、2006年1月30日に人口センサス令が発令され、2008年3月に次回の人口センサスが実施されることが決定し、同時に実施に向けての準備作業が開始された。このような状況のもと、上述のように、フェーズ1を終了させ、人口センサスに対する技術協力を中心としたフェーズ2を新たに発足するべくカンボジア政府より第2フェーズの申請書が提出された。

カンボジアの今後の発展のために、政府統計の能力向上及び2008年人口センサスの円滑な実施は重要な課題であり、特に、2008年人口センサスを通じて、NIS、地方統計部局及び各省庁統計部局の人材を強化して、政府統計能力を向上させることが必要である。このような状況のもと、2006年11月にJICAは事前評価調査団を派遣した。

第2章 調査・協議の経過と概略

2-1 事前評価調査

(1) 調査期間

2006年11月19日～11月28日

(2) 調査団の構成

氏名	担当	所属
熊谷 晃子	総括	JICA社会開発部第一グループ 社会制度・平和構築チーム長
石原 秀男	統計	総務省統計局統計調査部国勢統計課 統計専門官
塚本 秀夫	協力企画	JICA社会開発部第一グループ 社会制度・平和構築チーム主任

(3) 概要（詳細は付属資料3事前評価調査報告書参照）

事前評価調査においては、主としてNIS、UNFPA、計画省地域事務所、他省庁等と協議を行い、フェーズ1の進捗状況、フェーズ2のプロジェクト内容（活動、成果、目標や想定される協力期間と実施計画等）、必要な人員と機材や経費、プロジェクト実施妥当性等5項目評価等について確認し、その結果をミニッツ（Minutes of Meeting：M/M）に取りまとめた。

(4) プロジェクト内容に係る協議

主として2008年カンボジア人口センサスにUNFPA等と共同して協力し、その中でオン・ザ・ジョブ・トレーニング（On the Job Training：OJT）により統計能力向上をめざす。さらに、人材育成の観点だけではなく、NISの組織としての、人口センサス及びその他本プロジェクトで実施する関連統計に関する技術的蓄積の工夫の観点も盛り込む内容でNISと合意した。

上記をめざす過程での具体的成果物は、調査区地図、分析データの刊行物、センサスアトラス、各種統計表、マニュアル等となる（付属資料3．事前評価調査報告書 別添資料3のM/M参照）。

(5) プロジェクト実施・運営体制、必要な資金・機材等の調査

1) 実施・運営

NIS局長を総責任者、NISセンサス関係部門担当の副局長をプロジェクト実施責任者とし、センサス関係以外のプロジェクト実施内容部分については、プロジェクト実施責任者から各々の関係部門担当副局長を通じて指揮することとなる。また、集計、分析については、相当数の人員が必要となるが、NISのカウンターパート（付属資料3．事前評価調査報告書 別添資料3のM/Mにあるリストに添付。うち19人には実際に面談し、基本的に英語力に問題はなく、また自分の担当する部分において基礎的な知識も心得ていることを確認）が、NISの確保するその他の集計作業への指導員となって作業を実施していくことになる。

あわせて、地方計画局も4か所訪問し、都市、村落双方の地方の統計実施状況を聞き取り、調査区設定現場にも同行した。Provinceでは独自の価格調査その他地域レベルでの各種統計を実施し、取りまとめたレポートも発行しており、一定のレベルがあることを確認した。Province

レベルになると、英語を解する人はいないが、地域対象の研修には英語 - クメール語通訳をNIS職員が務め、また必要な指導もNIS職員を介して実施するのでこの点に大きな問題はないことを確認した。

訪問した地方計画局で聞いたところでは、1998年のセンサス経験者は比較的若手を含めてすべて残っているとのことであった。これは、人材の流動性が少なく10年後も同様な状況が期待できる一方、新しい人材が予算不足で雇用できない、過去の公務員の過剰雇用で自然減を待っている状況等も影響していると考えられる。

人口センサス結果の想定されるユーザの一部である関係省庁については2省訪問したが、例えば教育省からは、1998年のセンサス結果を、実際に政策策定（EFA 2003～2015、Education Strategic Plan 2005～2015）等に活用したことが紹介された。2008年についても同様の活用が期待される。

なお、センサスそのものについて、National Census Committee (NCC)、Census Technical Committee (CTC)、Provincial Census Committee (PCC) という実施体制が国家で既に組織されている（前二者）、もしくは組織される予定（後者）であり、各省庁間の調整は副首相が責任者となってNCCで、技術面は計画省上級大臣（M/M署名者）が責任者となってCTCで行われており、また（地方への指揮命令など）行政上の管理面はPCCで実施される予定である。

2) 資金・機材

資金面は、既にカンボジアの2008 General Population Census Planにおいて試算されている。その試算からJICAの技術協力部分を除いて、UNFPA、ドイツ政府が支援の意向を示している。さらに、日本のノンプロ無償見返り資金を含めればかなりの部分がカバーされることになるが、いまだ不足部分は残っており、ここについてはNISが予算を申請しているところとのことである。したがって、日本の見返り資金が担保されるかどうかは大きな意味をもつ。

機材面では、現在フェーズ1で研修に使用している機材、UNFPAからの寄贈の機材などがあり、空調とともによい状態で活用、保管されている。また、既に承認がなされた分の見返り資金による統計センターについては建設が始まっている。次回の見返り資金で集計作業用PCが導入された場合、現有の機材も統計センターに移され、今後の作業に活用される予定である。

ProvinceレベルではPC（Windows XPが入ったもの）が、訪問した地方計画局ではどこも最低1台は稼動しているものが入っており（それ以下の地域レベルではコンピューターはあっても壊れている状態が多い）、小地域統計の活用は可能な見込みである。

機材導入やプロジェクトの進行に影響するため、予定通りの統計センター完工や必要なファシリティ（コンセントや電力）確保などをNISに申し入れ、先方からは既に織り込んで建設に着手している旨回答があった（詳細は付属資料3. 事前評価調査報告書参照）。

2-2 R/D署名

(1) 署名日

2006年12月19日

(2) 署名者

米田 一弘 JICAカンボジア事務所長

(3) 概要

2007年12月19日、カンボジア計画省上級大臣H.E. Mr. Chhay Than及びNIS局長H.E. Mr. San Sy Thanとの間で、R/Dを署名、交換した。これにより、NISを実施機関とする「カンボジア国政府統計能力向上計画プロジェクトフェーズ2」が、2007年4月23日から2010年9月30日まで実施されることになった。

本プロジェクトの概要は以下のとおりである。

1) 上位目標

カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。

2) プロジェクト目標

計画省統計局、州計画局統計部局及び各省統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる。

3) 成果

- ①調査区設定作業が完了し、その成果が人口センサスの実施及びその後の各種統計に利用される。
- ②人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表される。
- ③人口センサスの統計表に基づき、その結果が適切に分析され、分析結果が公表される。
- ④人口センサス結果のデータベースが構築される。
- ⑤人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・Websiteにて提供される。
- ⑥人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。
- ⑦事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリング・フレームとして利用される。
- ⑧関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果等）、共通理解が得られる。
- ⑨人口センサスの各活動の手続の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアル等）が準備され、集積される。
- ⑩人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。

4) 活動

<人口センサス・企画及び調査の実施>

- 1.1 人口センサスの企画及び調査の実施並びにドナーとの調整
- 1.2 人口センサスの調査区設定の実施
- 1.3 人口センサスの調査区の維持・管理

<人口センサス・集計>

- 2.1 NISにおける人口センサスの集計システムの構築（UNFPAアドバイザーと共同で実施）
- 2.2 人口センサスの集計の実施
- 2.3 人口センサスの個別データの審査
- 2.4 人口センサスの結果表の作成及び審査

<人口センサス・分析>

- 3.1 人口センサス集計結果の分析（UNFPAアドバイザーと共同で実施）

<人口センサス・データベース>

- 4.1 NISにおける人口統計の統計データベースの構築
- 4.2 統計データベースの手続及びガイドラインの作成

<人口センサス・結果提供>

- 5.1 人口センサス報告書の編集
- 5.2 人口センサス結果のCDの作成
- 5.3 人口センサス結果のウェブコンテンツの作成
- 5.4 人口センサス結果に基づく統計地図の作成
- 5.5 人口センサス結果に基づくセンサスアトラスの作成
- 5.6 他省庁統計職員等に対する人口センサスの結果利用・分析に係る研修

<人口センサス・小地域統計>

- 6.1 NISにおける人口センサスのVillage別詳細集計システムの構築（UNFPAアドバイザーと共同で実施）
- 6.2 地方統計職員等に対する人口センサスのVillage別詳細集計結果の結果利用・分析に係る研修

<事業所リスティング>

- 7.1 事業所リスティングの調査企画の実施
- 7.2 事業所名簿の集計、分析及び提供
- 7.3 NISにおける経済統計調査用サンプリングフレームの構築
- 7.4 事業所統計のサンプル調査の実施

<ワークショップ>

- 8.1 プロジェクト開始時にセミナーを開催
- 8.2 調査区設定についてワークショップを開催
- 8.3 人口センサス結果公表時にワークショップを開催
- 8.4 プロジェクト広報のためのセミナーを開催

<インスティテューショナル・メモリー>

9.1 人口センサス詳細手続関連の文書の作成および修正

<コーディネーション>

10.1 人口センサスに関する調整委員会への参加

10.2 UNFPAその他ドナーとの会合および調整

(4) 投 入

1) 日本側投入

a) 専門家

①チーフアドバイザー、②集計／プログラミング、③調査区設定／統計GIS、④審査／分析、⑤データベース／結果提供、⑥小地域統計、⑦事業所リスティング、⑧人口センサス実施管理／業務調整

b) 本邦研修

①人口センサス（分析）、②人口センサス（小地域統計）、③事業所リスティング

c) 機材

①A 3カラー複合機、②A 4カラーコピー機、③サーバー一式、④外付けHDD、⑤ネットワーク関連機器、⑥プロジェクタ、⑦ソフトウェア等

2) 相手国側投入

a) カウンターパート：プロジェクトディレクター、プロジェクトマネージャー、他メンバー

b) 日本人専門家のための事務室及び事務用品

c) プロジェクト活動に係る運営経費

d) プロジェクト活動のために必要なデータへの自由なアクセスの承認（人口データ、経済データ等）

(5) 協力期間

2007年4月23日～2010年9月30日

第3章 事業事前評価表

<p>1. 案件名：(和文) カンボジア国政府統計能力向上計画フェーズ2 (英文) Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2</p>
<p>2. 協力概要</p> <p>(1) プロジェクト目標とアウトプットを中心とした概要の記述</p> <p>本プロジェクトは、2008年人口センサスの実施支援が中心であり、そのプロセスの中でNIS、州統計関連部局等の職員の人材育成並びに組織としての経験の蓄積をめざすものである。人口センサスは、国民を対象とする唯一の統計調査であり、経済政策の策定や指標として利用されるなど大変重要な意義をもつが、カンボジアにおいては1962年及び1998年に実施されたのみである。また、本プロジェクトにおける活動項目の一つである全国における事業所の名簿作成は経済統計の基礎となるが、当該名簿もカンボジアではいまだ作成されていない。</p> <p>本プロジェクトでは、調査区設定、集計・審査、分析、提供などや事業所リストの作成などの活動を通じて、刊行物やウェブサイト、統計地図など有用な成果物が作成され、人口センサスという国家事業が効果的に実施される。そして、専門家との共同作業を通じて、カウンターパート自身が個々にこれらの活動を実施できるようになる。また、人口センサス実施に関するマニュアル、プロセス、後々に参考となる事例を残すことにより、組織的な経験の蓄積を図る。カンボジアの今後の発展のために、政府統計の能力向上及び2008年人口センサスの円滑な実施は重要な課題である。本プロジェクトでは、主として2008年人口センサス、さらに一部経済統計調査を通じて、NIS、地方統計部局及び各省庁統計部局の人材を強化して、政府統計能力を向上させることをめざす。</p> <p>(2) 協力期間 2007年4月～2010年9月 (3.5年間)</p> <p>(3) 協力総額 (日本側) 約3.5億円</p> <p>(4) 協力相手先機関 NIS</p> <p>(5) 国内協力機関 NIS、総務省統計研修所、独法) 統計センター、財) 日本統計協会、財) 統計情報研究開発センター等</p> <p>(6) 裨益対象者及び規模、等 直接裨益者：NIS職員(約260人)、計画省州事務所統計担当職員(約380人)、主要関係省庁統計担当職員 間接裨益者：カンボジア国民：約13百万人</p>
<p>3. 協力の必要性・位置づけ</p> <p>(1) 現状及び問題点</p> <p>カンボジアの政府統計は、長期間にわたった内戦の影響からきわめて整備が遅れていたが、1990年代に入ってから国連等の支援により、徐々に整備が進められてきた。1998年には、UNFPAの支援により、36年ぶりに人口センサスが実施され、統計整備の重要な第一歩となった。しかし、カンボジアの政府統計は、依然、体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国</p>

や国際機関等から疑問視されていることも多い。また、開発指標の設定や支援効果の指標設定（MDG等の関連）等、開発政策を立案する際にも政府統計の精度が障害になっており、統計分野の組織強化や人材育成は重要であり、緊急な課題である。

カンボジアでは、新統計法が2005年5月、国王の署名を得て成立し、NISの各種統計調査に対する実施権限がさらに大きくなった。一方、国の基本統計の基盤をなす人口センサスのみならず、労働統計分野の労働力人口調査、経済統計分野の事業所調査、製造業生産調査等について、能力的及び資金的な問題から、NISは援助機関の協力なしにはこれらの調査を実施することが困難な状況が続いている。このような状況下、人材育成や経済統計の改善、人口センサスへの技術的支援を内容とする要請書が提出された。しかし、事前調査時に、2008年人口センサスへのUNFPAの資金協力が不明確であることが判明し、予定通りの実施が危ぶまれたことから、プロジェクトを統計分野の基礎的な能力強化を目的とした第1フェーズ（約2年）と、人口センサスの実施支援とそれを通じた人材育成を中心とした第2フェーズ（約3年）に分けて、第1フェーズを実施しつつ状況をみて、第2フェーズに移行することとなった。統計研修を中心として実施された第1フェーズ（2005年8月～2007年3月終了予定）では、統計に関する能力が大幅に向上している（研修前後において実施した理解度テストにおいて、理解度が平均43.5%から平均71.4%に上昇した）。今般、2008年センサス実施に向けてUNFPAなど他ドナーによる協力や資金拠出がなされることとなり、人口センサスの実施が確定したことで、カンボジア政府から第2フェーズの要請が提出されたものである。要請書では、集計、分析や結果提供など主として人口センサスにおける重要な部分、かつ日本の得意とする技術的分野における協力を求めている。

（2）相手国政府国家政策上の位置づけ

人口センサスをはじめとする政府統計調査は、社会経済開発計画（Socio Economic Development Plan : SEDP）、国家貧困削減戦略（National Poverty Reduction Strategies : NPRS）、カンボジア・ミレニアム開発目標（Cambodia Millennium Development Goals : CMDG）に関連する国家戦略開発計画（National Strategic Development Plan : NSDP）等の国家の基本的な政策を実施するうえで、重要な基礎資料の供給源である。新統計法では、10年に1回、人口センサスを実施することが規定されており、98年から10年目にあたる2008年にも人口センサスを実施することが法律上も必要となっている。また、国連は10年ごとに人口センサスを実施することを勧告しており、2008年の人口センサスはまさに実施が求められる状況となっている。このような状況のもと、2006年1月30日にフンセン首相による人口センサス令が発令され、2008年3月に次回の人口センサスが実施されることが決定し、同時に実施に向けての準備作業が開始されている。さらに、新統計法では、事業所調査も10年に一度実施する旨規定している。統計マスタープランにおいても事業所を調べることで、将来的なサンプルによる経済調査が可能となり、各省による統一的な産業分類を用いることが可能となることの重要性を強調している。

（3）我が国援助政策との関連、JICA国別事業実施計画上の位置づけ

本案件が属するグッドガバナンスは、フンセン首相が2004年7月に表明した国家開発戦略である「四辺形戦略」の中心に位置づけられている。カンボジア国別援助戦略でも、グッドガバナンスは4つの援助の柱のうち「持続的な経済成長と安定した社会の実現」の4項目のうちの一つに明示されている。また、JICA国別事業実施計画において、本案件は援助重点分野である「グッド・ガバナンスの推進」の中の「政府統計機能強化プログラム」に属している。

4. 協力の枠組み

[主な項目]

(1) 協力の目標（アウトカム）

1) 協力終了時の達成目標（プロジェクト目標）と指標・目標値

[目標]

計画省統計局、州計画局統計部局及び各省統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる。

[指標]

- ・ 計画省統計局における統計能力のある職員数
- ・ 州計画局統計部局及び各省統計部局における集計結果の利用・分析能力のある職員数

2) 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）と指標・目標値

[目標]

カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。

[指標]

- ・ NISの刊行物数及びその周期
- ・ NISの刊行物の数とその販売量
- ・ NISのウェブサイトへのアクセス数及び新規情報の追加

(2) 成果（アウトプット）と活動

1) 成果 1

調査区設定作業が完了し、その成果が人口センサスの実施及びその後の各種統計に利用される。

[指標]

- ・ 作成したVillage地図及び調査区地図の数
- ・ 作成したVillage地図及び調査区地図を利用した統計調査数

[活動]

- 1-1 人口センサスの企画及び調査の実施並びにUNFPAその他ドナーとの調整
- 1-2 人口センサスの調査区設定の実施
- 1-3 人口センサスの調査区の維持・管理

2) 成果 2

人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表される。

[指標]

- ・ 結果表数（作成された数、公表された数）
- ・ 個別データの件数（作成された件数）

[活動]

- 2-1 NISにおける人口センサスの集計システムの構築（UNFPAアドバイザーと共同で実施）
- 2-2 人口センサスの集計の実施
- 2-3 人口センサスの個別データの審査
- 2-4 人口センサスの結果表の作成及び審査

3) 成果3

人口センサスの統計表に基づき、その結果が統計的に分析され、分析結果が公表される。

[指標]

- ・分析結果の刊行物、論文及びパンフレットの数（作成された数、公表された数）

[活動]

- 3-1 人口センサス集計結果の分析（UNFPAアドバイザーと共同で実施）

4) 成果4

人口センサス結果のデータベースが構築される。

[指標]

- ・データベースに収録された統計表の件数
- ・データベースに収録された個別データの件数

[活動]

- 4-1 NISにおける人口統計の統計データベースの開発
- 4-2 統計データベースの手続及びガイドラインの作成

5) 成果5

人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・Websiteにて提供される。

[指標]

- ・刊行物、CD、ウェブサイト、統計地図及びセンサス・アトラスの数（作成された数、公表された数）
- ・研修の受講者数
- ・研修参加者の理解度

[活動]

- 5-1 人口センサス報告書の編集
- 5-2 人口センサス結果のCDの作成
- 5-3 人口センサス結果のウェブコンテンツの作成
- 5-4 人口センサス結果に基づく統計地図の作成
- 5-5 人口センサス結果に基づくセンサスアトラスの作成
- 5-6 他省庁統計職員等に対する人口センサスの結果利用・分析に係る研修

6) 成果6

人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。

[指標]

- ・District、Commune、Village及び調査区別の小地域統計表数（作成された数、公表された数）
- ・研修の受講者数
- ・研修参加者の理解度

[活動]

- 6-1 NISにおける人口センサスのVillage別詳細集計システムの構築（UNFPAアドバイザーと共同で実施）
- 6-2 地方統計職員等に対する人口センサスのVillage別詳細集計結果の利用・分析に係る研修

7) 成果7

事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリング・フレームとして利用される。

[指標]

- ・事業所名簿に収録されている事業所数

[活動]

- 7-1 事業所リスティングの調査企画の実施
- 7-2 事業所名簿の集計、分析及び提供
- 7-3 NISにおける経済統計調査用サンプリングフレームの構築
- 7-4 事業所統計のサンプル調査の実施

8) 成果8

関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果等）共通理解が得られる。

[指標]

ワークショップ又はセミナー開催数

[活動]

- 8-1 プロジェクト開始時にセミナーを開催
- 8-2 調査区設定結果についてワークショップを開催
- 8-3 人口センサス結果公表時にワークショップを開催
- 8-4 プロジェクト広報のためのセミナーを開催

9) 成果9

人口センサスの各活動の手続の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアル等）が準備され、集積される。

[指標]

手続に関する詳細記録の数

[活動]

- 9-1 人口センサス詳細手続関連の文書の作成および修正

10) 成果10

人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。

[指標]

ドナー間の会合の記録

[活動]

- 10-1 人口センサスに関する調整委員会への参加
- 10-2 UNFPAその他ドナーとの会合及び調整

(3) 投入（インプット）

1) 日本側

a) 専門家派遣

①チーフアドバイザー、②集計／プログラミング、③調査区設定／統計GIS、④審査／分析、⑤データベース／結果提供、⑥小地域統計、⑦事業所リスティング、⑧人口センサス実施管理／業務調整

b) 研修員受入れ（本邦もしくは第三国）

①人口センサス（分析）、②人口センサス（小地域統計）、③事業所リスティング

c) 供与機材

①A3カラー複合機、②A4カラーコピー機、③センサス用サーバー、④入力用PCのネットワーク関連機器、⑤プロジェクタ、⑥センサス用ソフトウェア（サーバー、データベース、インターネットサービス、アプリケーション構築並びにGIS用）等

2) カンボジア側

a) カウンターパート配置

プロジェクトディレクター、プロジェクトマネージャー、他メンバー

b) 日本人専門家のための事務室及び事務用品

c) プロジェクト活動に係る運営経費

d) プロジェクト活動のために必要なデータへの自由なアクセスの承認（人口データ、経済データ等）

(4) 外部要因（満たされるべき外部条件・前提条件）

- ・政策策定者が統計情報の重要性を認識する。
- ・必要な予算が確保される。
- ・各関係機関との必要な調整がNISによって行われる。
- ・人材が定着する。
- ・UNFPAアドバイザーが予定通り派遣される。
- ・2008年の総選挙により人口センサスの日程が変動しない。
- ・UNFPA及び他ドナーの2008年人口センサスへの協力が同センサス終了まで継続する。
- ・ノンプロ無償見返り資金などにより人口センサスに必要な資金が確保される。
- ・カンボジア政府が2008年人口センサスを延期または中止しない。
- ・統計センターが計画通り建設される。

5. 評価5項目による評価結果

(1) 妥当性

統計情報は、フンセン首相の提唱する四辺形戦略の中心に位置するグッドガバナンスを進めるうえでも、また、政府の諸活動をモニタリングするためにも重要である。NSDP(National Strategic Development Plan)は2006～2010年の開発ビジョンをまとめたものであり、CMDG等とも関連しているが、NSDPの活動の進捗のモニタリングのためにもタイムリーで信頼性のある統計は大変重要な意義をもっている。

人口センサスは全国民を対象とする唯一の統計調査であり、各種の政策や計画の基礎となるが、カンボジアでは援助機関の協力なしには技術的資金的に実施が困難な状況である。また、全国における事業所の名簿作成は経済統計の基礎となるが、当該名簿もカンボジアではいまだ作成されていない。

本案件は人口センサスや事業所リスティングの作成を支援するものであり、その成果として作成される調査結果は、政府の行政機能を強化するだけでなくカンボジアの開発政策にも重要であり、国別事業実施計画における「グッド・ガバナンスの推進」に貢献するといえる。また、2008年に実施される人口センサスにあわせてその前後の一連の活動をカバーするものであり、実施時期についても妥当である。

さらに、日本においては1920年から国勢調査が実施されているほか、統計に関する国際協力の経験も蓄積されており本件協力について高い技術力を有している。

これらの点から、本プロジェクトの妥当性は高いと判断される。

(2) 有効性

プロジェクトにおいては、人口センサスにおける調査企画・集計・分析・結果提供等の一連の活動により、統計表の作成、センサス結果の公表、関連書・CD・ウェブサイトの作成などが成果として発現される。また、経済統計として事業所リストを用いたサンプル調査も実施される。これらの活動と成果はNISや他の統計関連部局と共同で行うことにより人材が育成されるため、「人口センサスその他の統計調査のための企画・集計処理・提供・利用が基本的にできるようになる」というプロジェクト目標が達成されると目される。よって、有効性は高いと判断される。

他方、ノンプロ無償見返り資金やドナーからの資金をNISが確保することは、有効なプロジェクト実施の可否にとって決定的な意味をもつ。

(3) 効率性

人口センサスへの協力にあたっては、UNFPA等他ドナーも技術的資金的協力を行う予定であり、JICAは技術協力として優位性のある集計や分析部分を行う。専門家の派遣について、官民双方のリソースを想定し、組織的経験の蓄積や政府統計の観点から官のサポートを、統計技術の観点等から民のサポートを得る予定である。さらに、機材についても、NISの現有機材や施設を有効に活用し、追加の機材供与も人口センサス実施に必要なかつ適切なものにするよう考慮している。

また、調査区設定には、過去の開発調査で作成したGIS地図等を活用する。

さらに、協力の主である人口センサス実施により建物（事業用含む）が把握されるので、それを利用することで事業所リスティングを効率的に実施できる。

以上から、本プロジェクトの目標達成にあたっては、効率的な実施が見込まれると判断される。

(4) インパクト

本プロジェクトによって人口センサスや事業所リスティングが実施され、国家の基礎的な統計データが提供されることで、カンボジアの国家・地方の政策や計画の立案に活用される。また、カンボジアの統計の精度が低いことが問題とされてきたが、プロジェクトにより正確な基礎的統計データベースが作成されることで統計の信用性の向上につながる。さらに、成果物が政府関係者でなく、学者、NGO及び一般ユーザによっても有効に活用され、長期的にはそのインパクトは広くカンボジア国民にもたらされることが期待される。

また、NISに派遣されているボランティアの活動との相乗効果（プロジェクトがカバーしない範囲におけるサポート活動等）も期待できる。

(5) 自立発展性

本プロジェクトの目的は人口センサスを通じた人材の育成及び組織的経験の蓄積であり、専門家による研修も含めたきめの細かい技術指導を予定している。カウンターパートや研修参加者は、センサス実施後も引き続きセンサス等の関連部局にとどまる予定のNIS、計画省州事務所及び各省庁の統計関連部局の職員である。人口センサスの諸手続きの詳細記録を作成することで、組織的経験の蓄積がなされる。したがって、人的・組織的な自律発展性については、大きな組織変更等がない限り、問題ないと見込まれる。

他方、財政面については、カンボジアが全体的に財政的に厳しく、ドナー資金に頼りがちであるため、依然課題が残されている。

6. 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

<ジェンダー配慮>

NIS及び州統計課には女性職員も多く、また、人口センサス実施において配置される調査員には女性の雇用にも配慮する旨、カンボジア人口センサスジェネラルプランにも明記されている。さらに、調査票設計においても、女性の経済活動や職場における配置、少女の労働などジェンダーの観点を盛り込んでいる。

7. 過去の類似案件からの教訓の活用

ミャンマー中央統計局能力強化プロジェクトにおいては、同国の民主化の遅れにより扱える統計調査に限りがあり、正確な情報が把握できない状況にある。また、タンザニア国家統計局データ提供能力強化プロジェクトは貧困モニタリングなどへの活用をそもそもの目的としていたが、アクセスに制限があり、利用が事実上限定されていた点が終了時評価において指摘された。本プロジェクトにおいては、大規模な調査の結果を一般人が広く活用できるようにNIS側に事前に確認をとり、生データ以外の統計表の提供について了解を得た。

8. 今後の評価計画

- (1) 中間評価：2008年9月
- (2) 終了時評価：2010年2月
- (3) 事後評価：2014年

付 属 資 料

1. 討議議事録 (R/D)
2. ミニッツ (M/M)
3. 事前評価調査報告書

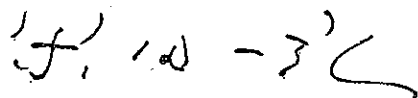
RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF
THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON
IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA PHASE 2

In response to the request of the Royal Government of Cambodia, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") has decided to implement Japanese Technical Cooperation on the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2 (hereinafter referred to as "the Project").

Accordingly, JICA, the independent administrative institution responsible for the operation of the technical cooperation program of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Royal Government of Cambodia.

JICA and the Cambodian authorities concerned exchanged views and had a series of discussions with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Royal Government of Cambodia for the successful implementation of the Project. As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Royal Government of Cambodia, signed in Phnom Penh on June 17, 2003 (hereinafter referred to as "the Agreement"), JICA and the Cambodian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

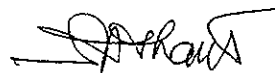
Phnom Penh, 19 December, 2006



Mr. Kazuhiro Yoneda
Resident Representative,
Cambodia Office
Japan International Cooperation Agency



H.E. Mr. Chhay Than
Senior Minister,
Minister, Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia



H.E. Mr. San Sy Than
Director General,
National Institute of Statistics
Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA

1. The Royal Government of Cambodia will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation program by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II. The provision of Article V of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The provision of Article VII of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF CAMBODIAN PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Cambodian personnel connected with the Project for technical training and for conducting seminars or workshops in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA

1. The Royal Government of Cambodia will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Royal Government of Cambodia will ensure that the technologies and knowledge

acquired by the Cambodian nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Kingdom of Cambodia.

3. In accordance with the provisions of Article V of the Agreement, the Royal Government of Cambodia will grant in the Kingdom of Cambodia privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Royal Government of Cambodia will take the measures necessary to receive and use the Equipment provided by JICA under II-2 above and equipment and materials carried in by the Japanese experts referred to in II-1 above.
5. The Royal Government of Cambodia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Cambodian personnel through technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Cambodia, the Royal Government of Cambodia will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under II-2 above.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Cambodia, the Royal Government of Cambodia will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.
8. The Royal Government of Cambodia will provide the service of the Cambodian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.
9. The Royal Government of Cambodia will provide the buildings and facilities as listed in Annex V.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Director General, the National Institute of Statistics (hereinafter referred to as "NIS"), as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Deputy Director General in charge of Department of Demographic Statistics Census and Survey, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters

of the Project.

3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will provide necessary technical guidance and advice to the Cambodian counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VI.

V. MONITORING AND JOINT EVALUATION

The progress of the Project will be monitored properly through various measures such as mutual consultations or dispatch of monitoring missions. Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Cambodian authorities concerned, at the middle and during the last six (6) months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VI of the Agreement, the Royal Government of Cambodia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Kingdom of Cambodia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Royal Government of Cambodia on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

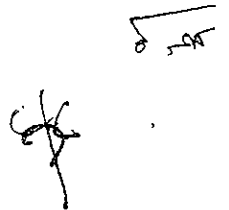
VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Kingdom of Cambodia, the Royal Government of Cambodia will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Kingdom of Cambodia.

IX. TERM OF COOPERATION

The Term of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be from April 23, 2007 to September 30, 2010.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF CAMBODIAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

ANNEX I MASTER PLAN

1.OVERALL GOAL

Basic and useful statistics will be provided for planning and implementation of several policies, plans, and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments.

2.PROJECT PURPOSE

The statistical staff in NIS, provinces, and main line ministries will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census or related surveys basically.

3.OUTPUTS

- (1) Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for the enumeration of the Population Census and prepared for other statistical surveys.
- (2) As the output of the data processing and scrutiny of the Population Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.
- (3) The Population Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.
- (4) Database of the Population Census results is developed.
- (5) The Population Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.
- (6) Small area statistics are tabulated and released.
- (7) List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.
- (8) Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc.)
- (9) Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.
- (10) Necessary coordination among the related donors of the Population Census are properly made.

4.PROJECT ACTIVITIES

[Population census: Planning and implementation of the Census]

- 1-1 Plan and implement the Census, and coordinate with UNFPA and other donors
- 1-2 Delineate Enumeration Areas of the Census
- 1-3 Maintain and manage the EAs of the Census

[Population census: data processing]

- 2-1 Develop the data processing systems of the Census in NIS in cooperation with UNFPA advisors
- 2-2 Conduct the data processing of the Census
- 2-3 Scrutinize the micro-data of the Census

2-4 Tabulate and scrutinize the statistical tables of the Census

[Population Census: analysis]

- 3-1 Analyze of the Census results in cooperation with UNFPA advisors

[Population census: database]

- 4-1 Develop statistical database storing demographic statistics data mainly in NIS
- 4-2 Draft the procedures and guidelines on the statistical database systems

[Population Census: dissemination]

- 5-1 Compile the publications of the Census results
- 5-2 Prepare the CDs of the Census results
- 5-3 Prepare the web-contents of the Census results
- 5-4 Prepare the statistical maps of the Census results
- 5-5 Compile the census atlases of the Census results
- 5-6 Conduct training for using and analyzing the Census results to the statistical staff of the main line ministries, etc.

[Population Census: small area statistics]

- 6-1 Develop the village-level data processing systems of the Census in NIS in cooperation with UNFPA advisors
- 6-2 Conduct training for using and analyzing the village-level results of the Census to the statistical staff of provinces, etc

[Establishment listing]

- 7-1 Plan the implementation of the establishment listing
- 7-2 Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment lists
- 7-3 Develop the sampling frame for economic statistical surveys in NIS
- 7-4 Conduct sample establishment surveys

[Workshops]

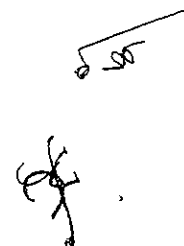
- 8-1 Hold the opening seminar of the Project
- 8-2 Hold the workshops on the result of EA delineation
- 8-3 Hold the workshops to disseminate the result of the Census
- 8-4 Hold the seminar to make the project widely known to the public

[Institutional Memory]

- 9-1 Develop and maintain the census related documents on detailed procedures

[Coordination]

- 10-1 Take part in the related coordination committee of the Population Census
- 10-2 Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently



ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Short-term experts

The following short-term experts will be dispatched.

	Assignment Title	Period	Duties and Job Description
(1)	Chief Advisor	1 – 2 months (10 - 14 times)	to give guidance and advice to Director General of NIS, to lead and coordinate overall activities of experts dispatched by JICA for implementing the Project, to advise NIS staff how to coordinate with donors and related line ministries to implement the population census, and to instruct NIS staff statistical methodologies for Population Census
(2)	Data Processing / Programming	1 – 5 months (6 - 12 times)	to instruct NIS staff how to develop applications for data processing and scrutinizing Population Census data and tables.
(3)	Enumeration Area /GIS	1 – 5 months (2 - 4 times)	to manage the delineation of Enumeration Area (EA), to monitor EA, and to instruct NIS staff GIS technology to digitize and utilize village maps, etc.
(4)	Data Scrutiny / Analysis	1 – 8 months (3 - 8 times)	to instruct NIS staff how to scrutinize Population Census data and tables. to instruct NIS staff statistical methodologies to analyze the results of Population Census and to conduct training for using the results of Population Census to the statistical staff of line ministries.
(5)	Database / Dissemination	1 – 6 months (4 - 6 times)	to instruct NIS staff how to develop and manage database storing the results of Population Census and how to disseminate the results of Population Census by means of publication, CD, website, statistical map, and census atlas.
(6)	Small Area Statistics	1 – 4 months (4 - 6 times)	to instruct the statistical staff of NIS and provinces how to process Population Census tables by small area, statistical methodologies to analyze small area statistics, and how to disseminate small area statistics.
(7)	Establishment Listing	1 – 6 months (4 - 8 times)	to instruct NIS staff how to plan and implement Establishment Listing and how to process, analyze, and disseminate the results of Establishment Listing.
(8)	Management of Population Census Implementation / Project Coordinator	2 – 8 months (4 - 8 times)	to coordinate project activities, to manage the project budget and equipment, to manage the implementation of Population Census, and to give guidance and advice to the counterparts of NIS

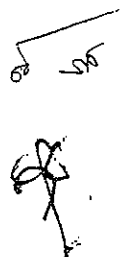
This list is subject to change through the discussion between both sides whenever the necessity arises and it will be reflected to the annual plan of the Project.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The following machinery and equipment, if necessary for the implementation of the project, will be provided.

	Name
(1)	Color Multifunctional Printer
(2)	Laser Printer
(3)	Server with monitor, UPS and rack
(4)	HDD
(5)	Firewall and Router
(6)	Network installation
(7)	Electricity installation
(8)	Projector
(9)	Software
(10)	DVD Recorder

This list is subject to change through the discussion between both sides whenever the necessity arises and it will be reflected to the annual plan of the Project.



ANNEX IV LIST OF CAMBODIAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE
PERSONNEL

1. Project Director

Director General of the National Institute of Statistics (NIS)

2. Project Manager

Deputy Director General in charge of Department of Demographic Statistics Census and Survey

3. Counterpart Personnel

(1) Deputy Director General in charge of Department of General Statistics Department

(2) Deputy Director General in charge of Economics Statistics Department

(3) Deputy Director General in charge of Social Statistics Department

(4) Director, Deputy Directors, staff members of General Statistics Department

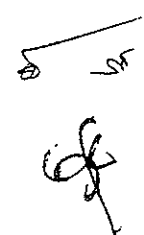
(5) Director, Deputy Directors, staff members of Economics Statistics Department

(6) Director, Deputy Directors, staff members of Social Statistics Department

(7) Director, Deputy Directors, staff members of Department of Demographic Statistics, Census and Survey

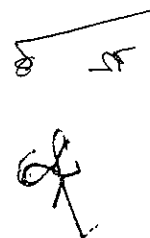
4. Administrative Personnel

Secretaries and Typists for the Japanese Team

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, building and facilities necessary for the Project
2. Office space and facilities for the Japanese experts
3. Other facilities and equipment mutually agreed upon as necessary

Handwritten signature and scribbles in the bottom right corner of the page.

ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

A Joint Coordinating Committee will be created, which will meet at least once a year and whenever the need arises.

The functions of the Joint Coordinating Committee are as follows:

- (1) To approve the annual work plan of the Project based on the Tentative Schedule of Implementation within the framework of the R/D
- (2) To evaluate the result of the annual work plan and the progress of the technical cooperation
- (3) To review and exchange opinions on major issues that arises during the implementation of the Project

2. Members of the Committee

(1) Chairperson

Director General of NIS

(2) Members

a. Cambodian side

Deputy Director Generals of NIS

Directors of departments of NIS

Deputy Directors of departments of NIS

A Representative of Ministry of Planning

A Representative of Council for the Development of Cambodia

Other Cambodian counterpart personnel

Other persons concerned appointed by Chairperson

b. Japanese side

Chief Advisor

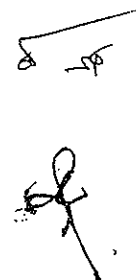
Other Japanese experts

A representative of the JICA Cambodia office

Other persons concerned appointed by Chief Advisor

Note:

Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meetings as observer(s).



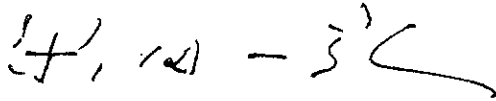
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON
IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA PHASE 2

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and authorities concerned of the Royal Government of Cambodia had a series of meetings for the purpose of working out the details of the technical cooperation concerning the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2 (hereinafter referred to as "the Project").

As a result of the discussions, JICA and the Cambodian authorities concerned agree to recommend to their respective Governments the matters referred to in the Record of Discussions signed on December 19, 2006.

Both JICA and the Cambodian authorities concerned also agreed to make this Minutes of Meetings regarding the Project, in order to confirm the mutual understandings reached through the discussions as attached hereto.

Phnom Penh, 19 December, 2006



Mr. Kazuhiro Yoneda
Resident Representative,
Cambodia Office,
Japan International Cooperation Agency



H.E. Mr. Chhay Than
Senior Minister,
Minister, Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia



H.E. Mr. San Sy Than
Director General,
National Institute of Statistics
Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

ATTACHED DOCUMENT

I. PROJECT DESIGN MATRIX

The Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") is commonly used in Japanese technical cooperation in order to manage and implement Projects efficiently and effectively. It will also be used as a reference for monitoring and evaluating the Project.

As a result of discussions, both sides agreed to apply the PDM as shown in ANNEX I to the Project with the following understanding.

1. The PDM is a logically designed matrix that defines the initial understanding of the framework of technical cooperation for the Project and indicates the logical steps toward the achievement of the Project purpose.
2. The PDM is to be flexibly revised according to the progress and achievements of the Project, upon agreement on the Joint Coordinating Committee.

II. PLAN OF OPERATION

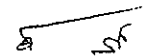
The Plan of Operation has been tentatively formulated according to the Record of Discussions. The Plan of Operation for the whole period is shown in ANNEX II.

The Annual Work Plan is to be drafted by the Cambodian counterparts and the Japanese experts and is to be submitted to the Joint Coordinating Committee. The activities are subject to change within the scope of the Record of Discussions, if the necessity arises during the course of the Project implementation.

III. STRUCTURE OF PROJECT IMPLEMENTATION

The chart of Project implementation is given ANNEX III.

ANNEX I	PROJECT DESIGN MATRIX
ANNEX II	PLAN OF OPERATION
ANNEX III	CHART OF PROJECT IMPLEMENTATION



Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Improving Official Statistics in Cambodia (Phase II)
 Implementing Agency: National Institute of Statistics (NIS), Ministry of Planning
 Target Group: Statistical staff in the NIS, provinces, and main line ministries

ANNEX I

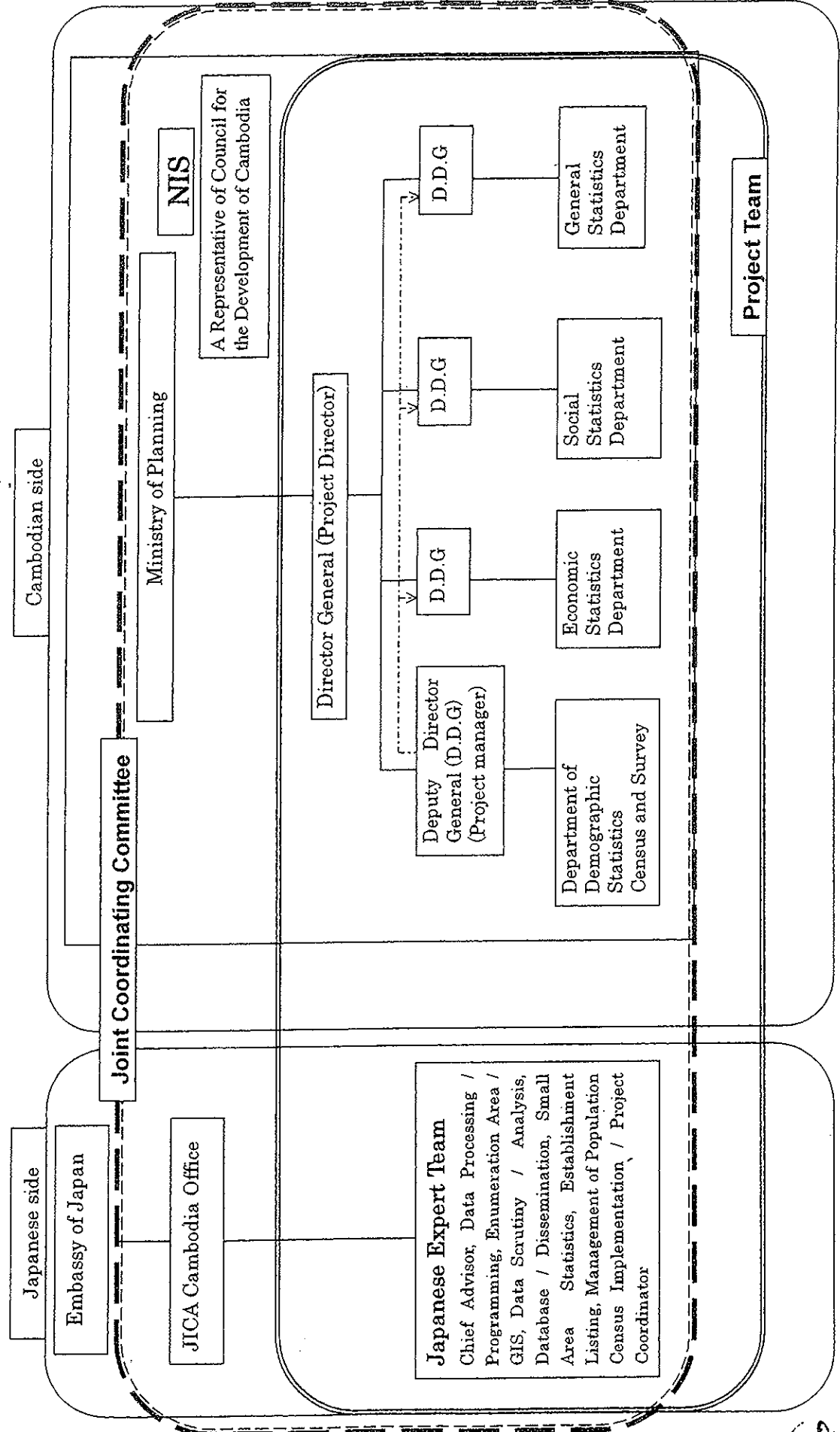
Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal Basic and useful statistics will be provided for planning and implementation of several policies, plans, and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments.</p> <p>Project Purpose The statistical staff in NIS, provinces, and main line ministries will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census or related surveys basically.</p>	<p>1 Number and periodicity of statistical publications released by the NIS</p> <p>2 Number and sales quantity of statistical publications</p> <p>3 Number of access and number of statistical documents newly updated to the NIS website</p>	<p>NIS</p> <p>NIS</p> <p>NIS</p>	<p>Policy makers will recognize the importance of statistical information.</p> <p>Necessary budget will be secured.</p>
<p>OUTPUTS</p> <p>1 Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for the enumeration of the Population Census and prepared for other statistical surveys.</p> <p>2 As the output of the data processing and scrutiny of the Population Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.</p> <p>3 The Population Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.</p> <p>4 Database of the Population Census results is developed.</p> <p>5 The Population Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.</p> <p>6 Small area statistics are tabulated and released.</p> <p>7 List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.</p> <p>8 Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc.)</p> <p>9 Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.</p> <p>10 Necessary coordination among the related donors of the Population Census are properly made.</p>	<p>1 Number of capable statistical staff in the NIS</p> <p>2 Number of statistical staff capable of using and analyzing the Census results in provinces, and main line ministries.</p> <p>1-1 Number of village maps and EA maps</p> <p>1-2 Number of statistical surveys in which village maps, EA maps and updated village frame are prepared</p> <p>2-1 Number of statistical tables (tabulated and/or released)</p> <p>2-2 Number of microdata (processed)</p> <p>3-1 Number of publications, papers, and pamphlets on analysis (tabulated and/or released)</p> <p>4-1 Number of statistical tables stored into the database</p> <p>4-2 Number of microdata stored into the database</p> <p>5-1 Number of publications, CDs, web pages, statistical maps, and census atlases (tabulated and/or released)</p> <p>5-2 Number of trainees in the training course</p> <p>5-3 Level of understanding of the trainees</p> <p>6-1 Number of small area statistical tables: by district, commune, village, and EA (tabulated and/or released)</p> <p>6-2 Number of trainees in the training course</p> <p>6-3 Level of understanding of the trainees</p> <p>7-1 Number of establishments stored into the list</p> <p>8-1 Number of workshops and seminars conducted.</p> <p>9-1 Number of detailed records of procedures prepared.</p> <p>10-1 Record of meetings with the related donors</p>	<p>Conduct tests or interviews to the related statistical officers.</p> <p>NIS</p> <p>NIS and line ministries</p> <p>NIS</p> <p>NIS</p> <p>NIS, line ministries, and provinces</p> <p>NIS</p> <p>NIS</p> <p>NIS, line ministries, and provinces</p> <p>NIS</p> <p>short examination</p> <p>NIS, line ministries, and provinces</p> <p>NIS</p> <p>short examination</p> <p>NIS</p> <p>NIS</p> <p>NIS</p> <p>NIS</p>	<p>Necessary Coordination with relevant Organizations will be conducted by NIS.</p> <p>Counterparts will stay in the proper posts.</p>

Activities		INPUTS		Important Assumption
		Cambodia Side	Japanese Side	
<p>1 [Population census: Planning and implementation of the Census]</p> <p>1-1 Plan and implement the Census, and coordinate with UNFPA and other donors</p> <p>1-2 Delineate Enumeration Areas of the Census</p> <p>1-3 Maintain and manage the EAs of the Census</p> <p>2 [Population census: data processing]</p> <p>2-1 Develop the data processing systems of the Census in NIS in cooperation with UNFPA advisors</p> <p>2-2 Conduct the data processing of the Census</p> <p>2-3 Scrutinize the micro-data of the Census</p> <p>2-4 Tabulate and scrutinize the statistical tables of the Census</p> <p>3 [Population Census: analysis]</p> <p>3-1 Analyze of the Census results in cooperation with UNFPA advisors</p> <p>4 [Population census: database]</p> <p>4-1 Develop statistical database storing demographic statistics data mainly in NIS</p> <p>4-2 Draft the procedures and guidelines on the statistical database systems</p> <p>5 [Population Census: dissemination]</p> <p>5-1 Compile the publications of the Census results</p> <p>5-2 Prepare the CDs of the Census results</p> <p>5-3 Prepare the web-contents of the Census results</p> <p>5-4 Prepare the statistical maps of the Census results</p> <p>5-5 Compile the census abases of the Census results</p> <p>5-6 Conduct training for using and analyzing the Census results to the statistical staff of the main line ministries, etc</p> <p>6 [Population Census: small area statistics]</p> <p>6-1 Develop the village-level data processing systems of the Census in NIS in cooperation with UNFPA advisors</p> <p>6-2 Conduct training for using and analyzing the village-level results of the Census to statistical staff of provinces, etc</p> <p>7 [Establishment listing]</p> <p>7-1 Plan the implementation of the establishment listing</p> <p>7-2 Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment lists</p> <p>7-3 Develop the sampling frame for economic statistical surveys in NIS</p> <p>7-4 Conduct sample establishment surveys</p> <p>8 [Workshops]</p> <p>8-1 Hold the opening seminar of the Project</p> <p>8-2 Hold the workshops on the result of EA delineation</p> <p>8-3 Hold the workshops to disseminate the result of the Census</p> <p>8-4 Hold the seminar to make the project widely known to the public</p> <p>9 [Institutional memory]</p> <p>9-1 Develop and maintain the census related documents on detailed procedures</p> <p>10 [Coordination]</p> <p>10-1 Take part in the related coordination committee of the Population Census</p> <p>10-2 Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently</p>	<p>Counterpart personnel</p> <p>Office space and necessary furnitures for Japanese experts</p> <p>Running cost for the project activities</p> <p>Approval for the free access to the statistical data necessary for the project activities (population census data, economic statistics data etc.)</p>	<p>Japanese Side</p> <p>* Experts: Chief Advisor, Data Processing/Programmin g, Enumeration Area/GIS, Data Scrutiny/Analysis, Database/Dissemination, Small Area Statistics, Establishment Listing, Management of Population Census Implementation/Project Coordinator</p> <p>* Provision of equipment: Printers, Servers, Network equipment, Software, etc.</p> <p>Training in Japan (or third country) Statistical Analysis Small Area Statistics Establishment Listing</p>	<p>UNFPA advisor will be dispatched as planned.</p> <p>The date of the Population Census will not be changed by the national elections in 2008.</p> <p>Pre-Conditions:</p> <ul style="list-style-type: none"> Cooperation of other donors for the Census will continue until the completion of the Census. Necessary funds for the Census including Counterpart Funds of Non-Project Grant Aids will be secured. The Cambodian Government will not cancel nor postpone the Census. The Statistical Center will be built as planned. 	

ANNEX II
PLAN OF OPERATIONS
 Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2

	2007	2008	2009	2010
1	Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for the documentation of the Census and reported for other surveys.			
2	As the output of the data processing and scrutiny of the Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.			
3	The Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.			
4	Database of the Census results is developed.			
5	The Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.			
6	Small area statistics are tabulated and released.			
7	List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.			
8	Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc.)			
9	Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.			
10	Necessary coordination among the related donors of the Population Census are properly made.			
	Activities			
1	Population census: Planning and implementation of the Census			
1-1	Plan and implement the Census, and coordinate with UNFPA and other donors			
1-2	Delineate Enumeration Areas of the Census			
1-3	Maintain and manage the EAs of the Census			
2	Population census: data processing			
2-1	Develop the data processing systems of the Census in NIS in cooperation with UNFPA advisers			
2-2	Conduct the data processing of the Census			
2-3	Scrutinize the micro-data of the Census			
2-4	Tabulate and scrutinize the statistical tables of the Census			
3	Population Census: analysis			
3-1	Analyze of the Census results in cooperation with UNFPA advisers			
4	Population census: databases			
4-1	Develop statistical database storing demographic statistics data mainly in NIS			
4-2	Draft the procedures and guidelines on the statistical database systems			
5	Population Census: dissemination			
5-1	Compile the publications of the Census results			
5-2	Prepare the CDs of the Census results			
5-3	Prepare the web-contents of the Census results			
5-4	Prepare the statistical maps of the Census results			
5-5	Compile the census atlases of the Census results			
5-6	Conduct training for using and analyzing the Census results to the statistical staff of the main line ministries, etc.			
6	Population Census: small area statistics			
6-1	Develop the village-level data processing systems of the Census in NIS in cooperation with UNFPA advisers			
6-2	Conduct training for using and analyzing the village-level results of the Census to statistical staff of provinces, etc.			
7	Establishment listing			
7-1	Plan the implementation of the establishment listing			
7-2	Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment lists			
7-3	Develop the sampling frame for economic statistical surveys in NIS			
7-4	Conduct sample establishment surveys			
8	Workshops			
8-1	Hold the opening seminar of the Project			
8-2	Hold the workshops on the result of EA delineation			
8-3	Hold the workshops to disseminate the result of the Census			
8-4	Hold the seminar to make the project widely known to the public			
9	Institutional memory			
9-1	Develop and maintain the Census related documents on detailed procedures			
10	Coordination			
10-1	Take part in the related coordination committee of the Population Census			
10-2	Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently			

CHART OF PROJECT IMPLEMENTATION



[Handwritten signature and initials]

カンボジア国
政府統計能力向上計画フェーズ2
事前評価調査報告書

平成18年12月

目 次

第1章 事前評価調査団の派遣	39
1-1 調査団派遣の背景と目的	39
1-2 調査団の構成	40
1-3 調査日程	40
1-4 主要面談者	40
第2章 調査結果	42
2-1 関係機関との協議結果	42
2-2 案件概要	44
2-3 カンボジアの統計、人口センサスについての現状と留意点	47
2-4 評価5項目による評価結果	49
2-5 団長所感	50
第3章 今後の対応	52
別添資料	
1. 調査日程	55
2. 協議・ヒアリング記録	57
2-1. JICA事務所との協議（11月20日）	57
2-2. 日本大使館との協議（11月20日）	59
2-3. 専門家との協議（11月20日）	61
2-4. NISとの協議・ヒアリング（11月20日、22日、23日、24日、27日）	62
2-5. 計画省州事務所統計課訪問	69
①Prey Veng州（11月21日）	69
②Kandal州（11月21日）	71
③Phnom Penh（11月22日）	73
④Siem Reap州（11月25日）	75
2-6. UNFPAとの協議（11月22日）	77
2-7. 関係省庁訪問	78
①教育省（11月23日）	78
②鉱工業エネルギー省（11月24日）	80
2-8. CDC訪問（11月24日）	82
2-9. 署名式（11月27日）	84
2-10. 日本大使館報告（11月27日）	85
2-11. JICA事務所報告（11月27日）	86
3. M/M	87
4. 事前調査団現地報告	117
5. 面談者リスト	121

6. 政府統計能力向上計画フェーズ1 終了時評価表	139
7. UNFPAとの分担	315
8. 人口センサスドナー分担表	317
9. 統計マスタープラン	323
10. 2008 General Population Census Plan of Cambodia	369

第1章 事前評価調査団の派遣

1-1 調査団派遣の背景と目的

カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）の政府統計は、長期間にわたった内戦の影響からきわめて整備が遅れていたが、1990年代に入ってから国連等の支援により、徐々に整備が進められてきた。1998年には、国連人口基金（United Nations Population Fund : UNFPA）の支援により、36年ぶりに人口センサスが実施され、統計整備の重要な第一歩となった。しかし、カンボジアの政府統計は、依然、体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されていることも多い。

このような状況のもと、2004年8月、カンボジア政府は「2008年人口センサスへの技術指導、人材育成及び経済統計の改善」に対して5年間の技術協力プロジェクトを要請した。2005年5月事前評価を実施したが、その際、UNFPAの資金拠出の目処が立たず、人口センサス実施が未定となったことから、人口センサスを抱合したプロジェクトとせず、今後のカンボジア統計の基盤となる2008年人口センサスの円滑な実施が可能となるように、2005年8月、カンボジア計画省統計局（National Institute of Statistics : NIS）、地方統計部局及び各省庁統計部局の人材育成を強化し、政府統計能力を向上させることを目的として、統計研修を中心とした政府統計能力向上計画（フェーズ1）として開始された。なお、UNFPAの資金拠出の目処がたち、人口センサス実施が確定した場合には、フェーズ1を終了して人口センサスに向けたプロジェクトとする旨合意した〔討議議事録（Record of Discussions : R/D）上に記載〕。

その後、UNFPAの資金拠出が確定し、2006年1月30日に人口センサス令が発令され、2008年3月に次回の人口センサスが実施されることが決定し、同時に実施に向けての準備作業が開始された。このような状況のもと、上述のように、フェーズ1を終了させ、人口センサスに対する技術協力を中心としたフェーズ2を新たに発足するべくカンボジア政府より第2フェーズの申請書が提出された。

カンボジアの今後の発展のために、政府統計の能力向上及び2008年人口センサスの円滑な実施は重要な課題であり、特に2008年人口センサスを通じて、NIS、地方統計部局及び各省庁統計部局の人材を強化して、政府統計能力を向上させることは重要であり、必要事項について確認し、先方と合意するため、調査団を派遣することとなった。調査の目的は以下のとおり。

- (1) 要望調査票及びその後の検討により作成した案件概要（案）をもとに、プロジェクト協力の範囲及び枠組みについて、カンボジア側機関であるNISと協議し、合意する。
- (2) 2008年人口センサスの実施体制、実施スケジュールについて、NIS及びUNFPAカンボジアその他ドナーに確認を行うとともに、資金拠出の現状及び予定につき確認し、2008年人口センサスの役割分担について確認する。
- (3) NIS及び在カンボジア日本大使館に対し、ノンプロジェクト無償見返り資金の申請状況及び支出予定を確認する。
- (4) 事業所リ스팅について、協力できる範囲について合意を得る。
- (5) 統計研修や人口センサス調査区設定など第1フェーズにおける成果達成度合い、進捗状況を確認する。
- (6) NIS及び計画省州事務所統計局における統計関連施設及び機材の整備状況の確認を行うとともに人口センサス実施のために今後必要な機材を調査する。
- (7) 人口センサスにより得られた結果についての各省庁、地方政府などの需要を可能な範囲で調査し、活用可能性について確認する。

(8) 上記、(1)～(7)の協議・調査の結果から、案件概要(案)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(Project Design Matrix:PDM)(案)、R/D素案を取りまとめ、NISと合意する。

1-2 調査団の構成

氏名	担当	所属
熊谷 晃子	総括	JICA社会開発部第一グループ 社会制度・平和構築チーム長
石原 秀男	統計	総務省統計局統計調査部国勢統計課 統計専門官
塚本 秀夫	協力企画	JICA社会開発部第一グループ 社会制度・平和構築チーム主任

1-3 調査日程

2006年11月19日から同月28日。

詳細な日程については別添資料1. 調査日程参照。

1-4 主要面談者

(1) 計画省 (Ministry of Planning)

H.E. Mr. Chhay Than 上級大臣 (Senior Minister)
H.E. Mr. Ouk Chay 上級次官 (Secretary of State)
H.E. Mr. To Gary 次官 (Undersecretary of State)

(2) 計画省統計局 (National Institute of Statistics:NIS)

H.E. Mr. Sang Sy Than 統計局長 (Director General)
Ms. Hang Lina 統計副局長 (Deputy Director General)
Mr. Has Bunton 統計副局長 (Deputy Director General)
Mr. Seng Soeurn 統計副局長 (Deputy Director General)
Mr. Meng Kim Hor Deputy Director, Department of Demographic Statistics,
Census and Survey
Mr. Yem Suong National Advisor
Mr. Long Chinthra Deputy Director, Department of Demographic Statistics,
Census and Survey
Mr. Kim Net Chief, Bureau of Social and Labor Statistics

(3) 計画省Prey Veng州事務所統計課

Mr. Samreth Makara Director of Planning
Mr. Vann Sann Deputy Director, Department of Planning
Mr. Soeung Sarath Deputy Chief, Statistics Office

(4) 計画省Kandal州事務所統計課

Mr. Ka Den Deputy Director, Department of Planning

Mr. Chan Tara Deputy Chief, Inspection Office

(5) 計画省Phnom Pehn市事務所統計課

Ms. Mom Sandap Director of Planning
Mr. Yim Rath Deputy Director Planning Department
Mr. Kim Chan Dina Deputy Director Planning Department

(6) 計画省Siem Reap州事務所統計課

Mr. Soukim Prithy Director of Planning Department
Mr. Nim Sophin Bureau Chief Planning
Mr. Hak Sotheara Deputy of Planning Department

(7) 教育省計画課

Ms. Kuy Phala Deputy Director, Department of Planning
Mr. Puf Sauifu Deputy Director, Department of Planning
Mr. Tham Setharath Vice Chief of Project Management Office, Department of Planning

(8) 鉦工業エネルギー省工業課

Mr. Heng Sophoan Deputy Director of Industrial Affairs Department
Mr. Nuon Sophorn Deputy Director of Industrial Affairs Department

(9) カンボジア開発評議会 (Council for the Development of Cambodia)

Ms. Heng Sokun Director of Bilateral Aid Coordination Department
Mr. IM Sour Deputy Director of Bilateral Aid Coordination Department
Ms. Sachiko Nishioka 援助調整専門家

(10) 国連人口計画 (UNFPA) カンボジア事務所

Ms. Bettina Maas 事務所長
Mr. Sok Vanna プログラムマネージャー (センサス担当)

(11) 在カンボジア日本大使館

作田二等書記官、星倉二等書記官

(12) JICAカンボジア事務所

米田所長、鵜飼次長、笠原企画調査員、林企画調査員、Phira所員

(13) 現地専門家・隊員

西チーフアドバイザー、井上専門家、玄羽専門家、高津専門家、柴沼専門家

全面談者については別添資料5参照。

第2章 調査結果

全協議概要については、別添資料2参照。

2-1 関係機関との協議結果

(1) JICAカンボジア事務所での打合せ

JICAカンボジア事務所には調査開始時と結果報告時の2回訪問した。事務所から、本案件が他ドナーとの連携案件である点で注目していること、NISに派遣されている協力隊員にも良い刺激を与えていることなどの指摘があった。また、本プロジェクトが対象とする人口センサス及び事業所リスティングは途上国にとって基礎的なデータとなるきわめて重要な資料を提供するもので、意義のあるプロジェクトであるとの話があった。

結果報告時には、①見返り資金の大使館への申請手続きのフォロー、②地方への統計隊員派遣の要請へのフォロー、③ドナー・コーディネーションにおいて特にCTC及びNCCへの出席またはフォローを依頼した。

(2) 在カンボジア日本大使館での打合せ

大使館へは、調査開始時と結果報告時の2回訪問した。特に本プロジェクト実施の前提条件となっているノンプロジェクト無償見返り資金の承認について早急な対応を依頼した。大使館としては、いまだ正式な要請がきていないことや他の案件の要請もあり優先順位をつける必要があることから今のところはっきりとした回答はできないが、館内の意向をできるだけ早く固めたいということであった。調査団からは今後のスケジュールを勘案し、2006年12月10日までに意向を確認したい旨を依頼し、了承を得た。

大使館からは、人口センサスが10年に一度実施される国家事業であるなかで、人材のキャパシティビルディングだけでなく、組織としての能力強化を図るべくインスティテューショナル・メモリーを蓄積することが必要であるとの意見があった。調査団としても、プロセスを記録として残す、マニュアルとして残す、対応できる人材のカバレッジを広くする工夫を行うなどの対応を考えたいと返答した。

(3) 専門家活動状況視察・打合せ

派遣されている専門家に対して、カウンターパートの能力について聞いたところ基礎的な点は研修により身につけさせることができても、自ら指導できるくらいの応用力のもった人材は限られているとの話があった。また、統計の能力以前に公務員としての自覚を高めることも必要との意見もあった。

また、専門家の研修状況を視察したが、40人くらいの教室の中でどの研修生も私語をすることもなく真剣な態度で講義を聴いていた。専門家からはあらかじめクメール語に訳された資料が渡され、講義はパワーポイントを駆使しつつ、ゆっくりと区切りをいれて説明しており、研修効果は高いものと思われる。

(4) NISとの協議

NISとは、地方の計画省州事務所統計課への訪問時以外、ほぼ毎日協議をし、ミニッツ（Minutes

of Meeting : M/M) の内容をリバイスしていった。協議のポイントは①人口センサス実施の確認、②センサス結果の活用、③センサスの実施体制、④プロジェクト内容とプロジェクトマネージャー等のプロジェクトの体制、⑤カウンターパート定着のための手段、人材育成、組織的ノウハウ蓄積の重要性、⑥カンボジア側の予算確保、⑦ノンプロ無償見返り資金の手続きの促進、⑧統計センターの建設と運営経費のカンボジア側の負担、⑨JICAやODAマークのロゴの挿入、⑩経済統計の協力範囲、⑪調査区設定の境界線の承認などであった。これらについて、一定の結論を得、M/Mに記載した。さらに、カンボジア側のプロジェクト実施体制を具体的に確認するため、各活動ごとのカウンターパートのリストを提出してもらい、これをM/Mに添付した。

さらに、事前に要望調査票をもとに整理したPDMについて、協議中新たな活動項目や指標等が検討され、PDMを再整理した。先方からの提案として、調査区設定の結果公表に関してステークホルダーを集めてワークショップを開催するというもの、経済統計の協力範囲について、事業所名簿を完成させるだけでなく、サンプル調査を行うというものがあり、これを最終的にPDMに挿入した。当方からは、人員が変わってもNISが独自に人口センサスが実施できるようインスティテューショナル・メモリーの強化を図ること、及び様々な会合を通じるなどしてドナー間の調整を実施することを再三検討した。NIS側も本件について了解し、M/Mに反映した。

また、カンボジア政府の財政当局だけでなく、UNFPAなどの他ドナーからの資金及びノンプロ無償見返り資金について、NISが主体的に確保することを強く求め、NIS側も了承した。

(5) UNFPAカンボジア事務所との協議

UNFPA側からドイツ政府の資金について既に確認レターがNISに発出され、拠出が確定していることが示された。UNFPAの資金拠出についても、最終的な拠出内訳の確定はしておらず今後若干の調整を要するが、負担すること自体については確認できた。UNFPAアドバイザーとJICAの専門家が連携して活動を行っていくことの重要性についてはUNFPA側も強く認識していた。

他方、人口センサスに関してノンプロ無償見返り資金の拠出が確認されていないことについては、先方より懸念が示された。当方からは、12月上旬に大使館の意向が確認できること、外務本省では前向きに考えていることを説明した。

(6) 計画省州事務所統計課との協議

州における統計関連部局はすべて計画省の地方事務所の一つの部局として存在している。今回の調査では4州を訪問したが、すべての州においてPCが潤沢ではない状況が観察された。人員に関しては、1998年に実施された前回のセンサスの経験者がほとんど残っているものの、逆に新たに参入された職員が少ないことが判明した。これはこれらの地方事務所の財政状況にもよると思われる。人口センサスの集計作業を州だけで行うことは困難であるが、小地域統計作成のときに一定程度関与することがあり得る。データの利用についてはPC(Windows XP入り)があり問題ない。

(7) 調査区設定状況視察

JICA専門家とともにNIS職員が調査区設定をしている状況に随行した。村の有力者にあらかじめ確認をとって前回調査時の調査区地図に仮の修正を加え、のちに実際に自分の足で村を歩いて目視により確認するという作業であり、一日に2～3の調査区設定が限度であるとのことである

(一調査区は100世帯と設定)。目視に際しては、GPSを利用して位置確認を行っていた（これが実際に目視・実施調査したことの証拠ともなる）。

さらに、開発調査により開発された「地理情報整備調査」等により得られた地図を利用するなど、調査区設定を効率的にかつ精度高く行っている状況が把握できた。

(8) 関係省庁との協議

関連省庁として、教育省と鉱工業エネルギー省を訪問した。教育省からは、プロジェクト第1フェーズで行っている統計の研修に対する強い期待が寄せられた。NISとの連携は特に強く、識字率の算出などにNISのデータを利用しているなどの話があった。また、センサス結果の政策への活用に関しては、1998年センサス結果をEducation For All (2003-2015)、Education Strategic Plan(2005-2015)やMDGの指標として活用しており、2008年センサスも同様の活用が考えられるとのこと。教育省が有しているデータとコンバインしてより良い統計とするなど、重要な資料として活用している状況がうかがえた。

一方で、鉱工業エネルギー省においては、研修などを通じた統計能力の向上をNISに期待しながらも、人口センサスを直接に政策に活用するというのではなく、個別に職業事情などを確認するという印象が強い。第2フェーズの内容との関連でいえば、むしろ、事業所統計などとの関連性が深い。

各省庁が扱っている政策によって人口センサスや事業所調査とのかかわりが変わってくるものの、いずれの統計・政策策定においても母数となるデータであり、本プロジェクトの成果の利用価値は高いとのことであった。

(9) カンボジア開発評議会（CDC）訪問

CDCは日本の技術協力の窓口となる機関であるが、カンボジアのほとんどすべての省庁が日本からの援助を受けているという説明があり、日本の援助に対する感謝とともに、本プロジェクトに対する期待が述べられた。

なお、CDCは技術協力については全プロジェクトのデータベースを有しているものの、カウンターパート見返り資金については経済財政省が直接日本大使館とやりとりするので、情報を得ていないとのこと。

2-2 案件概要

今後、下記の案件概要で、プロジェクトを開始する予定である。プロジェクトの実施期間は人口センサスの準備から実査後の公表も含めた2007年4月23日～2010年9月30日の予定。

(1) 上位目標

カンボジアの国家・地方の政策・・・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。

(2) プロジェクト目標

計画省統計局、州計画局統計部局・・・各省統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる。

(3) 成果

- 1) 調査区設定作業が完了し、その成果が人口センサスの実施及びその後の各種統計に利用される。
- 2) 人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表される。
- 3) 人口センサスの統計表に基づき、その結果が適切に分析され、分析結果が公表される。
- 4) 人口センサス結果のデータベースが構築される。
- 5) 人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・Websiteにて提供される。
- 6) 人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。
- 7) 事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリング・フレームとして利用される。
- 8) 関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果等）、共通理解が得られる。
- 9) 人口センサスの各活動の手続の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアル等）が準備され、集積される。
- 10) 人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。

(4) 活動

<人口センサス・企画及び調査の実施>

- 1.1 人口センサスの企画及び調査の実施並びにドナーとの調整
- 1.2 人口センサスの調査区設定の実施
- 1.3 人口センサスの調査区の維持・管理

<人口センサス・集計>

- 2.1 NISにおける人口センサスの集計システムの構築（UNFPAアドバイザーと共同で実施）
- 2.2 人口センサスの集計の実施
- 2.3 人口センサスの個別データの審査
- 2.4 人口センサスの結果表の作成及び審査

<人口センサス・分析>

- 3.1 人口センサス集計結果の分析（UNFPAアドバイザーと共同で実施）

<人口センサス・データベース>

- 4.1 NISにおける人口統計の統計データベースの構築
- 4.2 統計データベースの手続及びガイドラインの作成

<人口センサス・結果提供>

- 5.1 人口センサス報告書の編集
- 5.2 人口センサス結果のCDの作成
- 5.3 人口センサス結果のウェブコンテンツの作成
- 5.4 人口センサス結果に基づく統計地図の作成
- 5.5 人口センサス結果に基づくセンサスアトラスの作成

5.6 他省庁統計職員等に対する人口センサスの結果利用・分析に係る研修

<人口センサス・小地域統計>

- 6.1 NISにおける人口センサスのVillage別詳細集計システムの構築 (UNFPAアドバイザーと共同で実施)
- 6.2 地方統計職員等に対する人口センサスのVillage別詳細集計結果の結果利用・分析に係る研修

<事業所リスティング>

- 7.1 事業所リスティングの調査企画の実施
- 7.2 事業所名簿の集計、分析及び提供
- 7.3 NISにおける経済統計調査用サンプリングフレームの構築
- 7.4 事業所統計のサンプル調査の実施

<ワークショップ>

- 8.1 プロジェクト開始時にセミナーを開催
- 8.2 調査区設定についてワークショップを開催
- 8.3 人口センサス結果公表時にワークショップを開催
- 8.4 プロジェクト広報のためのセミナーを開催

<インスティテューショナル・メモリー>

- 9.1 人口センサス詳細手続関連の文書の作成及び修正

<コーディネーション>

- 10.1 人口センサスに関する調整委員会への参加
- 10.2 UNFPAその他ドナーとの会合及び調整

(5) <投入>

1) 日本側投入

a) 専門家

①チーフアドバイザー、②集計／プログラミング、③調査区設定／統計GIS、④審査／分析、⑤データベース／結果提供、⑥小地域統計、⑦事業所リスティング、⑧人口センサス実施管理／業務調整

b) 本邦研修

①人口センサス（分析）、②人口センサス（小地域統計）、③事業所リスティング

c) 機材

①A3カラー複合機、②A4カラーコピー機、③サーバー一式、④外付けHDD、⑤ネットワーク関連機器、⑥プロジェクタ、⑦ソフトウェア等

2) 相手国側投入

- a) カウンターパート：プロジェクトディレクター、プロジェクトマネージャー、他メンバー
- b) 日本人専門家のための事務室及び事務用品
- c) プロジェクト活動に係る運営経費
- d) プロジェクト活動のために必要なデータへの自由なアクセスの承認（人口データ、経済データ等）

<外部条件・前提条件>

- ・政策策定者が統計情報の重要性を認識する。
- ・必要な予算が確保される。
- ・各関係機関との必要な調整がNISによって行われる。
- ・人材が定着する。
- ・UNFPAアドバイザーが予定通り派遣される。
- ・2008年の総選挙により人口センサスの日程が変動しない。
- ・UNFPA及び他ドナーの2008年人口センサスへの協力が同センサス終了まで継続する。
- ・ノンプロ無償見返り資金などにより人口センサスに必要な資金が確保される。
- ・カンボジア政府が2008年人口センサスを延期または中止しない。
- ・統計センターが予定通り建設される。

2-3 カンボジアの統計、人口センサスについての現状と留意点

(1) カンボジアの統計の現状

カンボジアの政府統計は、長期間にわたった内戦の影響からきわめて整備が遅れており、1998年にUNFPAの支援により、36年ぶりに人口センサスが実施されたものの、依然統計の精度についてドナーや国際機関から疑問視されている。カンボジア政府は2005年に統計法を施行し、NISに対して各種統計調査実施の法的権限を付与するなど、統計制度の整備を図っている状況にあり、これに即応して人材育成及び組織強化を図ることが緊急の課題となっている。10年に一回予定される人口センサスの次回の予定は2008年であり、カンボジアにおける人口センサスは、援助機関の協力なしには、技術的及び資金的に実施が困難な状況である。経済統計分野では事業所調査、製造業生産調査等において2001年まではADBの支援も終了し、援助機関の協力なしには実施できない状況である。

(2) 人口センサスに関する現状

2006年1月30日に人口センサス令が施行され、人口センサス実施に向けての法的な整備が整った。

2006年8月から調査区設定作業が進められているところであり、30名の調査区設定要員が各地にちらばって作業に入っており、定期的に集合地点に集まって情報交換と指導員の指導を受けている。作業は2006年度で完了する予定で、2007年度はその再点検が行われることになっている。衛星写真地図を利用することにより、調査区の境界線が明確になっている。今回の出張では、プレイベン州におけるある村において実地に調査区設定業務に同行したが、同村の副村長にあたる人物も調査区設定の趣旨をよく理解しているなど、調査区設定要員と当該村の責任者との連携も

うまくいっているように見受けられた。

また、集計業務に当たるための統計センターも2006年9月に建設に着手し、2007年11月の完成に向けて工事が行われており、猛暑の中、連日作業が行われていた。

さらに、日本から派遣された専門家によるNIS、関係省庁、地方統計職員に対する統計研修も予定どおり実施されており、長時間にわたる講義にもかかわらず研修生が熱心に聴講している様子が確認された。

(3) 人口センサスに関する留意点

2008年3月に迫った人口センサスの実施に関して、現時点における留意点を記すと以下のとおりとなる。

1) 資金面の確保

今回の出張時におけるUNFPAとの会談により、UNFPA及びドイツ政府からの資金提供については、書面においてもほぼ確認できたが、日本のノンプロ無償見返り資金の確保が未確定という状況なので、早期にその確定が望まれる。(2007年3月30日現在968,212USDの拠出の承認済)

2) ドナー側における役割分担の明確化

現段階では、調査・集計・分析・公表の全過程を通じて日本とUNFPAがきめ細かい役割分担を取り決めていくという方向になっている。このやり方は、双方が責任を分かち合って協力するという意味ではプラスの意味があるが、個々の作業面では支障が生じる可能性を秘めているため、実際にはより綿密なコミュニケーションのもと、運用していくことが望ましい。

3) PC機器等設備の充実

フェーズ1で研修に使用しているもの、UNFPAからの寄贈のものなどがあり、空調とともによい状態で活用、保管されている。今後、建設中の統計センターが当初の予定どおりに完成し、集計用作業コンピューターが遅滞なく配置されることを望みたい。

4) 人材の育成

フェーズ1における統計研修及び人口センサス実施という経験を通じて、NISの職員に対しては、今回のセンサスだけではなく、他の統計調査にも応用が図れ、また、NISだけではなく、関係省庁及び地方部局における統計職員の能力向上に繋がれば、将来のカンボジアにおける政府統計の向上をより全体的にレベルアップすることができる。

5) 調査環境の整備

カンボジアでは日本や欧米諸国とは異なり、調査員が訪問して世帯から聞き取り調査をする他計方式の調査方法を採用している。このため、調査員にはより一層の熱意及び手腕が求められるのだが、調査実施前の調査員説明会等を通じてのより効果的な訓練が望まれる。

6) 調査実施に向けての広報活動（国民の理解及び協力）

統計調査を成功させるためには国民の理解及び協力が不可欠であるため、新聞・テレビ等のメディアを通じた広報活動が必要であろうし、また、統計セミナー等のイベントを通じた知名度アップも重要と思われる。

7) 結果精度の向上（審査・チェックの徹底）

結果精度を向上させるためには、調査時における把握漏れ、重複調査をなくすことが大前提だが、調査票の集計時における審査・チェックを徹底させることにより、更なる精度の向上が

見込まれるので、その充実を図ることが望ましい。

8) マニュアル等の整備

2008年人口センサスだけではなく、将来の人口センサスの実施を念頭に置かならば、今回の調査において活用したマニュアル等をきちんとした形で整備・保管することで、人の異動にとられることのない組織を構成していくことができるであろうし、また、誰もが情報を共有でき、人の移動によるノウハウの散逸というリスクが分散されるというメリットも無視すべきではないであろう。

2-4 評価5項目による評価結果

(1) 妥当性

統計情報は、フンセン首相の提唱する四辺形戦略の中心に位置するグッドガバナンスを進めるうえでも、また、政府の諸活動をモニタリングするためにも重要である。NSDP(National Strategic Development Plan)は2006～2010年の開発ビジョンをまとめたものであり、カンボジア・ミレニアム目標等とも関連しているが、NSDPの活動の進捗のモニタリングのためにもタイムリーで信頼性のある統計は大変重要な意義をもっている。

人口センサスは全国民を対象とする唯一の統計調査であり、各種の政策や計画の基礎となるが、カンボジアでは援助機関の協力なしには技術的資金的に実施が困難な状況である。また、全国における事業所の名簿作成は経済統計の基礎となるが、当該名簿もカンボジアではいまだ作成されていない。

本案件は人口センサスや事業所リスティングの作成を支援するものであり、その成果として作成される調査結果は、政府の行政機能を強化するだけでなくカンボジアの開発政策にも重要であり、国別事業実施計画における「グッドガバナンス支援」に貢献するといえる。また、2008年に実施される人口センサスにあわせてその前後の一連の活動をカバーするものであり、実施時期についても妥当である。

さらに、日本においては1920年から国勢調査が実施されているほか、統計に関する国際協力の経験も蓄積されており本件協力について高い技術力を有している。

これらの点から、本プロジェクトの妥当性は高いと判断される。

(2) 有効性

プロジェクトにおいては、人口センサスにおける調査企画・集計・分析・結果提供等の一連の活動により、統計表の作成、センサス結果の公表、関連書・CD・ウェブサイトの作成などが成果として発現される。これらの活動と成果はNISや他の統計関連部局と共同で行うことにより人材が育成されるため、「人口センサスのための企画・集計処理・提供・利用が基本的にできるようになる」というプロジェクト目標が達成されると目される。よって、有効性は高いと判断される。

しかしながら、ノンプロ無償見返り資金やドナーからの資金をNISが確保することは、有効なプロジェクト実施の可否にとって決定的な意味をもつ。

(3) 効率性

人口センサスへの協力にあたっては、UNFPA等他ドナーも技術的資金的協力を行う予定であり、JICAは技術協力として優位性のある集計や分析部分を行う。専門家の派遣について、官民双方の

リソースを想定し、組織的経験の蓄積や政府統計の観点から官のサポートを、統計技術の観点等から民のサポートを得る予定である。さらに、機材についても、NISの現有機材や施設を有効に活用し、追加の機材供与も人口センサス実施に必要なかつ適切なものにするよう考慮している。

また、調査区設定には、過去の開発調査で作成したGIS地図等を活用する。

以上から、本プロジェクトの目標達成にあたっては、効率的な実施が見込まれると判断される。

(4) インパクト

本プロジェクトによって人口センサスや事業所リスティングが実施され、国家の基礎的な統計データが提供されることで、カンボジアの国家・地方の政策や計画の立案に活用される。また、カンボジアの統計の精度が低いことが問題とされてきたが、プロジェクトにより正確な基礎的統計データベースが作成されることで統計の信用性の向上につながる。さらに、成果物が政府関係者でなく、学者、NGO及び一般ユーザによっても有効に活用され、長期的にはそのインパクトは広くカンボジア国民にもたらされることが期待される。

また、NISに派遣されているボランティアの活動との相乗効果（プロジェクトがカバーしない範囲におけるサポート活動等）も期待できる。

(5) 自立発展性

本プロジェクトの目的は人口センサスを通じた人材の育成及び組織的経験の蓄積であり、専門家による研修も含めたきめの細かい技術指導を予定している。カウンターパートや研修参加者は、センサス実施後も引き続きセンサス等の関連部局にとどまる予定のNIS、計画省州事務所及び各省庁の統計関連部局の職員である。人口センサスの諸手続きの詳細記録を作成することで、組織的経験の蓄積がなされる。したがって、人的・組織的な自律発展性については、大きな組織変更等がない限り、問題ないと見込まれる。

他方、財政面については、カンボジアが全体的に財政的に厳しく、ドナー資金に頼りがちであるため、依然課題が残されている。

2-5 団長所感

本件実施については、そもそもフェーズ1において、人口センサスへの協力が要請内容としてあがっており協力を想定していたが、その人口センサスの実施日程が確定していなかったために、協力のスコープを「研修」に絞って実施することにし、2008年人口センサスの実施が決定次第、協力内容を直ちに検討する、となっていた（当時のR/Dにその旨明記）ものである。

本プロジェクトは、フェーズ1の協力や他ドナーによる統計能力向上に関する協力の基礎の積み重ねの上に、カンボジアの法で定められた人口センサスという国家的事業に協力することを通じて、国の施策の基礎である統計能力向上につなげる意義深いものであるといえる。

また、人口センサス実施だけではなく、持続性の観点から、人口センサス事業を主たるOJTの対象として、人材育成、組織としての経験蓄積も視野に入れている。

統計能力向上はNational Strategic Development Plan（カンボジア版PRSP・MDGsを牽いたもの）の手段であるRectangular Strategyの中心にすえられた「Good Governance」に必要であり、また、多くのドナーが支援する保健衛生・教育等BHN分野で求められる、基本的なデータを提供できるようにするものであり、その意味でも縁の下の力持ち的ではあるが重要な分野といえる。

本件は、資金面、実施面でUNFPA、ドイツ政府、日本の無償資金協力見返り資金との連携を見込んでおり、JICAはその得意分野である技術面を一番必要とされている部分（調査区設計、集計・分析・提供）を担当し、刊行物には日本のODAマークをはじめJICAロゴをUNFPAなどとともに付すことにより、日本の協力にとっても、顔の見える、効率のよいものとなっている。

また、調査区設定には、JICA開発調査（地理情報整備計画、2000～2003、ほか）で作成した地図を用いること、ボランティアによる統計研修（プロジェクトフェーズ1ではカバーできないより田舎の地方に、プロジェクトの研修用ラップトップパソコン等が使用されない期間をぬって、それを地方に運搬し実施している）とプロジェクトとの有効な補完関係を築いていること、人口センサスを実施しその「組織的な知見の蓄積・継承」のノウハウも有する日本の官庁である総務省と、統計の技術を要する民間のノウハウ活用の、官民協力も考えていることから、様々な面で有効な連携案件といえる。

カンボジアの案件は何に関しても資金面での不足感が否めず、一度協力を開始すると、人的組織的な自立発展の工夫をいくら行っても、資金面での自立発展性に確証がない。プロジェクト終了後には、突然すべてを終了するのではなく、プロジェクト終了後の在外事業強化費の活用、企画調査員の同経費の活用、研修員F/U経費の活用などを通じ、経費面での若干の支援を、規模を縮小して残しつつ、日本の人的協力終了後のカンボジア側の人的組織的な自立・持続をさらに固め後押しできるような方法を検討し、経費的にもFade outしていけるような出口シナリオを、長期的視点から考える必要があると思われる。

第3章 今後の対応

(1) プロジェクトの開始まで

- 1) 事前評価結果の取りまとめ及び事業事前評価表の決裁 (2006年12月初旬)
- 2) R/D (案) の決裁及びR/D署名 (2006年12月中旬)
- 3) 民間活用部分契約締結 (2007年3月頃)
- 4) プロジェクトの開始 (2007年4月)

R/Dの締結に際しては、本プロジェクト実施の前提条件であるノンプロジェクト無償見返り資金の承認の見込みがあるか確認する必要がある。併せて、集計作業の拠点となる統計センターの建築状況を注視していく必要がある。

なお、上記3)に関連し、今回のプロジェクトは、NISの協力を得て行う直営部分と民間活用による業務実施契約による実施部分とを想定しており、総務省によるリソースを確認したうえで、民活部分の計画を考える必要がある。

(2) プロジェクト開始後

本案件の特徴点として援助協調による実施ということがあげられるため、プロジェクト開始前であるいは開始後も、UNFPAなど主要なドナーと連絡調整を密に実施する。これは、直営型で派遣が予想されるチーフアドバイザーだけでなく、民活の各専門家においても留意すべき事項である。また、プロジェクト開始後は、JICAの協力であることを明示するなど広報に努めることとする。

長期的には人口センサスが今後NIS独自に実施できるよう人材の育成・定着を図るとともに異動があっても組織内にノレッジが残るようインスティテューショナルメモリーの蓄積を図る。また、ガバナンスとの関連で、センサス結果がNSDPのモニタリングなど、政策立案・評価に使用されるよう方向づけていくほか、一般国民による活用という点も念頭においた協力を行っていく。

別 添 資 料

1. 調査日程
2. 協議・ヒアリング記録
 - 2-1. JICA事務所との協議（11月20日）
 - 2-2. 日本大使館との協議（11月20日）
 - 2-3. 専門家との協議（11月20日）
 - 2-4. NISとの協議・ヒアリング（11月20日、22日、23日、24日、27日）
 - 2-5. 計画省州事務所統計課訪問
 - ①Prey Veng州（11月21日）
 - ②Kandal州（11月21日）
 - ③Phnom Penh（11月22日）
 - ④Siem Reap州（11月25日）
 - 2-6. UNFPAとの協議（11月22日）
 - 2-7. 関係省庁訪問
 - ①教育省（11月23日）
 - ②鉱工業エネルギー省（11月24日）
 - 2-8. CDC訪問（11月24日）
 - 2-9. 署名式（11月27日）
 - 2-10. 日本大使館報告（11月27日）
 - 2-11. JICA事務所報告（11月27日）
3. M/M
4. 事前調査団現地報告
5. 面談者リスト
6. 政府統計能力向上計画フェーズ1終了時評価表
7. UNFPAとの分担
8. 人口センサスドナー分担表
9. 統計マスタープラン
10. 2008 General Population Census Plan of Cambodia

別添 1. 調査日程

日数	月日	曜日	時間	行程	備考
1	11月 19日	(日)		成田発 → バンコク発 → プノンペン着	
2	20日	(月)	8:30 10:00 14:00 15:30	JICA カンボジア事務所訪問 在カンボジア日本大使館表敬訪問 専門家との打合せ カンボジア計画省統計局(NIS)との協議(プロジェクト協議)	
3	21日	(火)	9:30 13:00 17:00	計画省 Prey Veng 州事務所統計課訪問 調査区設定状況の確認 計画省 Kandal 州事務所統計課訪問	
4	22日	(水)	10:00 14:00	NIS とのプロジェクト協議(C/P 及び機材の確認) UNFPA カンボジア事務所訪問	
5	23日	(木)	10:00 14:00 15:15	専門家の活動状況視察(NIS) NIS とのプロジェクト協議 関連省庁訪問(教育省)	
6	24日	(金)	8:30 10:00 15:00 16:00	計画省 Phnom Pehn 市事務所統計課訪問 NIS とのプロジェクト協議 カンボジア開発評議会(CDC) 訪問 関連省庁訪問(鉱工業エネルギー省)	
7	25日	(土)	10:00	計画省 Siem Reap 州事務所統計課訪問 調査区設定状況の確認	
8	26日	(日)		ミニッツ修正	
9	27日	(月)	10:00 12:00 14:00 15:00 16:00 20:40	ミニッツ最終確認(NIS) レセプション ミニッツ署名(NIS) 在カンボジア日本大使館報告 JICA カンボジア事務所報告 プノンペン発→バンコク着	
10	28日	(火)		成田着	

別添 2. 協議・ヒアリング記録 2-1. JICA 事務所との協議 (11 月 20 日)

日 時：2006 年 11 月 20 日 8:30～

場 所：JICA カンボジア事務所

面談者：米田所長、鶴飼次長、笠原所員

当 方：調査団員 (熊谷、石原、塚本)、派遣専門家 (西チーフアドバイザーほか)

面談内容：

1. 調査団長より説明

調査団より、各団員紹介の後、政府統計能力向上計画フェーズ 2 で考えられる協力概要と意義、今回の調査目的及び内容について説明した。また、第 2 フェーズ実施までのスケジュールからみて、R/D を 12 月中旬に締結してほしいことを依頼した。

①協力概要としては、主に人口センサスについて、調査区設計や集計、分析、出版、公表等に協力し、加えて、事業所リスキニング等も行うことが考えられること、②単に人口センサスの結果を作成のうえ成果物として渡すのではなく、カンボジア側のキャパシティが高められるような OJT を行い、目的も能力向上にしていること、③カンボジアの政策上もガバナンスの重要性が述べられており、また統計はすべての施策の基本であり、BHN などでドナー協力において日が当たりがちな教育や保健分野等でも常に統計による指標が求められるため、統計能力向上はそうした協力への重要な支えになること、④カンボジアの新統計法でも 10 年に一度の人口センサス実施が決められており、センサスを 2008 年に実施する旨の法令も発せられているため、前回 98 年の人口センサスに続き 2008 年に人口センサスが実施されるのはまず間違いないこと、国連でも 10 年に一度のセンサス実施が勧告されていること、⑤人口センサスの一連の作業のうち、大規模な調査員動員のような部分は UNFPA のカンボジアを含む海外での豊富な協力経験を生かしてもらい、上記①に記したような、技術協力に適するような部分を JICA の協力部分として考えており、JICA から見れば効率的な連携となること、⑥フェーズ 1 においてはプロジェクトが研修をしていない期間に、プロジェクトの機材を活用してボランティアが、プロジェクトがカバーしていない地方での研修を行ったり、調査区設計では開発調査で作成した地図を活用しており、ここでも効果的な他スキームとの連携がなされていること、⑦他方で、先般承認された見返り資金による、統計センターの予定通りの完工や、UNFPA の協力など様々な前提条件や外部条件があるため、その見込みなりとも確認しておきたいこと、⑧見返り資金活については趣旨からいっても承認が望めるものである、外務本省課長レベルにも本件話が上がっていること、を述べた。

2. 質疑

<米田>フェーズ 1 とフェーズ 2 に分けてよかった点は？また、第 1 フェーズのときはどのくらいの予算を想定していたのか。

<熊谷>昨年度 5 月における事前調査では当初具体的な金額はわからなかった。

フェーズを 2 つに分けたことで、人口センサスへの協力のための前提条件がはっきりした。また、分けることで、どのような点に留意すべきかはっきりした。

統計法で人口センサスは10年に一度は実施することとなっているが、今年1月30日に発令された Sub Decree によってようやくフェーズ2の実施に踏み切ることができた。

<笠原>第1フェーズは研修が中心であったが、このような大規模な人材育成はNISでも初めての経験であり、各省庁及びドナーからも賞賛されている。フェーズ2でも続けていただきたい。

<西>地方や各省庁向けの研修は第2フェーズでも多少含んでいるし、講師のできる人材の育成を重視したい。

<熊谷>人材育成については、プロジェクト終了後もフォローアップ事業などを活用して、相手側に引き継いでいったり、他ドナーに回していく方法も考えられる。

<鶴飼>第1フェーズの終了時評価決裁は終わったのか。

<熊谷>第2フェーズの事前調査があるので、その前に終了時評価を行ったが、既に決裁を終えている。

<米田>NISへ派遣されている青年海外協力隊員の活動にもプロジェクトが役立っていると聞いている。隊員も充実した活動を行っている。

<熊谷>後任が要請されていないと聞いているが、本件はプロジェクトと隊員が刺激しあって良好な関係を保っているようなので、是非続けていただきたい。

<鶴飼>良い連携も人次第という面もある。

※調査期間の中に、後任の派遣が要請されていることが判明した。

以上

2-2. 日本大使館との協議（11月20日）

日 時：2006年11月20日 10:00～11:45

場 所：在カンボジア日本国大使館

面談者：作田吉弘二等書記官

当 方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務所員（笠原）

面談内容：

調査団より、各団員紹介の後、下記のとおり、政府統計能力向上計画フェーズ2で考えられる協力概要と意義、今回の調査目的及び内容について説明した。また、大使館表敬時の重要なポイントであった、見返り資金について大使館として優先度を高いと判断のうえ、早急に本省に送付いただきたい旨、依頼した。

①協力概要としては、主に人口センサスについて、調査区設計や集計、分析、出版、公表、等に協力し、加えて、事業所リスティング等も行うことが考えられること、②単に人口センサスの結果を作成のうえ成果物として渡すのではなく、カンボジア側のキャパシティーが高められるような OJT を行い、目的も能力向上にしていること、③カンボジアの政策上もガバナンスの重要性が述べられており、また統計はすべての施策の基本であり、BHN などドナー協力において日が当たりがちな教育や保健分野等でも常に統計による指標が求められるため、統計能力向上はそうした協力への重要な支えになること、④カンボジアの新統計法でも 10 年に一度の人口センサス実施が決められており、センサスを 2008 年に実施する旨の法令も発せられているため、前回 98 年の人口センサスに続き 2008 年に人口センサスが実施されるのはまず間違いなく、国連でも 10 年に一度のセンサス実施が勧告されていること、⑤人口センサスの一連の作業のうち、大規模な調査員動員のような部分は UNFPA のカンボジアを含む海外での豊富な協力経験を生かしてもらい、上記①に記したような、技術協力に適するような部分を JICA の協力部分として考えており、JICA から見れば効率的な連携となること、⑥フェーズ1においてはプロジェクトが研修をしていない期間に、プロジェクトの機材を活用してボランティアが、プロジェクトがカバーしていない地方での研修を行ったり、調査区設計では開発調査で作成した地図を活用しており、ここでも効果的な他スキームとの連携がなされていること、⑦他方で、先般承認された見返り資金による、統計センターの予定通りの完工や、UNFPA の協力など様々な前提条件や外部条件があるため、その見込みなりとも確認しておきたいこと、⑧大使館には、人口センサスに関する見返り資金の優先的な取り扱いと本省への送付をできるだけ早くお願いしたいこと、本省の感触では、残額の積み上げも十分あり、見返り資金活用上の趣旨からいっても商人が望めるものである、課長レベルにも本件話が上がっていることを述べた。

大使館よりは、①大筋として見返り資金も問題ないとは思いますが、カンボジアでは見返り資金の申請が多いため、カンボジア側の優先度だけではなく、大使館側の優先度もいろいろ配慮せねばならない案件が多いため、現時点でコミットができにくい、②また、NIS から経済財務省に申請がいったそのコピーは入手しているが、経済財政省から本申請が来ない

と本省につなぐこともできないため、こちらも急いでもらう必要がある、また、まだ細かいところが見きれていないものの、コピーを見て返したコメントに NIS から追加の資料が来ていない、④案件そのものの意義を理解するが、人材のキャパシティービルディングだけではなく、組織としての能力強化ができるようにしなければ、公務員の給料が低いため、人材流出などがあることが十分考えられ、10年後 NIS が人口センサスを自分たちでできなくなる恐れがある、⑤計画省は政策官庁なので、許認可権限がある、手数料が入る、予算を握っている、というような人材が定着する率の高い官庁ではないと考えられるので、使える人ほど民間などに移ってしまうのではとの指摘があった。

派遣専門家、事務所員からは、①人材流出や組織の能力に関し、前回のセンサスにかかわった人材は残っており、地方人材は9割が前回の経験者という実績がある（これには、大使館より、「たまたま今回そうであっただけで、次回の保証はない」旨の指摘あり）、②98年のマニュアルも残っており、それを08年用にリバイスしている、その作業もカンボジア側とともに行っている、③今回のセンサスではアトラスなど具体的な成果物が出るので、それらを販売して資金を積み立て、予算源にすることも一法、ほかの途上国ではそのようなことをやっていること、④コーディングなどはセンサスだけでなくほかの調査でも実施するものであり、そうした機会を通じて、まったく同じでなくともノウハウが引き継がれてゆくこと、⑤リスクが高い、優秀な少数の人材のみを対象にするの方法ではなくて、いろいろな人材が等しく作業ができるような、カバレッジの高い標準化されたやり方を考え実施すれば、残された記録を見て多くの人々が理解できるはず、⑥計画省は統計の第一人者が集まる場所であり、大学教授をするなどの兼業もしており、またデータを必要とするドナーなども NIS から手を引かないという状況もあり、これらのことが NIS の職員を職場にとどめている要因にもなっている等について紹介があった。

調査団からは、①書記官からの、組織としてのメモリーをきちんと持つべきというご意見はもっともで、それは内部でも指摘のあったことでもあり、NIS 側にアイデアを考えていってもらうなど、やり方を考えているところであるが、既に上記に示唆のあった、プロセスを記録として残す、マニュアルとして残す、カバレッジの高い方法を考えるというようなアイデアを取り入れていきたいことを答え、②先方からの正式な申請や正式な許可の手続きに時間も必要であろうから、見返り資金の確たる許可が当方宛示せないにせよ、今後 R/D の決裁や署名を経て公示にかけるといふプロセスが必要であるため、大使館レベルでは問題ないという内々の確認をお願いしたいことを述べた。これに対し、書記官から、内々の承諾について館内で確認する旨と、そのデッドラインの質問があったため、調査団よりは12月10日を期限として依頼した。

以上

2-3. 専門家との協議（11月20日）

日 時：2006年11月20日 14:00～

場 所：NIS 会議室

面談者：西チーフアドバイザー、井上専門家、柴沼専門家、玄羽専門家、高津専門家

当 方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、笠原所員

面談内容：

1. 調査団長より説明

調査団より、各団員紹介の後、政府統計能力向上計画フェーズ2で考えられる協力概要と意義、今回の調査目的について説明した。

2. 質疑

<熊谷>本案件に関してカウンターパートはどの程度期待が持てるのか。

<玄羽>公務員としての自覚が弱い面がある。講義では、国家建設のための統計の必要性について、ガバナンスという観点から話をしている。また、研修の対象者には各省庁関係者も多く、civil servantとしての役割についても強調しているところである。

<熊谷>研修を拝見したが、大変忍耐強く聞いているという印象を受けた。能力的な点で不安はないか。

<玄羽>国の体制が統計能力を向上させる体制となっていないのが問題である。カウンターパートに能力がないのではなく、情報を与えられていないのが大きい。情報を与え、考える種を与えることが必要である。management や coordination の点に関して、civil servantとしての役割を強調している。そのような話に対しては、最初はとまどっている様子であったが、徐々に理解されるようになってきた。

<高津>統計データベース関連について12人位を指導しているが、そのうち4人くらいが将来的に自ら指導できるようになると思われる。なかでも通訳を担当しているカウンターパート（Mr. Meng Kim Hor、30代後半）は特に自主的に取り組んでおり期待できる。基礎的なことは研修を乗り切れば十分身につくと思うが、応用力を身に付けさせることが難しい。

カウンターパートの中で理解が進んでいる人が周りに教えてあげるという考え方で臨んでいる。

<塚本>第1フェーズの進捗状況はいかがか。

<柴沼>ほぼ計画どおりに進んでいる。

調査区設定については、早くはじめて乾季のうちに終わらせておくことが必要である。雨季になれば調査区を回るのが困難となる。また、プノンペン市内の事業所リスティングも予定通り第1フェーズ内に終了する見込みである。

以上

2-4. NIS との協議・ヒアリング（11月20日、22日、23日、24日、27日）

<ヒアリング 11月20日>

日 時：2006年11月20日 15:30～

場 所：NIS 会議室

面談者：Ms.Hang Lina 副局長、Mr.Yem Suong, Mr. Long Chintha, Mr.Meng Kim Hor 他

当 方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務
所員（笠原）

面談内容：

1. 双方挨拶の後、Hang Lina 副局長より、調査票の作成などセンサスの進捗状況について説明。

2. 熊谷団長より、今回の調査目的および内容について説明。その後、あらかじめ当方から用意した論点に沿って議論した。確認した事項は以下のとおり。

- ①人口センサスの実施については、既に首相よりセンサス令が発令された状況にあつては、変更することはない。調査団から提示した PO との整合性も check し、変更あれば修正する（結果：修正なし）。また、PO はプロジェクトとしての活動で主として NIS が実施するスケジュールであることを、別途用意した専門家の派遣計画表（貼り付け予定表）を同時に提示して説明し、理解を得た。
- ②センサス結果の利用については、各省庁には統計表などデータを配布する。そのデータは、死亡率や識字率など、保健や教育など特定の分野において用いられるほか、NSDP などの政策におけるモニタリング指標としても活用される。
- ③人口センサスの実施体制については NCC(National Census Committee)は各省庁間の調整を行い、CTC(Census Technical Committee)は、技術的な側面につき監督し、Provincial Census Committee が中央と地方の政府間で行政上の指揮命令系統の中に位置づけられる。
- ④プロジェクトディレクターは NIS 局長、プロジェクトマネージャーは Department of Demographic Statistics Census and Survey を担当する副局長であり、直下の部局以外についても統計局長や他の副局長を通じて関係各課を指揮する。JCC について、各省はメンバーに入れず、招く場合は「その他必要があれば招へいする」との規定で読むこととする。
- ⑤カウンターパートや研修の参加者はプロジェクト終了後もセンサスや経済統計関連の部局に留まることを確認。また、カウンターパートへのインセンティブとして、Priority Mission Group という高い給与を与えられるグループの候補者ともなりうる。カウンターパートの具体的な氏名や役割についてはチャートを後日、調査団に提出し、ミニッツに付す。
- ⑥インセンティブペイメント等、カンボジア側で用意すべき人口センサスの追加的な経費については、NIS 側が経済財政省から予算を確保すべく努力するが、12 月末までは経済財政省から正式な回答が得られない見通し。
- ⑦ノンプロ無償見返り資金の確保に向けて NIS は手続きを促進し必要な措置を講ずる。UNFPA やドイツ政府からの資金は本プロジェクト実施のための前提条件であり、NIS がこれを確保すべく手続を怠り無く進めること。これが確保できないことは致命的な影響

を与えることを確認。

- ⑧配線や空調、コンセント等、統計センターに必要なインフラはカンボジア側が整え、また電気代等の運営経費はカンボジア側が負担することを確認。また、機材搬入の都合等もあり、集計作業が行われる統計センターの建設は2007年11月までに終えること、機材が操作できる人員をカンボジア側で配置することを確認した。
- ⑨当方から、センサスに関する刊行物やCDにJICAや日本のODAマークのロゴをNISのロゴとともに挿入することを提案したところ、NIS側からドイツ政府のロゴも入れるべきとの回答があり、当方はこれを受け入れた。
- ⑩経済統計の協力範囲については、サン・シー・タン局長が出張から戻る24日に再度協議することとなった。
- ⑪調査区設定における境界線の確定については、既に内務省と土地局との調整をNIS側が行っていることを確認した。また、ワークショップなどによりこれらの調査区を確認する場を持ちたいとの意見がNIS側から表明された。
- ⑫プロジェクト全体の枠組みをPDMをもとに確認した。

3. これらに追加して、組織的なノウハウ蓄積の強化、ジェンダーの観点の評価、統計結果への一般国民からのアクセスについて、協議した。

①組織的なノウハウ蓄積の強化

<熊谷>

マニュアルや重要事項の記録など今後人員が変わってもNISが人口センサスを実施できるようインスティテューショナルメモリーを強化する必要がある。

<Hang Lina>

NISには現在のところ、マニュアルについての規定は存在しない。調査に関する規定については、日本の例を教えていただければありがたい。

<西>

用意したい。

②ジェンダーについて

調査員は女性も多く雇われること、ジェンダーに配慮することを確認。

③一般国民のアクセスについて

生データは別として、統計表などを一般国民が利用することについて制限はないことを確認した。

4. その他

プロジェクト実施期間を2007年4月23日～2010年9月30日とすることを確認。

以上

<ヒアリング 11 月 22 日>

NIS におけるカウンターパートに対するヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Has Bunton, Deputy Director General, NIS
Ms. Hang Lina, Deputy Director General, NIS
Mr. Saint Lundy, Deputy Director, General Statistics Department, NIS
Mr. Meng Kim Hor, Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey. NIS
Mr. Long Chinha, Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey. NIS
Mr. Salh Neryro Kitana, Staff, NIS
Mr. Som Bony, Staff, NIS
Mr. Buoy Somethea, Vice Bureau Chief of Census
Mr. Chhuon Sothy, Bureau Chief of Data Processing
Mr. Sam Saroevrn, Vice Bureau Chief of Survey
Mr. Pen Socheat, Vice Bureau Chief
Mr. Sin Sereivuth, Bureau Chief, NIS
Mr. Yem Suong, National Advisor, NIS
Mr. Mich Kan Thuh, Director, Economic Statistics Department, NIS
Mr. They Kheam, Deputy Director, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS
Mr. Meas Rathmony, Chief, Bureau of Industrial and Trade Statistics, Economic Statistics Department, NIS
Mr. Ngeap Chhay, Vice Bureau Chief, Vice Bureau Chief, Bureau of Field Operation, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS
Mr. Tong Chhay Rine, Deputy Director, Economic Statistics Department, NIS
Mr. Chhun Bonarith, Vice Bureau Chief, Bureau of Statistical Information, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS

2. ヒアリングの日時

平成 18 年 11 月 22 日 10:00～11:50

3. 聴取事項

当方からは以下の事項に関する質問をして、各事項に関する責任者若しくは担当者が応答する形式で行った。

- (1) 小地域統計の利用について
- (2) 多重クロス集計に関して
- (3) データの審査の向上に関して
- (4) カンボジアの統計環境に関して（調査拒否など）
- (5) 事後調査に関して
- (6) 個人情報の保護に関して
- (7) ウェブサイトの充実について

上記質問に対する応答は、すべて英語で行われたため、NIS 職員の英語力に問題がないことが確認でき、また、応答内容においても特に問題となるような点は見受けられなかったため、各自自分の担当する分野において基礎的な知識を持ち合わせていることが確認できた。特にデータの質の向上に関しては、前回人口センサスとのチェック体制の違いを強調し、結果精度向上に対する意欲が伺えたし、また、小地域統計の利用に関しても様々な方面からの活用に関心があるようであった。

<ヒアリング 11 月 23 日>

日 時：2006 年 11 月 23 日 14：00～15：00

場 所：NIS 会議室

面談者：Ms.Hang Lina 副局長、Mr.Long Chintha, Mr.Yem Suong, Mr.Meng Kim Hor 他

当 方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務
所員（笠原）

面談内容：

1. 当方より、前日の協議を踏まえたミニッツ案の変更点について説明。
特に、「II Specifics Confirmed for the Project」の部分に挿入した 12 項目について説明。
2. NIS 側から修正点の指摘
 - ① 調査区設定については、その結果を公表するワークショップを開催してほしい
(⇒PDM の活動項目の一つとして挿入 (2007 年 9 月実施))
 - ② Deputy Director General of Department⇒Deputy Director General in charge of Department
 - ③ Deputy Directors of⇒Deputy Director Generals of
 - ④ Ministry of Finance⇒Ministry of Economy and Finance
 - ⑤ Department of Geography⇒Ministry of Urbanization, Land Management and Construction
を追加
3. 熊谷団長より更なる修正すべき箇所を指摘⇒NIS 側は概ね了承。
 - ①プロジェクト目標の評価指標について、現在は NIS の職員と、州計画局や各省庁の統計関連職員について同じものとしていたが、異なるものにする。
 - ②output として、センサスの手続きやマニュアルを記録した institutional memory の蓄積を一項目挿入する。
 - ③データ提供や小地域統計についての研修に関する評価指標として研修参加者数と理解度を追加する。

以上

<ヒアリング 11月24日>

日時：2006年11月24日 10:00～

場所：NIS会議室

面談者：H.E.Mr.San Sy Than 局長、Ms.Hang Lina 副局長、Mr.Has Bunton 副局長、Mr.Long Chinthha, Mr.Yem Suong, Mr. Kim Net

当方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務所員（笠原）

面談内容：

1. 当方より、前日までの協議で残された論点について説明。

2. 局長も交えた協議

(1) 事業所リスティングにかかるサンプル調査について

<局長>統計マスタープランなどにおいても事業所調査の実施の必要性が説かれている。小規模のサンプル調査ならば30,000USDと経費もそれほどかからない。このプロジェクトで機会を逃すことは避けたい。とりあえず何か手をつけることが必要であり、関係者は人口センサスで忙しいとは思われるがスタッフは何とかやりくりできる。

<西>スタッフをアサインできるのであれば、小規模のサンプル調査を含めることも可能。

(2) 人口センサスにかかるカンボジア政府からの予算について

当方から、追加的な予算についてNISから経済財務省に要求することを重ねて依頼。局長からは、政府からの予算として745,758USDの拠出を経済財務省に要求していること、車両とオートバイの経費や、20万USDは調査員の手当てに当てられること、全額認められることは難しいと思うがなお努力を続けたいことについて説明あり。なお、運営経費の支出は問題ない。

(3) UNFPA、ドイツ政府の資金拠出について

<熊谷>UNFPAとの打合せでUNFPA及びドイツ政府からの資金拠出については確認できた。しかし、具体的にいつ提供されるか明らかでない。これらの資金を確保するのは本来NISの役割であり、資金が確保できるよう努力してほしい。JICAだけで協力しても他のドナーが協力しなければJICAの投資が無駄になる。ドナーからの拠出の感触は得られたが、確認がなされていない。

<局長>UNFPAとドイツ政府からの資金拠出は確認済である。

(4) ノンプロ無償見返り資金について

<熊谷>日本の見返り資金について、日本大使館からは12月初旬には承認が得られそうかどうかの返答をくれることになっている。しかしながら、いまだに経済財務省から日本大使館へリクエストがなされていない。すぐに大使館に出すよう確認してほしい。首相や副首相から本案件における見返り資金の重要性を述べたレターが経済財政

省に出されれば効果的である。

<局長>経済財政省に確認してみたい。

<笠原>レターを書いていただきたい。また、要請には詳細情報が必要なことに留意願いたい。

(5) 施設について

<熊谷>統計センターが 2007 年 11 月までに完成している必要がある。統計センターが完成していなければ集計票の紛失が起きる可能性もある。建設についてスケジュールの管理が重要である。

<局長>来年 11 月まであと 12 か月あるので統計センターは完成する。また、そこに搬入するものもタイムリーに購入できるようにしたい。

(6) Institutional Memory について

<熊谷>マニュアル等、次の世代に継承していくための文書が必要。人の異動によりノウハウが紛失してしまうことを避けることが必要であり、一種のリスクヘッジである。2018 年にカンボジアで人口センサスをなし得なかったら、他ドナーのみならず日本の国会、会計検査院、そして納税者が問題視することとなる。その意味でも、Institutional Memory を強化することが重要。

<局長>Institutional Memory を蓄積することは政府及び NIS のポリシーでもある。優秀なスタッフを招き、体制を充実させたい。NIS のスタッフに対して UNFPA の業務などもあるが、JICA との協力も非常に重要だと言ってある。ノレッジについて、CD なども活用して残すように努力したい。

<熊谷>メモリーを残すために必要なルールを残しておくことも必要である。

<西>日本の統計局でもセンサスについて詳細な規定があるので、NIS でないのであれば日本の例を示したい。

(7) カウンターパートリスト

ミニッツにカウンターパートのリストを添付する。24 日夕刻までに NIS 側がリスト用意する。

3. 今回のミニッツについて変更点を意見交換した。

①National Committee⇒National Census Committee chaired by Deputy Prime Minister, Minister of Interior

②chaired by the Ministry of Planning⇒chaired by the Senior Minister of the Ministry of Planning

③プロジェクト目標について、the Population Census の後に or related surveys を追加。

④output 1 について、and other statistical surveys を and prepared for statistical surveys に変更。

⑤活動について、7-4 として事業所リスティングに係るサンプル調査を加える。

以上

<ヒアリング 11 月 27 日>

日 時：2006 年 11 月 27 日 10：00～

場 所：NIS 会議室

面談者：H.E.Mr.San Sy Than 局長、Mr.Has Bunton 副局長、Mr.Seng Soeurn 副局長、Mr.Kim Net 他

当 方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務所員（笠原）

面談内容：

1. 当方より、ミニッツの修正点について説明

①Ministry of Urbanization, Land Management and Construction⇒Ministry of Land Management, Urban Planning and Construction

②5 項目の事前評価結果として、「NIS がノンプロ無償見返り資金や他のドナーからの資金を確保することがプロジェクトの実施にとって決定的である」旨の文章を追加。

<熊谷>カウンターパートファンドを確保することはプロジェクトのために不可欠である。経済財政省にレターを出すなどして手続きを促進するとともに、恒常的に確認してほしい。

<局長>NIS からは全ての書類を経済財政省に提出済である。経済財政省での手続きはオンゴーイングのプロセスにあり、承認される見込みである。毎日確認したい。

<熊谷>UNFPA とドイツ政府から資金拠出の確認が得られたのであれば文書でいただきたい。

<局長>（コピーを持参して）ドイツ政府からの 150 万 USD の拠出の確認のレターは 11 月 10 日付で提出されている。UNFPA から 6 月 16 日付のレターがある。

③カウンターパートのリストをミニッツに追加。

④PDM 上の機材について copy machine を printer に変更。

⑤PDM の output 8 について、「ワークショップの開催」⇒「人口センサスについての共通理解の醸成（調査区設定、センサス結果など）」に変更

⑥PDM の output 9 について、インスティテューショナル・メモリーの事例として、「重要プロセス、重要事例、マニュアル」等も例示として入れる。

⑦PDM の output 10 として、「ドナー間の調整」を入れる。

2. 修正点について、概ね理解が得られた。

以上

2-5. 計画省州事務所統計課訪問

①Prey Veng 州 (11月21日)

Prey Veng 州計画局事務所統計課におけるヒアリング (基本事項)

1. ヒアリングの相手方

Mr. Samreth Makara, Director of Planning Department, Prey Veng

Mr. Vann Sann, Deputy Director of Planning Department, Prey Veng

Mr. Prak Sopath, Deputy Bureau Chief of Administration Office,
Planning Department, Prey Veng

Mr. Soeung Sarath, Deputy Chief of Statistics Office, Planning Department,
Prey Veng

Mr. Yem Suong, National Advisor, NIS

2. ヒアリングの日時

平成18年11月21日 9:30~10:30

3. 聴取事項

プレイベン州計画局は、各州に所在する計画省直轄の州事務所の一つである。プレイベン州計画局統計課は同事務所(職員30名)課の一つとして所在している。また、郡計画事務所の職員30名を含めると、プレイベン州の計画省職員数は合計60名である。

プレイベン州は、首都プノンペンから南東90kmほどに位置して、南はベトナムと国境で接している。メコン川の氾濫原に位置して、1年のうち数か月は洪水で水に浸かるところが多いため、お米を栽培して暮らしている農家がほとんどの地域である。

(1) 州事務所統計課の職員数

州事務所内に統計専属の職員が6名配置されており、また郡計画事務所(12か所)では2~3名の統計担当職員が配置されている。

なお、統計職員の全員(6名)が1998年人口センサスの経験がある。

(2) 州事務所の人事・採用

州事務所の職員は、全員地元採用の者である。

(3) 州事務所職員の教育レベル

ほとんどの職員が高卒以下だが、学士を取得している者も2名いる。

(4) 州事務所職員の研修歴

統計職員のうち1人が、NISでの全体的な統計研修(General Course)を受けている。

(5) 州事務所のPC配置数

州事務所には中古のPCが13台、また、SEILAプロジェクト用として新品が3台配置されている。しかしいずれもインターネットへは接続しておらず、E-mailアドレスも保有していない。

また、新品のPCのうち2台のOSは、Windows XPである。

(6) 郡(District)計画事務所のPC配置数

郡計画事務所にはPCが配置されていない。

- (7) 州計画局統計課職員の PC 利用度
州計画局職員のうち8名がパソコンを利用可能であり、うち統計課職員は2名が利用可能である。
 - (8) 州計画局統計課の主な統計業務
 - 1) Gender 関係
 - 2) Poverty Assessment への参加
 - 3) Socio-Economic Survey への参加
 - (9) 州計画局統計課の主な統計刊行物 (州独自のもの)
 - 1) 州5ヵ年計画書
 - 2) Commune Profile
 - (10) 行政区域の境界線の変更状況 (1998年人口センサス以降)
3つの村において境界線の変更が生じた。
 - (11) 小地域統計に対するニーズ
小地域の統計については、州政府からの需要がある。Commune 別データのニーズも高く、NGO からの要請もある。
 - (12) 研修の必要性
統計の実務に役立つための研修が必要である。
4. プレイベン州計画局における問題点
プレイベン州計画局長の言では、本事務所には以下の問題点がある。
- (1) 職員の能力向上のための研修。
 - (2) PC 等の設備の充実。
 - (3) オフィス環境の整備。

②Kandal 州 (11 月 21 日)

Kandal 州計画局事務所統計課におけるヒアリング (基本事項)

1. ヒアリングの相手方

Mr. Ka Den, Deputy Director, Department of Planning, Kandal

Mr. Chan Tara, Deputy Chief, Inspection Office, Kandal

Mr. Pao Bumsan, Staff, Planning Office, Kandal

Mr. Thoeur Thok, Staff, Planning Office, Kandal

Mr. Yeng Bunheang, Staff, Planning Office, Kandal

Mr. Kin Nor, Staff, Statistical Office, Kandal

Mr. Yem Suong, National Advisor, NIS

2. ヒアリングの日時

平成 18 年 11 月 21 日 17:00~18:00

3. 聴取事項

カンダール州計画局は、各州に所在する計画省直轄の州事務所の一つである。カンダール州計画局統計課は同事務所 (職員 38 名) 課の一つとして所在している。また、郡計画事務所の職員 30 名を含めると、カンダール州の計画省職員数は合計 68 名である。

カンダール州は、首都プノンペンを取り囲むように位置している州であり、タケオ州に続く国道 2 号線の周辺地域は成長回廊と呼ばれ、急速な経済成長を続けている地域である。

(1) 州計画局統計課の職員数

州計画局内に統計専属の職員が 6 名配置されており、また郡計画事務所 (11 か所) では 1~2 名の統計担当職員が配置されている。

なお、統計職員の全員 (6 名) が 1998 年人口センサスの経験がある。

(2) 州計画局の人事・採用

州計画局職員のうち、8 名はプノンペン出身の者である。

(3) 州計画局職員の教育レベル

10 名が学士を取得しており、20 名は高卒。統計課の職員のうち 3 名が学士を取得。

(4) 州計画局職員の研修歴

Planning School Course を受けている。

(5) 州計画局の PC 配置数

州計画局には PC が 4 台、うち統計課には 1 台配置されている。しかし、いずれもインターネットへは接続していない。

また、PC のうち 3 台の OS は、Windows XP である。

(6) 郡 (District) 計画事務所の PC 配置数

郡計画事務所のうち 8 か所には各 1 台ずつ PC が配置されているが、いずれも故障している。

- (7) 州計画局統計課職員の PC 利用度
州計画局職員のうち6名がパソコンを利用可能であり、うち統計課職員は1名が利用可能である。
- (8) 州計画局統計課の主な統計業務
- 1) Population
 - 2) Household
 - 3) Commune Council
- (9) 州計画局統計課の主な統計刊行物（州独自のもの）
- 1) Report of Population by Commune (annually)
- (10) 行政区域の境界線の変更状況（1998年人口センサス以降）
4つの村において境界線の変更が生じた。
- (11) 小地域統計に対するニーズ
民間会社（soap 関係）からの需要がある。
- (12) 研修の必要性
CPI 関連の研修が必要である。

4. カンダール州計画局における問題点

カンダール州計画局長の言では、本事務所には以下の問題点がある。

- (1) PC 設備の充実。郡に配置されている8台はすべて故障しているのだが、資金不足のため、修理ができない。
- (2) 職員への研修の充実。
- (3) オフィス環境の整備。

※地方によって状況は異なると思われるが NIS→州→郡へと中古のパソコンが提供されるようであり、下位のレベルにいくと耐用年数も経過しているため、故障しているようである。

③Phnom Penh (11月22日)

Phnom Pehn 市計画局事務所統計課におけるヒアリング (基本事項)

1. ヒアリングの相手方

Ms. Mom Sandap, Director of Planning, Phnom Penh

Mr. Kim Chan Dina, Deputy Director of Planning Department, Phnom Penh

Mr. Yim Rath, Deputy Director of Planning Department, Phnom Penh

Mr. Mak Phiquim, Bureau Statistic, Phnom Penh

Mr. Kim Net, Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS

2. ヒアリングの日時

平成18年11月24日 8:30~9:30

3. 聴取事項

プノンペン、カンボジアの首都であり、人口約101万人を擁する政治・経済の中心地である。

(1) 市事務所統計課の職員数

市事務所内の職員数は計47名(男性31名、女性16名)であり、うち統計専属の職員が5名配置されている。

なお、統計職員の全員(5名)が1998年人口センサスの経験がある。

(2) 市事務所の人事・採用

市事務所の職員は、全員地元採用の者である。

(3) 市事務所職員の教育レベル

15名が大学卒、32名が高卒。

(4) 市事務所職員の研修歴

22名がJICAの研修を受け、また、15名がADBの研修を受けている。

(5) 市事務所のPC配置数

5台のPCが配置されており、4台は統計課でも使用できる。しかし、いずれもインターネットへは接続しておらず、E-mailアドレスを保有しているのは1台だけである。

また、PCのうち4台のOSは、Windows XPである。

(6) 郡(District)計画事務所のPC配置数

7台のうち、5台はワープロが使用可能である。

(7) 市計画局統計課職員のPC利用度

市計画局職員のうち8名がパソコンを利用可能であり、うち統計課職員は4名が利用可能である。

(8) 市計画局統計課の主な統計業務

1) Commune 及び Village のデータ収集

- (9) 州計画局統計課の主な統計刊行物（州独自のもの）
 - 1) annually report (economic commercial level の commune data base の分析)
- (10) 行政区域の境界線の変更状況（1998年人口センサス以降）
4つの村において境界線の変更が生じた。
- (11) 小地域統計に対するニーズ
Commune 別、Village 別データに関して、NGO 等からの要請もある。
- (12) 研修の必要性
Commune 別、Village 別データ等の分析をするための研修が必要である。

4. プノンペン市計画局における問題点

プノンペン市計画局長の言では、本事務所には以下の問題点がある。

- (1) 設備・機材に問題があるため、上からの指揮命令が下に届くまでに時間がかかる。

④Siem Reap 州（11 月 25 日）

Siem Reap 州計画局事務局統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Soukim Prithy, Director of Planning Department, Siem Reap

Mr. Hak Sotheara, Deputy of Planning Department, Siem Reap

Mr. Em. Sean, Chief of Planning Office, Siem Reap

Mr. Hom Kim Ay, Vice Chief of Pouk District, Siem Reap

Mr. Sy Ve, Vice Chief of Planning Office, Siem Reap

Mr. Srey Sokun, Deputy Chief, Planning Office, Siem Reap

Mr. Chhoeun Sotoa, Vice Chief of Statistical Office, Siem Reap

Mr. Kas Mach, Vice Chief of Statistical Office, Siem Reap

Mr. Nim Sophin, Bureau Chief Planning, Siem Reap

Mr. Ly Sareum, Vice Bureau Planning, Siem Reap

Mr. Seng Visal, Vice Bureau Planning Office, Siem Reap

Mr. Chen Sarakvcm, Planning District, Siem Reap

Mr. San Sy Than, Director General of NIS

Mr. Kim Net, Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS

2. ヒアリングの日時

平成 18 年 11 月 25 日 10:00～11:30

3. 聴取事項

シエムリアップ州計画局は、各州に所在する計画省直轄の州事務所の一つである。シエムリアップ州計画局統計課は同事務所（職員30名）課の一つとして所在している。また、郡計画事務所の職員28名を含めると、シエムリアップ州の計画省職員数は合計58名である。

シエムリアップは、首都プノンペンから北西へ約250kmの位置にあり、トレンサップ湖の北側にある街であり、アンコール遺跡群の観光拠点となっている。

（1）州事務所統計課の職員数

州事務所内における統計専属の職員は6名である。

なお、統計職員のうち5名が1998年人口センサスの経験がある。

（2）州事務所の人事・採用

州事務所の職員は、全員地元採用の者である。

（3）州事務所職員の教育レベル

2名が学士を取得しており、残りの者は高卒。

（4）州事務所職員の研修歴

1名が JICA の研修を受けている。また、Primary Statistics Course もある。

（5）州事務所の PC 配置数

6台の PC を借用している。うち2台がインターネットに接続してあるが、E-mail アドレスを保有しているものはない。

また、PC のうち3台の OS は、Windows XP である。

- (6) 郡(District)計画事務所の PC 配置数
各 1 台が NIS によって配置されている。
- (7) 州計画局統計課職員の PC 利用度
6 名が利用可能である。
- (8) 州計画局統計課の主な統計業務
 - 1) Commune 及び Village のデータ収集
 - 2) CPI
 - 3) NIS から指示される調査の実施 (General Survey)
 - 4) Library の管理
- (9) 州計画局統計課の主な統計刊行物 (州独自のもの)
 - 1) Commune Profile
- (10) 小地域統計に対するニーズ
ジェンダー関係や経済関係の指標の詳細を知るために NGO 等からの要請がある。
- (11) 研修の必要性
コンピュータ等機械操作のための研修が必要である。

4. シェムリアップ州計画局における問題点

シェムリアップ州計画局長の言では、本事務所には以下の問題点がある。

- (1) 資金面
- (2) 設備面
- (3) 人材育成のための研修機会

2-6. UNFPA との協議 (11 月 22 日)

日 時：2006 年 11 月 22 日 14:00～

場 所：UNFPA 会議室

面談者：Bettina Maas 所長、Sok Vanna プログラムマネージャー (センサス担当)

当 方：調査団員 (熊谷、石原、塚本)、派遣専門家 (西チーフアドバイザーほか)、事務
所員 (笠原)

面談内容：

1. 双方挨拶の後、熊谷団長より、今回の調査目的およびプロジェクト内容について説明。
2. 当方から質問とその回答
 - ・この案件は UNFPA などとの協力体制が重要であるが、UNFPA 及びドイツ政府からの資金の拠出は問題ないか聞いたところ、ドイツ政府からの拠出分は既に額が固定され確認レターが得られていること、UNFPA についてはまだ確定していないが必要額の負担を負うことに変更がないことについては確認できた。ただし、今後協力内容の若干の調整を図るとのこと。
 - ・集計について UNFPA のアドバイザーと JICA の専門家の連携の必要性については、UNFPA 側が強く認識していることを確認した。またこの UNFPA のアドバイザーの派遣期間は NIS の集計計画に記されていた 11 か月間ではなく、2007 年度に 3 か月間の派遣が確定されているだけという説明があった。1998 年のセンサス時に比べて追加的な表作成を行わなければ 3 か月間の派遣でも処理できることからこれを JICA 側で受け入れた。なお、UNFPA 側から集計や分析・提供の日程について変更もありうるがそれでも構わないか質問があったが、センサス実施後の予定は変わりうることは認識しており、専門家の派遣時期もそれに応じて若干の変更ならば可能であることを説明した。
 - ・センサスに対する協力の終了時期については、2010 年 9 月まで行うことを確認。
 - ・UNFPA や JICA や ODA マークやドイツ政府のロゴを NIS のロゴとともに挿入する提案については、まず NIS のロゴを最初のページに入れるべき、サポートするドナーのロゴは次ページ以降に入れればよいとの意見があった。当方も基本的にはこの提案を受け入れ、最終的には 12 月末に行われる NCC の場で決定することとなった。
 - ・UNFPA 側からは、ノンプロ無償見返り資金でもし日本政府がイエスといわないため資金の確保ができなければ、センサスの実施が危ぶまれるとの懸念が示された。

以上

2-7. 関係省庁訪問

①教育省（11月23日）

教育省統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Ms. Tham Setharath, Vice Chief of Project Management Office, Department of Planning

Mr. Puf Sauifu, Deputy Director, Department of Planning

Mr. Kuy Phala, Deputy Director, Department of Planning

Mr. Wow Theauty, Staff, Department of Planning

Mr. Khlok Vira, Staff, Department of Planning

Mr. Long Dim, Staff, Department of Planning

Mr. Kim Net, Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS

2. ヒアリングの日時

平成18年11月23日 15:15～16:15

3. 聴取事項

教育省は、カンボジア省庁の一つである。

(1) 教育省統計課の職員数

教育省内に統計専属の職員が14名配置されている。

(2) 教育省の人事・採用

教育省の職員は、基本的に教育省で独自に採用している。

(3) 教育省統計職員の教育レベル

2名が修士、8名が学士を取得しており、4名は高卒。

(4) 教育省統計職員の研修歴

すべての職員が Asian Institute of Technology (AIT) の研修を受けている。

(5) 教育省のPC配置数

教育省にはPCが14台配置されている。そのうち、1台がインターネット回線に接続されている。E-mailアドレスは一つある。

また、利用しているPCのOSは、Windows XPである。

(6) 教育省統計職員のPC利用度

全職員が使いこなせる。

(7) 教育省統計課の主な統計業務

1) Educational Indicator

(8) NISとの関係

Come-Info等のプロジェクトを通じて協力している。

- (9) 人口センサスの利用
Education for All (EFA)において利用している。
- (10) 研修の必要性
Data Processing や Excel Program の研修が必要である。
- (11) サンプルング・フレーム
サンプルング・フレームとしては使用していない。
- (12) 主なユーザー及び主な用途
Unicef, Unesco, EC, ADB 等の国際機関が主な利用者である。

② 鉱工業エネルギー省（11月24日）

鉱工業エネルギー省統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Heng Sophoan, Deputy Director, Industrial Affair Department

Mr. Noun Sopharm, Deputy Director, Industrial Affair Department

Mr. Sok Sanbath, Deputy Chief, Planning and Statistics Office, Industrial Affair Department

Mr. Hort Pheng, Chief, Planning and Statistics Office, Industrial Affair Department

Mr. IV Sambath, Chief, Planning and Statistics Office, Industrial Affair Department

Mr. Kim Net, Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS

2. ヒアリングの日時

平成18年11月24日 16:00～17:00

3. 聴取事項

鉱工業エネルギー省は、カンボジア省庁の一つである。

(1) 鉱工業エネルギー省統計課の職員数

鉱工業エネルギー省内に統計専属の職員が9名配置されている。

(2) 鉱工業エネルギー省の人事・採用

鉱工業エネルギー省の職員は、基本的に鉱工業エネルギー省で独自に採用している。

(3) 鉱工業エネルギー省統計職員の教育レベル

5名が学士、3名が博士、1名が修士を取得している。

(4) 鉱工業エネルギー省統計職員の研修歴

6名が JICA の研修を受講している。

(5) 鉱工業エネルギー省統計課の PC 配置数

鉱工業エネルギー省統計課には PC が2台配置されている。そのうち、1台がインターネット回線に接続されている。

また、利用している PC のうち1台は、Windows XP である。

(6) 鉱工業エネルギー省統計職員の PC 利用度

4名の職員が PC を使いこなせる。

(7) 鉱工業エネルギー省統計課の主な統計刊行物（独自のもの）

1) UNIDO (United Industrial Development Organization) 1999

(8) NIS との関係

Come-Info 等のプロジェクトを通じて協力している。

(9) 人口センサスの利用

年齢別、男女別労働力人口等の結果を利用している。

- (10) 研修の必要性
統計の基礎を学ぶためには必要だと感じている。
- (11) サンプルング・フレーム
郡別の集計をするために用いている。
- (12) 必要としている統計表のイメージ
年齢別、男女別、職業別労働力人口など

4. 鉱工業エネルギー省における問題点

本統計課には以下の問題点がある。

- (1) 設備の不備。
- (2) 技術面の充実
- (3) 財政面での援助。
- (4) 統計専門家の養成。

2-8. CDC 訪問 (11 月 24 日)

日 時：2006 年 11 月 24 日 15:00～

場 所：カンボジア開発協議会 (CDC)

面談者：Ms.Heng Sokun 課長、Mr.IM Sour 課長補佐、西岡専門家 (援助調整)

当 方：調査団員 (熊谷、石原、塚本)、派遣専門家 (西チーフアドバイザーほか)

面談内容：

1. 当方より、調査団員、案件概要およびこれまでの調査結果を紹介。

2. Heng 課長より説明

本部局は日本の ODA に対する窓口である。日本の ODA は重要であり、毎年日本大使館と JICA 事務所を招き、要望調査のセミナーを開催しているが、ほとんどすべての省庁が日本の ODA と関係している。ハード面だけでなくソフトの側面も重視している。人口センサスについてはカンボジア側のキャパシティーに限りがあり、日本のサポートが必要となっている。5 月～8 月にかけて要望調査を行い、各省からプロポーザルを集め、プライオリティーをつけて日本側に提出している。また、草の根技術協力にもかかわっている。

3. 質疑

<Heng>統計のプロジェクトは 2005 年度に始まり、3 年間のプロジェクトと聞いていたが。
<熊谷>新しいプロジェクトが 2007 年 4 月より始まるので、第 1 フェーズは 2007 年 3 月に区切って終了する。

<Heng>第 1 フェーズの評価はいかがか。

<熊谷>第 1 フェーズは研修中心のプロジェクトであったが、研修参加者の理解度は確実に向上した。総括的にいえば、能力が向上したといえるであろう。

<Heng>NIS のスタッフが日本に研修に行くと言った。

<西>プロジェクトにおいて、昨年度 2 人が日本に、2 人がインドネシアに行った。今年度も 2 人日本に行く予定である。この他 SIAP や UNESCAP 関連で招聘されている。

<Heng>NIS の多くの職員が日本に行って恩恵を受けている。研修が成功していることをうれしく思う。

<熊谷>次フェーズにおいてはほとんどが人口センサスを内容としている。しかし、それだけが問題ではなく、人材育成が真の目的であり、それがなされなければすべて無駄になってしまう。能力のある人は民間等に流れてしまうので、インスティテューショナル・メモリーも大切である。マニュアルや好事例など手続きに関わる文書も残したい。そうでなければ 10 年後のセンサスにおいてそれを実行できる人がいなくなる可能性がある。

統計は計画や政策において重要であり、保健や教育分野で指標として用いられる。

<Heng>多くの省庁や国際機関も用いる。また、異なるデータが存在するのを避ける必要がある。

<塚本>カウンターパートファンドも CDC を通して申請されるのか。

<Heng>カウンターパートファンドは、経済財政省と日本大使館との問題である。CDCは通過せず直接日本大使館に提出される。一方でプロジェクトについてはCDCが全データを有している。

以上

2-9. 署名式 (11月27日)

日時：2006年11月27日 14:00～

場所：NIS 会議室

面談者：H.E.Mr.Chhay Than 計画省大臣、H.E.Mr.Ouk Chay 次官、H.E.Mr.San Sy Than 局長、Mr.Seng Soeurn 副局長、Mr.Has Bunton 副局長ほか

当方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務所員（笠原）

面談内容：

1. 署名式にあたって、冒頭計画省大臣よりお言葉があった。
 - ・日本のサポートについては、よく知っており、カンボジア国民にとって大きな意義を有している。またボランティアによる協力についても感謝申し上げる。
 - ・本案件のフェーズ2についての合意がここに得られたことをうれしく思う。
2. 熊谷団長からの挨拶の後、統計局長も交えた三者による署名交換。
3. 最後にカンボジア事務所米田所長より挨拶。
 - ・ミニッツの署名が交換され、大変うれしく思う。この協力は、いろいろな組織が関係しており、成功することを心より願っている。
 - ・この場をお借りしてお願いしたいことがある。計画省は、関係者のコーディネーションにおいてリーダーシップを発揮してほしい。また、3年半におよぶ協力の中で、人や予算を集中させていただきたい。

以上

2-10. 日本大使館（11月27日）

日時：2006年11月27日 15:00～16:00

場所：在カンボジア日本国大使館

面談者：星倉淳一 二等書記官

当方：調査団員（熊谷、石原、塚本）、派遣専門家（西チーフアドバイザーほか）、事務所員（笠原）

面談内容：

調査団より、11月27日付「カンボジア政府統計能力向上計画フェーズ2事前評価調査団報告」4枚紙及び締結したミニッツ内容に基づき、調査結果報告を行った。

報告のポイントは、①プロジェクト概要、②人口センサスの実施そのものだけではなく、サステナビリティを勘案し、センサス実施を通じた統計人材育成と、10年後のセンサス実施を視野に入れた組織としてのメモリーの蓄積が、プロジェクトの中に組み入れられていること、③プロジェクトの実施・運営体制（指揮命令系統、人的規模の98年センサス時との比較、日本との比較等）、④各省庁や地方計画局の能力、センサス結果利用見込み、⑤5項目評価（統計はすべての施策の基本・指標であること、法律、政策上の裏づけによる妥当性や、UNFPAとの連携においてJICAの得意部分を担当、ボランティアとも連携・補完、開発調査の利用、官民の連携による効率性、等）、⑥UNFPA、ドイツ政府の協力が明らかである今、本プロジェクトの実施可否は、ノンプロ無償見返り資金の承認がクリティカルなポイントであり、20日の大使館表敬時に作田二等書記官に依頼した、本件へのご理解と、12月10日までの大使館のご意向の返答が重要である。

なお、既に以前承認された見返り資金による統計センター建設については、早速施工にかかっており、調査団滞在中の1週間でも、基礎工事に進展が見られていること、また、機材搬入やセンサス実施のスケジュールからいって、2007年11月までの完工、機材設置のための必要な電力等ファシリティの確保をNISに申し入れ了承された旨、報告した。

また、各省庁や地方計画局を訪問の折、現フェーズの統計研修に対する評価の声が多く聞かれたこともあわせ報告した。

星倉書記官からは、上記⑥について、ご了解を得た。

以上

2-11. JICA 事務所報告 (11 月 27 日)

日 時：2006 年 11 月 27 日 16:00～18:00

場 所：JICA カンボジア事務所

面談者：米田所長、鶴飼次長、笠原企画調査員、小西東南アジア第三 T 長、林企画調査員

当 方：調査団員 (熊谷、石原、塚本)、派遣専門家 (西チーフアドバイザーほか)

面談内容：

調査団より、調査報告を実施した。内容は先の大使館報告と同様。

その他、25 日のシェムリアップ計画局訪問時に先方から依頼のあった 3 点と当方の対応を報告し (①地方対象研修：第 2 フェーズでも実施、②機材：NIS 中央に集中供与するので地方への供与は不可、③ボランティア：調査団のマンドートを超えるため、必ず事務所に伝達する)、③について、小暮隊員は、別途派遣するよりプノンペン隊員の巡回でよいのではとの意見であったことも合わせ伝え、事務所によるシェムリアップへの回答を依頼した。

また、12 月 10 日を期限とした、見返り資金の大使館意向確認のフォローと、今後も必要となる UNFPA 等他ドナーとの調整についてフォローを依頼した。

さらに、今回の調査中に行った他案件に関する打ち合わせも実施した。(本案件に関係ないため記載省略。)

以上

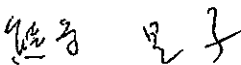
**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
PREPARATORY STUDY TEAM AND
AUTHORITIES CONCERNED OF
THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA
ON
THE PROJECT ON IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA PHASE 2**

The Preparatory Study Team (hereinafter referred to as “the Team”) for the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2 (hereinafter referred to as “the Project”) organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Ms. Mitsuko Kumagai, visited the Kingdom of Cambodia from 19th Nov, 2006 to 27th Nov, 2006 and had a series of meetings with the National Institute of Statistics (hereinafter referred to as “NIS”) and authorities concerned of the Royal Government of Cambodia for the purpose of working out the details of the project.

The Team exchanged views and had a series of discussions with the Cambodian authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both sides for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Royal Government of Cambodia, signed in Phnom Penh on June 17th, 2003, the Team and the Cambodian authorities concerned reached a common understanding to recommend to their respective Government the matters referred to in the documents attached hereto.

Phnom Penh, 27 November, 2006



Ms. Mitsuko Kumagai
Leader,
Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



H.E. Mr. Chhay Than
Senior Minister,
Minister, Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia



H.E. Mr. San Sy Than
Director General,
National Institute of Statistics
Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

ATTACHED DOCUMENT

I. BACKGROUND OF THE PROJECT

The official statistics in Cambodia was greatly delayed in development due to the civil war. Since 1990s, the official statistics has been gradually developed by the support of the United Nations and other donors. In 1998, the Population Census was conducted for the first time in 36 years with the assistance of the United Nations Population Fund(UNFPA). And it marked an important step to improve the official statistics system in Cambodia. However, the official statistics still needs to be improved in Cambodia. The donor countries and the international organizations regarded that the accuracy and reliability of statistical data of Cambodia are still low.

Under these circumstances, the Royal Government of Cambodia requested the technical cooperation project to improve statistical capacity of National Institute of Statistics(NIS) and provincial units, to improve economic statistics, and to assist the 2008 Population Census in August 2004. Responding to this request, JICA dispatched the preparatory study team in May 2005. However, during the study period, it was found that UNFPA could not decide to provide enough funds, and preparation of the consolidated plan of the 2008 Population Census was delayed. The study team and NIS agreed that technical assistance through the activities of the 2008 Population Census should be deleted from the project and also agreed that as soon as the implementation of the 2008 Population Census is confirmed, technical assistance through the activities of the 2008 Population Census will be considered. The first phase of the project, which was consisted of the training program of various levels of training courses, started in August 2005.

In January 2006, the 2008 Population Census Sub-decree was enacted by the Royal Government of Cambodia. NIS commended the preparation of Population Census from that time. UNFPA offered its intention to provide technical and financial assistance toward the 2008 Population Census. Under this situation, NIS applied for the phase two of the project. Improving official statistics and smooth implementation of the 2008 Population Census are crucial for the future development in Cambodia. Especially capacity building of NIS headquarters staff, the provincial statistical staff, and statistical staff of the main line ministries through the 2008 Population Census is very important.

II. SPECIFICS CONFIRMED FOR THE PROJECT

1. According to the Statistical Law, Population censuses shall be conducted at least once every ten years. The Census Sub-decree proclaims that the Population Census will be conducted in March 2008. NIS assured that the schedule of the Census would not be changed. And NIS confirmed the schedule of the project shown in ANNEX III to be basically consistent with the schedule of the Population Census.
2. NIS explained that for utilizing the results of the Census effectively, data would be provided to line ministries. Both sides agreed that data would be used not only for specific policies, but also for monitoring the National Strategic Development Plan (relating to the Cambodian Millennium Development Goals, the National Poverty Reduction Paper, etc). Data will be used for confirming mortality rate or illiteracy rate in the field of health or education, and so on.

3. About implementation structure of the 2008 Population Census, the National Census Committee for the 2008 General Population Census of Cambodia chaired by Deputy Prime Minister, Minister of Interior, coordinates the related ministries, and the Census Technical Committee chaired by Senior Minister of the Ministry of Planning oversees the technical aspects of implementation of the Population Census, and the Provincial Census Committee has the chain of command in terms of administrative aspects between the Central Government and local governments.
4. NIS explained that the project manager would be Deputy Director General in charge of Department of Demographic Statistics Census and Survey, and take command of other departments through Director General or Deputy Director Generals of other departments such as Economic Statistics Department.
5. List of Counterparts of the project is attached as ANNEX VI. Both sides confirmed that NIS counterparts would mainly conduct the activities shown in ANNEX III, and JICA would dispatch the Japanese experts properly and timely to give advices to the counterparts. NIS emphasized that counterparts of the project or participants to the training courses would be continuously assigned to the census or economic statistics related sections after completion of the project. As the incentives for the counterparts to remain in NIS, they will become the possible candidates of Priority Mission Group whose members are given higher salaries comparing to other government officials.
6. JICA explained that they could not bear the incentive payment. NIS agreed to make efforts getting such additional budget for the Population Census from Ministry of Economy and Finance. NIS has already requested the necessary budget to Ministry of Economy and Finance, but they have to wait the answer until the end of this year.
7. Both sides confirmed that disbursement from Counterpart Funds of Japanese Non-Project Grant Aids would be preconditions of implementation of the project. NIS agreed to take necessary measures to facilitate the procedure of application for Counterpart Funds. The team emphasized NIS should secure the necessary funds from donors like UNFPA or German Government, and the Counterpart Funds of Japanese Non-Project Grant Aids. Failure of securing those funds will seriously affect the implementation of the project.
8. NIS agreed that necessary infrastructure (e.g. the electrical power supply, air conditioners, outlets) for the equipments in the Statistical Center and other statistical facilities would be managed by the Cambodian side, and operational costs including electricity charges, etc. would be also borne by the Cambodian side. NIS assured that the Statistical Center, where data processing of the Census would be conducted, would be built by November 2007 as scheduled. NIS also agreed assigning proper staff who could handle the equipment.

9. JICA insisted names and logos of JICA and Japan's ODA along with NIS and UNFPA should be printed on the publications, CDs and so on. NIS answered that logo of German Government should be also printed. Both sides confirmed that names and logos of JICA, Japan's ODA, UNFPA, and the Government of Germany should be printed.
10. Both sides agreed that scope of the economical statistics cooperation would be the implementation of Establishment Listing as well as the development of the sampling frame and the implementation of sample establishment surveys.
11. As for the EA Boundary confirmation, NIS explained that they had already finished necessary coordination including that of political issues with Ministry of Interior and Department of Geography, Ministry of Land Management, Urban Planning and Construction.
12. Both sides shared the common view that keeping institutional memory for the Population Census would be very important. NIS explained that the personnel in charge of the 1998 Population Census almost remained in the same sections of both NIS and local governments. And the manuals of the 1998 Population Census were also kept and now under revising process. Both sides agreed that even though the counterparts might leave NIS, institutional memory would help other personnel in NIS to implement the Population Census ten years later. NIS assured that they would take necessary measures to keep institutional memory like taking notes of the process or important examples, making manuals, etc. Japanese experts will give necessary advices for those measures.

III. SUMMARY OF THE PROJECT

Both sides discussed and agreed with the summary of the project as follows:

1. Project Title
The Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2
2. Project Duration
Three and half (3.5) years from April 23, 2007 to September 30, 2010
3. Project Purpose
The statistical staff in the NIS headquarters, provinces, and line ministries will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census or related surveys basically.

4. Target Group
Statistical staff in the NIS, provinces, and main line ministries
5. Details of the project
See Project Design Matrix in ANNEX II
6. Tentative Schedule of Project Implementation
See Plan of Operation in ANNEX III

IV. RESULTS OF PRELIMINARY EVALUATION BASED ON FIVE BASIC EVALUATION COMPONENTS

The team has reported the results of preliminary evaluation based on the Five Basic Evaluation Components (ANNEX V) of the proposed project, and confirmed the project is feasible. However, to secure Counterpart Funds of Japanese Non-Project Grant Aids and other funds from donors by NIS is quite critical for implementation of the project. The summary is submitted to NIS and attached in ANNEX IV.

V. TENTATIVE SCHEDULE UNTIL THE COMMENCEMENT OF THE PROJECT

1. Both sides have agreed that present phase 1 project will be finished at the end of March 2007.
2. Both sides have agreed with the tentative schedule until the commencement of the phase 2 Project as follows:
 - 1) Early December 2006 : Authorization of the results of Preliminary Evaluation of the Project by JICA's governing board
 - 2) Mid December 2006: Signing on the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D") between NIS and JICA
 - 3) Early April 2007: Expected commencement of the Project by dispatching the Japanese experts

VI SIGNING OF RECORD OF DISCUSSIONS

Both sides prepared the draft version of the R/D as attached in ANNEX VII. The R/D would be signed between JICA and the authorities concerned of the Kingdom of Cambodia.

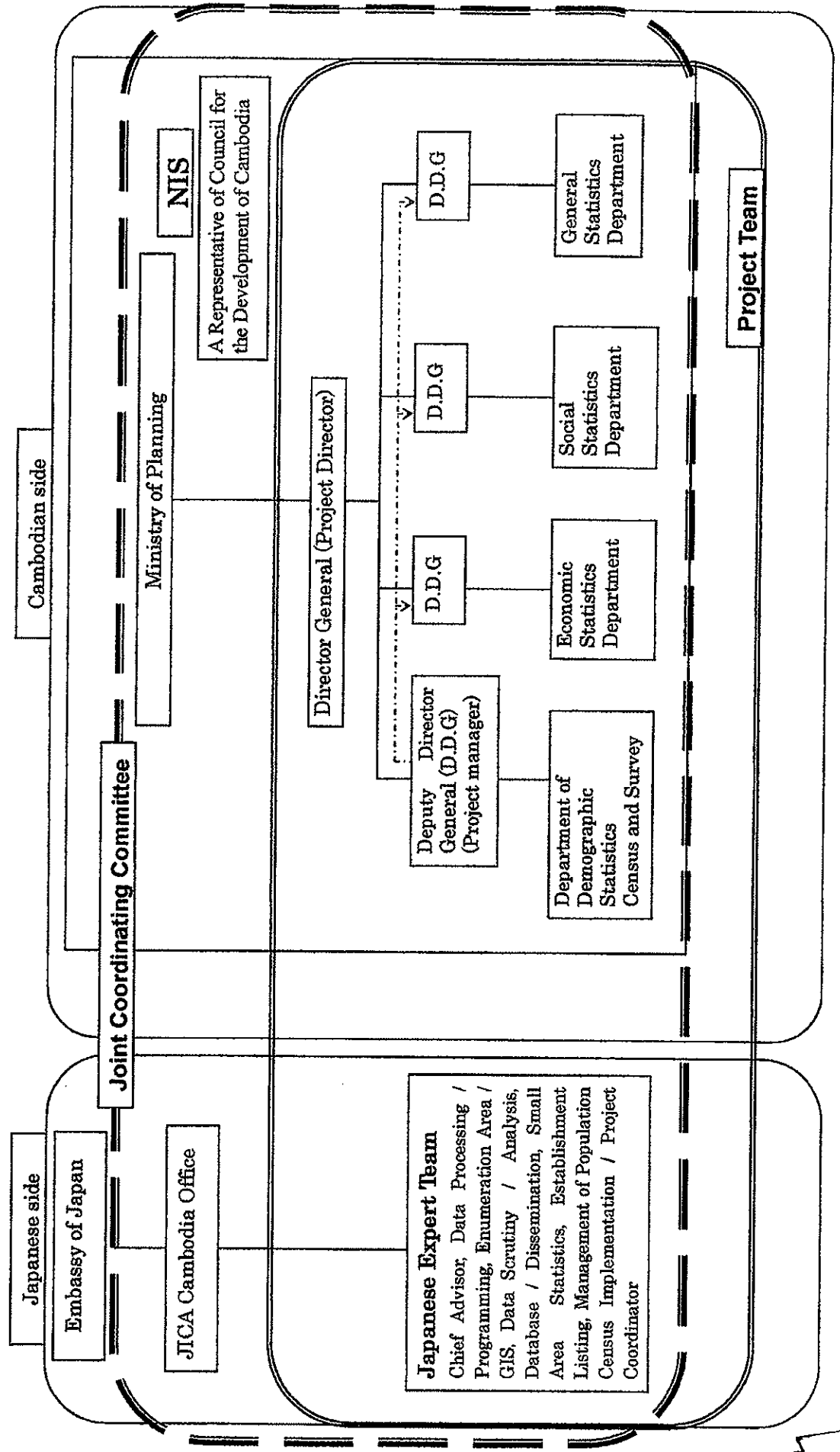
- ANNEX I Organizational Chart of the Project
ANNEX II Project Design Matrix (Draft)

- ANNEX III Plan of Operation (Draft)
- ANNEX IV Summary of Preliminary Evaluation
- ANNEX V Evaluation Method – Five (5) Basic Evaluation Components
- ANNEX VI-1 List of Counterparts (Population Census activities)
- ANNEX VI-2 List of Counterparts (Establishment Listing)
- ANNEX VII Record of Discussions (Draft)

⑤

✓
b

PROPOSED ORGANIZATIONAL CHART OF THE PROJECT



5

5

ANNEX II

Project Design Matrix (PDM) (Draft)

Project Title: Improving Official Statistics in Cambodia (Phase II)
 Implementing Agency: National Institute of Statistics (the NIS), Ministry of Planning
 Target Group: Statistical staff in the NIS, provinces, and main line ministries

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal Basic and useful statistics will be provided for planning and implementation of several policies, plans, and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments.</p>	<p>1 Number and periodicity of statistical publications released by the NIS 2 Number and sales quantity of statistical publications 3 Number of access and number of statistical documents newly updated to the NIS website</p>	<p>NIS NIS NIS</p>	<p>• Policy makers will recognize the importance of statistical information. • Necessary budget will be secured.</p>
<p>Project Purpose The statistical staff in the NIS headquarters, provinces, and main line ministries will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census or related surveys basically.</p>	<p>1 Number of capable statistical staff in the NIS 2 Number of statistical staff capable of using and analyzing the Census results in provinces, and main line ministries.</p>	<p>Conduct tests or interviews to the related statistical officers.</p>	<p>• Necessary Coordination with relevant Organizations will be conducted by NIS. • Counterparts will stay in the proper posts.</p>
<p>OUTPUTS</p> <p>1 Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for the enumeration of the Population Census and prepared for other statistical surveys.</p> <p>2 As the output of the data processing and scrutiny of the Population Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.</p> <p>3 The Population Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.</p> <p>4 Database of the Population Census results is developed.</p> <p>5 The Population Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.</p> <p>6 Small area statistics are tabulated and released.</p> <p>7 List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.</p> <p>8 Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc.)</p> <p>9 Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.</p> <p>10 Necessary coordination among the related donors of the Population Census are properly made.</p>	<p>1-1 Number of Village maps and EA maps 1-2 Number of statistical surveys in which village maps, EA maps and updated Village forms are prepared 2-1 Number of statistical tables (tabulated and/or released) 2-2 Number of microdata (processed) 3-1 Number of publications, papers, and pamphlets on analysis (tabulated and/or released) 4-1 Number of statistical tables stored into the database 4-2 Number of microdata stored into the database 5-1 Number of publications, CDs, web pages, statistical maps, and census atlases (tabulated and/or released) 5-2 Number of trainees in the training course 5-3 Level of understanding of the trainees 6-1 Number of small area statistical tables: by district, commune, village, and EA (tabulated and/or released) 6-2 Number of trainees in the training course 6-3 Level of understanding of the trainees 7-1 Number of establishments stored into the list 8-1 Number of workshops and seminars conducted. 9-1 Number of detailed records of procedures prepared. 10-1 Record of meetings with the related donors</p>	<p>NIS NIS and line ministries NIS NIS NIS, line ministries, and provinces NIS short examination NIS, line ministries, and provinces NIS short examination NIS NIS NIS NIS</p>	<p>• Necessary Coordination with relevant Organizations will be conducted by NIS. • Counterparts will stay in the proper posts.</p>

Activities		INPUTS		Important Assumption
		Cambodia Side	Japanese Side	
1 [Population census: Planning and implementation of the Census]	1-1 Plan and Implement the Census, and coordinate with UNFPA and other donors	Counterpart personnel	Experts: Chief Advisor, Data Processing/Programmer, g. Enumeration Area/GIS, Data Scrutiny/Analysis, Database/Dissemination, Small Area Statistics, Establishment Listing, Management of Population Census Implementation/Project Coordinator	UNFPA advisor will be dispatched as planned. The date of the Population Census will not be changed by the national elections in 2008.
2 [Population census: data processing]	2-1 Develop the data processing systems of the Census in the NIS headquarters in cooperation with UNFPA advisors	Office space and necessary furnitures for Japanese experts		
	2-2 Conduct the data processing of the Census	Running cost for the project activities		
	2-3 Scrutinize the micro-data of the Census	Approval for the free access to the statistical data necessary for the project activities (population census data, economic statistics data etc.)		
	2-4 Tabulate and scrutinize the statistical tables of the Census			
3 [Population Census: analysis]	3-1 Analyze of the Census results in cooperation with UNFPA advisors			
4 [Population census: database]	4-1 Develop statistical database storing demographic statistics data mainly in the NIS headquarters			
	4-2 Draft the procedures and guidelines on the statistical database systems			
5 [Population Census: dissemination]	5-1 Compile the publications of the Census results			
	5-2 Prepare the CDs of the Census results			
	5-3 Prepare the web-contents of the Census results			
	5-4 Prepare the statistical maps of the Census results			
	5-5 Compile the census atlases of the Census results			
	5-6 Conduct training for using and analyzing the Census results to the statistical staff of the main line ministries, etc		Provision of equipment: Printers, Servers, Network equipment, Software, etc. Training in Japan (or third country) Statistical Analysis Small Area Statistics Establishment Listing	Pre-Conditions: Cooperation of other donors for the Census will continue until the completion of the Census. Necessary funds for the Census including Counterpart Funds of Non-Project Grant Aids will be secured. The Cambodian Government will not cancel nor postpone the Census. The Statistical Center will be built as planned.
6 [Population Census: small area statistics]	6-1 Develop the village-level data processing systems of the Census in the NIS headquarters in cooperation with UNFPA advisors			
	6-2 Conduct training for using and analyzing the village-level results of the Census to statistical staff of provinces, etc			
7 [Establishment listing]	7-1 Plan the implementation of the establishment listing			
	7-2 Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment lists			
	7-3 Develop the sampling frame for economic statistical surveys in the NIS headquarters			
	7-4 Conduct sample establishment surveys			
8 [Workshops]	8-1 Hold the opening seminar of the Project			
	8-2 Hold the workshops on the result of EA delineation			
	8-3 Hold the workshops to disseminate the result of the Census			
	8-4 Hold the seminar to make the project widely known to the public			
9 [Institutional memory]	9-1 Develop and maintain the census related documents on detailed procedures			
10 [Coordination]	10-1 Take part in the related coordination committee of the Population Census			
	10-2 Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently			

5

LOT

**ANNEX III
PLAN OF OPERATIONS**

Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2

	2007	2008	2009	2010	2011
1	[Demarcation of EA (Enumeration Areas) is completed, the results of the delineation of EA are used for the finalization of the Census and prepared for other surveys]				
2	[As the output of the data processing and scrutiny of the Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.]				
3	[The Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.]				
4	[Database of the Census results is developed.]				
5	[The Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.]				
6	[Small area statistics are tabulated and released.]				
7	[List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.]				
8	[Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc.)]				
9	[Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.]				
10	[Necessary coordination among the related donors of the Population Census are properly made.]				
	Activities				
1	[Population census: Planning and Implementation of the Census]				
1-1	[Plan and implement the Census, and coordinate with UNFPA and other donors]				
1-2	[Delimitate Enumeration Areas of the Census]				
1-3	[Maintain and manage the EA of the Census]				
2	[Population census: data processing]				
2-1	[Develop the data processing systems of the Census in the NIS headquarters in cooperation with UNFPA advisors]				
2-2	[Conduct the data processing of the Census]				
2-3	[Scrutinize the micro-data of the Census]				
2-4	[Tabulate and scrutinize the statistical tables of the Census]				
3	[Population Census: analysis]				
3-1	[Analyze of the Census results in cooperation with UNFPA advisors]				
4	[Population census: database]				
4-1	[Develop statistical database storing demographic statistics data mainly in the NIS headquarters]				
4-2	[Draft the procedures and guidelines on the statistical database systems]				
5	[Population Census: dissemination]				
5-1	[Compile the publications of the Census results]				
5-2	[Prepare the CDs of the Census results]				
5-3	[Prepare the web contents of the Census results]				
5-4	[Prepare the statistical maps of the Census results]				
5-5	[Compile the census atlases of the Census results]				
5-6	[Conduct training for using and analyzing the Census results to the statistical staff of the main line ministries, etc.]				
6	[Population Census: small area statistics]				
6-1	[Develop the village-level data processing systems of the Census in the NIS headquarters in cooperation with UNFPA advisors]				
6-2	[Conduct training for using and analyzing the village-level results of the Census to statistical staff of provinces, etc.]				
7	[Establishment listing]				
7-1	[Plan the implementation of the establishment listing]				
7-2	[Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment data]				
7-3	[Develop the sampling frame for economic statistical surveys in the NIS headquarters]				
7-4	[Conduct sample establishment surveys]				
8	[Workshops]				
8-1	[Hold the opening seminar of the Project]				
8-2	[Hold the workshops on the result of EA delineation]				
8-3	[Hold the workshops to disseminate the result of the Census]				
8-4	[Hold the seminar to make the project widely known to the public]				
9	[Institutional mechanism]				
9-1	[Develop and maintain the Census related documents on detailed procedures]				
10	[Coordination]				
10-1	[Take part in the related coordination committee of the Population Census]				
10-2	[Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently]				

After discussions with Cambodian authorities concerned, the team has concluded the evaluation results as follows.

1. Relevance

Statistical information is important to promote good governance which is at the core of Rectangular Strategy and to monitor various activities of the Royal Government of Cambodia. The National Strategic Development Plan (NSDP), which formulates the vision of the development plan for the period 2006-2010, draws together the Cambodia Millennium Development Goals, the Socio-Economic Development Plan 2001-2005, the National Poverty Reduction Strategy 2003-2005, the Governance Action Plan, and the Public Financial Management Reforms. Timely and reliable statistics is very important for monitoring the progress of the NSDP.

The Population Census is the only statistical survey whose target is the whole population, and becomes the basis of various policies and plans. However it is technically and financially difficult for the Royal Government of Cambodia to implement the Census without support from donors. And the establishment listing all over the country will be the basis of economical statistics, but the list has not been prepared until now.

This project supports conducting the Population Census and the Establishment Listing, and the results of these statistical surveys as outputs of the project will not only strengthen the administrative function, but also contribute to the development policies and "Good Governance" for the Royal Government of Cambodia. As the project covers the whole process of the 2008 Population Census including preparation and follow-up period, the term of the project is proper.

On the other hand, Japan, where the Population Census has been conducted periodically since 1920, has much experience of international technical cooperation in the statistical field and high level of techniques.

Thus relevance of the project is high.

2. Effectiveness

The project activities include many components of the Population Census, which are planning, data processing, analysis, data dissemination, etc. Because these activities will be conducted in cooperation with NIS and other statistical staff, statistical abilities of related personnel will be promoted. Therefore, the project

purpose which is "the statistical staff will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination and use of the Population Census basically," is supposed to be accomplished. In this sense, the team concludes that effectiveness is high.

However, to secure Counterpart Funds of Japanese Non-Project Grant Aids and other funds from donors by NIS is quite critical for implementation of the project.

3. Efficiency

Along with UNFPA will assist the Royal Government of Cambodia technically and financially to implement the Population Census, JICA will support in its strong areas, which are data processing, analysis and so on. In the project Japanese experts are supposed to come from the government and private sectors. Present equipments and facilities in NIS are effectively utilized, and newly provided equipments will be limited to the ones necessary and proper for implementation of the Population Census. In this situation efficient implementation of the project will be estimated.

4. Impact

As the Population Census and the Establishment Listing will be conducted in the project, basic national statistical data will be provided. These data can be utilized for planning of national and local policies.

Inaccuracy of statistics has been the problem in Cambodia. Because the project will develop the precise database of statistical surveys, the reliability of the statistical data of Royal Government of Cambodia will be promoted.

Outputs of the project will be used not only by governmental officials but also by academics, NGOs, and the general public. The long term impact would be brought to national people in the Kingdom of Cambodia.

5. Sustainability

The aim of the project is to develop human resources and institutional memory through the Population Census. The project includes the technical guidance and training by JICA experts.

Counterparts and participants to the training are statistical staff in NIS, local governments and main line ministries who are supposed to stay in the census related posts after completion of the project. By making detailed records of procedures for the Population Census activities, institutional memory will be kept in these organizations. So, sustainability is acknowledged in terms of human

(3)

✓
—A

resources and organizational aspects.

On the other hand, in terms of financial aspect, the Royal Government of Cambodia which is supported by donors in many areas, is still facing difficulties.

(4)



Annex V Evaluation Method – Five (5) Basic Evaluation Components

I. Five Basic Evaluation Components

The five basic components defined by JICA as mentioned below are in line with those used for the evaluation works by DAC and other international assistance organization. Introduction of these components has enabled a consistent and well-balanced evaluation, which minimizes evaluator's bias. Further, it allows us to share and discuss the results, knowledge, and lessons-learned with other aid organizations since we use the same criteria in evaluation.

1. Efficiency

Evaluate the methods, procedure, duration, and cost of the project from a productivity perspective.

2. Effectiveness

Evaluate the results in comparison with the goals (or revised ones) defined at the initial or intermediate stage, and evaluate the attributes (factors and conditions) of the results.

3. Impact

Evaluate the positive and negative effects of the project, extent of the effects, and effects on beneficiaries.

4. Relevance

Evaluate whether the needs in the country have been correctly identified, and whether the design is consistent with the national and/or master plan.

5. Sustainability

Evaluate the autonomy and sustainability of the project after the termination of cooperation, from the perspectives of operation, management, economy, finance, and technology.

II. Relation Between Five Basic Components and PDM

The five components are used for the evaluation and a selection of a project.

These components are directly connected to the elements of PDM as shown in the Figure in the following page.

1. Efficiency

The component "Efficiency" is a measure to qualitatively and quantitatively compare all resources (input) to the results (output) of the project in order to evaluate the economic efficiency or conversion from input to output.

2. Effectiveness

(4)

→
—

The component "Effectiveness" is a measure to evaluate whether the project purpose has been achieved or not, or to evaluate how much the outputs contributed to the achievement of the project purpose, or to evaluate whether or not the outputs were as expected.

3. Impact

The component "Impact" is a foreseeable or unforeseeable, and a favorable or adverse effect of the project upon society. To evaluate impact, both the overall goal and project purpose should be referred to in the beginning of the evaluation. Evaluation from this perspective could lead to more than the confirmation as whether or not the overall goal has been obtained. Evaluation from this perspective requires comprehensive surveys in many cases.

4. Relevance

The component "Relevance" is to comprehensively evaluate whether or not the project meets the overall goal, politics of both the donor and recipient country, local needs, and given priority levels, in order to decide whether the project should be continued, reformulated, or terminated.

5. Sustainability

The component "Sustainability" is to comprehensively evaluate how long the favorable effect as a result of the project can continue after the project has been terminated. Evaluation from this perspective is required to decide how much the local resources should continue to be used for the project, and to evaluate how much the country receiving the assistance has been considering important. According to OECD (1989), "Sustainability" is a component to be used for the final test of the success of a development project.

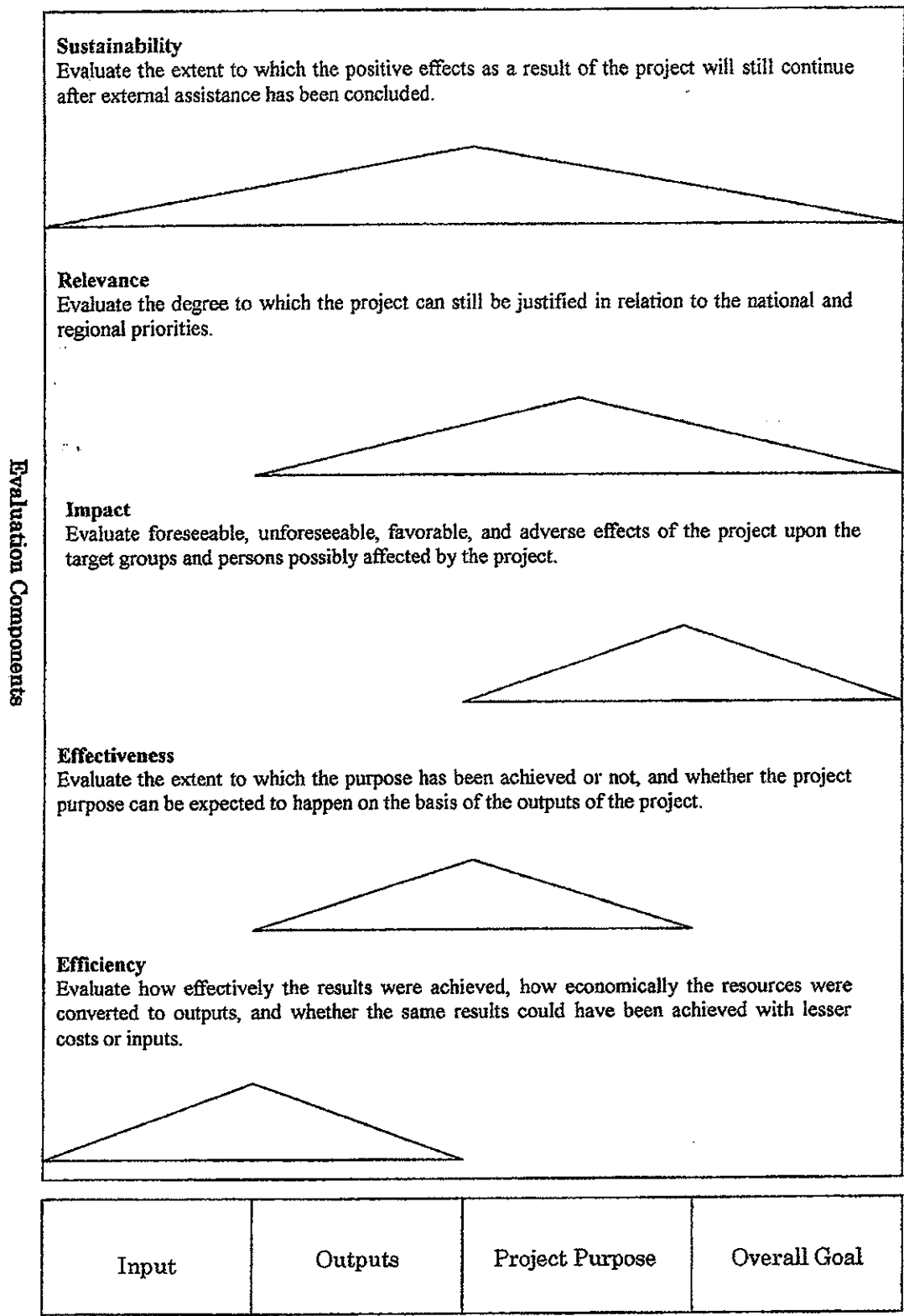
All five components are essential for any of the projects or programs. The five components give necessary information to the decision maker so that he or she can decide how to approach the next step. Since each of the five components builds on the intervention strategy, they also lay the foundation for standardization in monitoring and information handling within and among organizations and agencies.

In practice, each of the five components should also contain project-specific information.

(L9)



Five Components vs. Goal Hierarchy



Goal Hierarchy

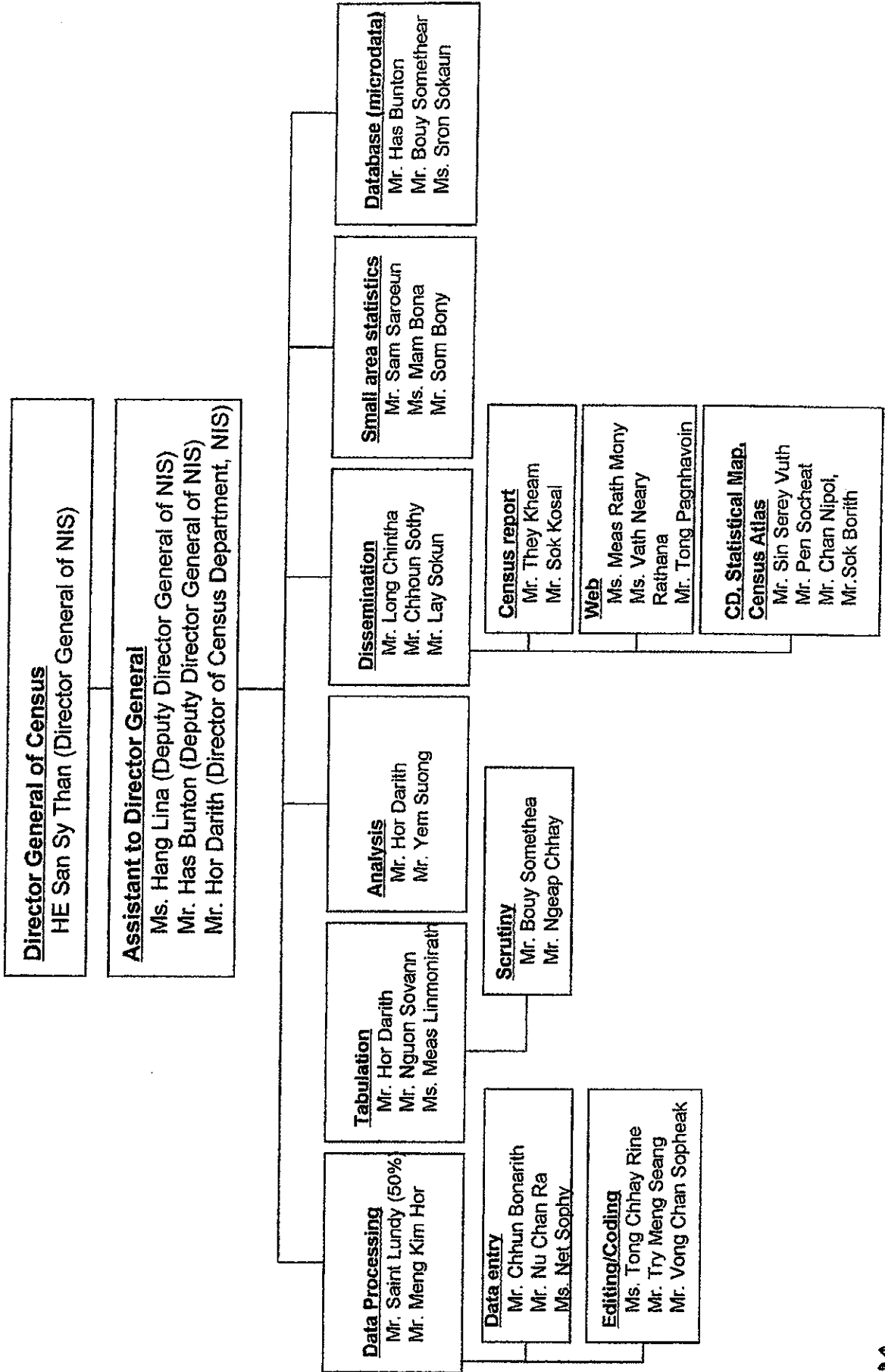
(4)

✓
5/10

5

ANNEX VI-1 List of Counterparts (Population Census activities)

Nov '06

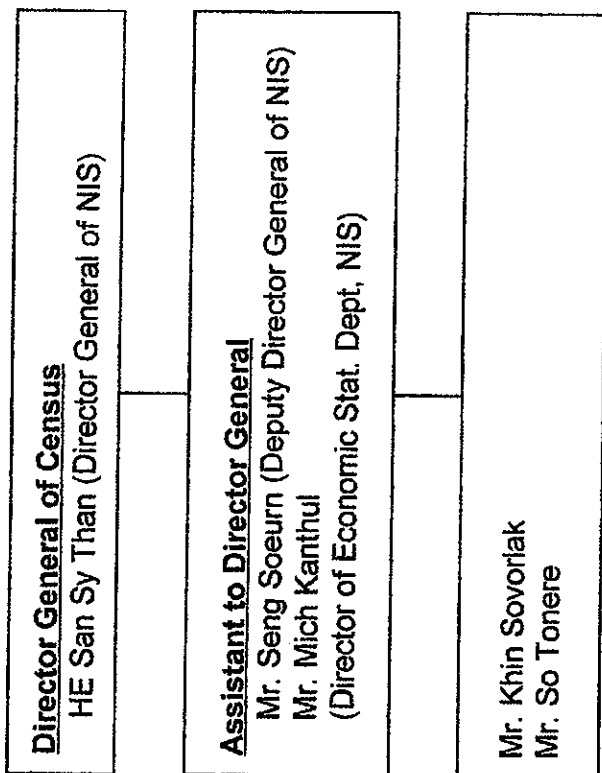


Handwritten initials and a checkmark.

29

ANNEX VI-2 List of Counterparts (Establishment Listing)

Nov '06



Handwritten initials or signature.

**RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF
THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON
IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA PHASE 2**

In response to the request of the Royal Government of Cambodia, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") has decided to implement Japanese Technical Cooperation on the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2 (hereinafter referred to as "the Project"),

Accordingly, JICA, the independent administrative institution responsible for the operation of the technical cooperation program of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Royal Government of Cambodia.

JICA and the Cambodian authorities concerned exchanged views and had a series of discussions with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Royal Government of Cambodia for the successful implementation of the Project. As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Royal Government of Cambodia, signed in Phnom Penh on June 17, 2003 (hereinafter referred to as "the Agreement"), JICA and the Cambodian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Phnom Penh, , 2006

Mr. Kazuhiro Yoneda
Resident Representative,
Cambodia Office
Japan International Cooperation Agency

H.E. Mr. Chhay Than
Senior Minister,
Minister, Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

H.E. Mr. San Sy Than
Director General,
National Institute of Statistics
Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA

1. The Royal Government of Cambodia will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation program by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II. The provision of Article V of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The provision of Article VII of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF CAMBODIAN PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Cambodian personnel connected with the Project for technical training and for conducting seminars or workshops in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA

1. The Royal Government of Cambodia will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Royal Government of Cambodia will ensure that the technologies and knowledge

acquired by the Cambodian nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Kingdom of Cambodia.

3. In accordance with the provisions of Article V of the Agreement, the Royal Government of Cambodia will grant in the Kingdom of Cambodia privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Royal Government of Cambodia will take the measures necessary to receive and use the Equipment provided by JICA under II-2 above and equipment and materials carried in by the Japanese experts referred to in II-1 above.
5. The Royal Government of Cambodia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Cambodian personnel through technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Cambodia, the Royal Government of Cambodia will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under II-2 above.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Cambodia, the Royal Government of Cambodia will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.
8. The Royal Government of Cambodia will provide the service of the Cambodian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.
9. The Royal Government of Cambodia will provide the buildings and facilities as listed in Annex V.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Director General, the National Institute of Statistics (hereinafter referred to as "NIS"), as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Deputy Director General in charge of Department of Demographic Statistics Census and Survey, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters

of the Project.

3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will provide necessary technical guidance and advice to the Cambodian counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VI.

V. MONITORING AND JOINT EVALUATION

The progress of the Project will be monitored properly through various measures such as mutual consultations or dispatch of monitoring missions. Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Cambodian authorities concerned, at the middle and during the last six (6) months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VI of the Agreement, the Royal Government of Cambodia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Kingdom of Cambodia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Royal Government of Cambodia on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Kingdom of Cambodia, the Royal Government of Cambodia will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Kingdom of Cambodia.

IX. TERM OF COOPERATION

The Term of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be from April 23, 2007 to September 30 , 2010.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF CAMBODIAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

ANNEX I MASTER PLAN

1.OVERALL GOAL

Basic and useful statistics will be provided for planning and implementation of several policies, plans, and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments.

2.PROJECT PURPOSE

The statistical staff in the NIS headquarters, provinces, and main line ministries will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census or related surveys basically.

3.OUTPUTS

- (1) Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for the enumeration of the Population Census and prepared for other statistical surveys.
- (2) As the output of the data processing and scrutiny of the Population Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.
- (3) The Population Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.
- (4) Database of the Population Census results is developed.
- (5) The Population Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.
- (6) Small area statistics are tabulated and released.
- (7) List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.
- (8) Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc.)
- (9) Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.
- (10) Necessary coordination among the related donors of the Population Census are properly made.

4.PROJECT ACTIVITIES

[Population census: Planning and implementation of the Census]

- 1-1 Plan and implement the Census, and coordinate with UNFPA and other donors
- 1-2 Delineate Enumeration Areas of the Census
- 1-3 Maintain and manage the EAs of the Census

[Population census: data processing]

- 2-1 Develop the data processing systems of the Census in the NIS headquarters in cooperation with UNFPA advisors
- 2-2 Conduct the data processing of the Census
- 2-3 Scrutinize the micro-data of the Census

2-4 Tabulate and scrutinize the statistical tables of the Census

[Population Census: analysis]

3-1 Analyze of the Census results in cooperation with UNFPA advisors

[Population census: database]

4-1 Develop statistical database storing demographic statistics data mainly in the NIS headquarters

4-2 Draft the procedures and guidelines on the statistical database systems

[Population Census: dissemination]

5-1 Compile the publications of the Census results

5-2 Prepare the CDs of the Census results

5-3 Prepare the web-contents of the Census results

5-4 Prepare the statistical maps of the Census results

5-5 Compile the census atlases of the Census results

5-6 Conduct training for using and analyzing the Census results to the statistical staff of the main line ministries, etc.

[Population Census: small area statistics]

6-1 Develop the village-level data processing systems of the Census in the NIS headquarters in cooperation with UNFPA advisors

6-2 Conduct training for using and analyzing the village-level results of the Census to the statistical staff of provinces, etc

[Establishment listing]

7-1 Plan the implementation of the establishment listing

7-2 Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment lists

7-3 Develop the sampling frame for economic statistical surveys in the NIS headquarters

7-4 Conduct sample establishment surveys

[Workshops]

8-1 Hold the opening seminar of the Project

8-2 Hold the workshops on the result of EA delineation

8-3 Hold the workshops to disseminate the result of the Census

8-4 Hold the seminar to make the project widely known to the public

[Institutional Memory]

9-1 Develop and maintain the census related documents on detailed procedures

[Coordination]

10-1 Take part in the related coordination committee of the Population Census

10-2 Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Short-term experts

The following short-term experts will be dispatched.

	Assignment Title	Period	Duties and Job Description
(1)	Chief Advisor	1 – 2 months (5 - 14 times)	to give guidance and advice to Director General of NIS, to lead and coordinate overall activities of experts dispatched by JICA for implementing the Project, to advise NIS staff how to coordinate with donors and related line ministries to implement the population census, and to instruct NIS staff statistical methodologies for Population Census
(2)	Data Processing / Programming	1 – 5 months (3 - 10 times)	to instruct NIS staff how to develop applications for data processing and scrutinize Population Census data and tables.
(3)	Enumeration Area /GIS	1 – 5 months (2 - 4 times)	to manage the delineation of Enumeration Area (EA), to monitor EA, and to instruct NIS staff GIS technology to digitize and utilize village maps, etc.
(4)	Data Scrutiny / Analysis	1 –10 months (4 - 9 times)	to instruct NIS staff how to scrutinize Population Census data and tables. to instruct NIS staff statistical methodologies to analyze the results of Population Census and to conduct training for using the results of Population Census to the statistical staff of line ministries.
(5)	Database / Dissemination	1 – 3 months (4 - 7 times)	to instruct NIS staff how to develop and manage database storing the results of Population Census and how to disseminate the results of Population Census by means of publication, CD, website, statistical map, and census atlas.
(6)	Small Area Statistics	2 – 3 months (4 - 6 times)	to instruct the statistical staff of NIS and provinces how to process Population Census tables by small area, statistical methodologies to analyze small area statistics, and how to disseminate small area statistics.
(7)	Establishment Listing	1 – 6 months (6 - 8 times)	to instruct NIS staff how to plan and implement Establishment Listing and how to process, analyze, and disseminate the results of Establishment Listing.
(8)	Management of Population Census Implementation / Project Coordinator	6 – 8 months (4 - 6 times)	to coordinate project activities, to manage the project budget and equipment, to manage the implementation of Population Census, and to give guidance and advice to the counterparts of NIS

This list is subject to change through the discussion between both sides whenever the necessity arises and it will be reflected to the annual plan of the Project.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The following machinery and equipment, if necessary for the implementation of the project, will be provided.

	Name
(1)	Color Multifunctional Printer
(2)	Laser Printer
(3)	Server with monitor, UPS and rack
(4)	HDD
(5)	Firewall and Router
(6)	Network installation
(7)	Electricity installation
(8)	Projector
(9)	Software
(10)	DVD Recorder

This list is subject to change through the discussion between both sides whenever the necessity arises and it will be reflected to the annual plan of the Project.

69

ANNEX IV LIST OF CAMBODIAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE
PERSONNEL

1. Project Director

Director General of the National Institute of Statistics (NIS)

2. Project Manager

Deputy Director General in charge of Department of Demographic Statistics Census and Survey

3. Counterpart Personnel

(1) Deputy Director General in charge of Department of General Statistics Department

(2) Deputy Director General in charge of Economics Statistics Department

(3) Deputy Director General in charge of Social Statistics Department

(4) Director, Deputy Directors, staff members of General Statistics Department

(5) Director, Deputy Directors, staff members of Economics Statistics Department

(6) Director, Deputy Directors, staff members of Social Statistics Department

(7) Director, Deputy Directors, staff members of Department of Demographic Statistics, Census and Survey

4. Administrative Personnel

Secretaries and Typists for the Japanese Team

(U)

✓
28

ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, building and facilities necessary for the Project
2. Office space and facilities for the Japanese experts
3. Other facilities and equipment mutually agreed upon as necessary

(4)

✓
60

ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

A Joint Coordinating Committee will be created, which will meet at least once a year and whenever the need arises.

The functions of the Joint Coordinating Committee are as follows:

- (1) To approve the annual work plan of the Project based on the Tentative Schedule of Implementation within the framework of the R/D
- (2) To evaluate the result of the annual work plan and the progress of the technical cooperation
- (3) To review and exchange opinions on major issues that arises during the implementation of the Project

2. Members of the Committee

(1) Chairperson

Director General of NIS

(2) Members

a. Cambodian side

Deputy Director Generals of NIS

Directors of departments of NIS

Deputy Directors of departments of NIS

A Representative of Ministry of Planning

A Representative of Council for the Development of Cambodia

Other Cambodian counterpart personnel

Other persons concerned appointed by Chairperson

b. Japanese side

Chief Advisor

Other Japanese experts

A representative of the JICA Cambodia office

Other persons concerned appointed by Chief Advisor

Note:

Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meetings as observer(s).

別添 4. 事前調査団現地報告

2006年11月27日
独立行政法人国際協力機構
社会開発部 第一グループ
社会制度・平和構築チーム

カンボジア政府統計能力向上計画フェーズ2事前評価調査団現地報告

2006年11月19日より27日までの間、「政府統計能力向上計画フェーズ2」の事前評価調査を実施した。

調査においては、主として計画省統計局（NIS）、UNFPA、計画省地域事務所、他省庁等と協議を行い、フェーズ1の進捗状況、フェーズ2のプロジェクト内容（活動、成果、目標や想定される協力期間と実施計画等）、必要な人員と機材や経費、プロジェクト実施妥当性等5項目評価、等について確認し、その結果をミニッツに取りまとめた。

調査の概要は以下のとおり。

1. プロジェクト内容

ミニッツにあるPDMのとおり。ポイントとしては、主として2008年カンボジア人口センサスにUNFPA等と共同して協力し、それをOJTとして、合わせて統計能力向上をめざす。さらに、人材育成の観点だけではなく、NISの組織としての、人口センサス及びその他本プロジェクトで実施する関連統計に関する技術的蓄積の工夫の観点も盛り込む。

上記をめざす過程での具体的成果物は、調査区地図、分析データの刊行物、センサスアトラス、各種統計表、マニュアル等となる。

2. プロジェクト実施・運営体制、必要な資金・機材等

(1) 実施・運営

NIS局長を総責任者、NISセンサス関係部門担当の副局長をプロジェクト実施責任者とし、センサス関係以外のプロジェクト実施内容部分については、プロジェクト実施責任者から各々の関係部門担当副局長を通じて指揮することとなる。また、集計、分析については、相当数の人員が必要となるが、NISのカウンターパート（ミニッツにあるリストに添付。うち19人には実際に面談し、基本的に英語力に問題はなく、また自分の担当する部分において基礎的な知識も心得ていることを確認）が、NISの確保するその他の集計作業への指導員となって作業を実施していく。

あわせて、地方計画局も4か所訪問し、都市、村落双方の地方の統計実施状況を聞き取り、調査区設定現場にも同行した。Provinceでは独自の価格調査その他地域レベルでの各種統計を実施し、取りまとめたレポートも発行しており、一定のレベルがあることを確認した。Provinceレベルになると、英語を解するものはないが、地域対象の研修には英語—クメール語通訳をNIS職員が務め、また必要な指導もNIS職員を中心に介して実施するのでこの点に大きな問題はない。

訪問した地方計画局で聞いたところでは、1998年のセンサス経験者は比較的若手を含めてすべて残っている由である。これは、人材の流動性が少なく10年後も同様な状況が期待できる一方、新しい人材が予算不足で雇用できない、過去の公務員の過剰雇用で自然減を待っている状況、等も影響していると考えられ、必ずしも手放しで歓迎できる事態とはいえない。

人口センサス結果の想定されるユーザーの一部である関係省庁については2省訪問したが、例えば教育省からは、1998年のセンサス結果を、実際に政策策定（EFA 2003～2015、Education Strategic

Plan 2005～2015)等に活用したことが紹介された。2008年についても同様の活用が期待される。

なお、センサスそのものについて、National Census Committee (NCC)、Census Technical Committee (CTC)、Provincial Census Committee (PCC)という実施体制が国家ですでに組織されている(前二者)、もしくは組織される予定(後者)であり、各省庁間の調整は副首相が責任者となってNCCで、技術面は計画省上級大臣(ミニッツ署名者)が責任者となってCTCで行われており、また(地方への指揮命令など)行政上の管理面はPCCで実施される予定である。

(2) 資金・機材

資金面は、既にカンボジアの2008 General Population Census Planにおいて試算されている。その試算からJICAで考えられる部分を除いて、UNFPA、ドイツ政府が支援の意向を示している。さらに、日本のノンプロ無償見返り資金を含めればかなりの部分がカバーされることになるが、いまだ不足部分は残っており、ここについてはNISが予算を申請しているところのことである。従って、日本の見返り資金が担保されるかされないかは大きな意味をもつ。

機材面では、現在フェーズ1で研修に使用しているもの、UNFPAからの寄贈のものなどがあり、空調とともによい状態で活用、保管されている。また、既に承認がなされた分の見返り資金による統計センターについては早速建設が始まっていた。次回の見返り資金で集計作業用コンピュータが入れば、それらとともに、現有の機材が統計センターに移され、今後の作業に活用される予定である。

Provinceレベルではコンピューター(Windows XPが入ったもの)が、訪問した地方計画局ではどこも最低1台は稼働しているものが入っており(それ以下の地域レベルではコンピューターは入っていても壊れているなどしている由)、小地域統計の活用は可能な見込み。

機材導入やプロジェクトの進行に影響するため、予定通りの統計センター完工や必要なファシリティ(コンセントや電力)確保などをNISに申し入れ、先方からは既に織り込んで建設に着手している旨回答あり。

3. 5項目評価

ミニッツにあるとおり。ポイントとしては、国家の法律や計画に基づく人口センサス事業に沿った協力であることや、すべての施策の基本となるガバナンス・統計能力の向上(こちらも国家の計画で記載されている)に関係するため妥当性も高いこと、国家事業を通じた人材、組織育成ができ、有効で、自立発展性も見込んだ協力であること、UNFPA等との連携案件でありその点でも日本として効率的であること、広く提供されるデータが収集されインパクトも広範になることが期待できることである。ただし、カンボジアは、いずれの分野においても資金面でドナーなど外部の資金に頼っている状況から抜け出せておらず、資金面での持続性は従前の通り厳しいと言わざるを得ない。

4. その他

UNFPA、ドイツ政府の資金提供も基本的に問題ない旨確認したものの、いずれのドナーもそうであるように、完全な複数年度コミットや承認前のコミットはできない。日本の見返り資金についても、その目的に照らし外務本省の前向きな感触はいただいているが、まだカンボジア経済財務省から正式な申請が在カンボジア日本大使館に届いていない(NISからは経済財務省に提出済み)ため、この部分の促進をカンボジア側に申し入れた。カンボジア人口センサス実施に際しては、JICAのほ

か、UNFPA、ドイツ政府、日本のノンプロ無償見返り資金の連携協力が不可欠である。前三者がほぼ本件協力についての前向きな意向を表明しているなか、見返り資金が承認されるかされないかが、本プロジェクトのみならずカンボジアの2008年人口センサスの実施に際し、非常にCriticalなポイントとなっている。今後のスケジュールを勘案し、大使館には、12月10日には大使館としての本件承認可否について感触をいただきたい旨依頼し、了承を得た。

また、上記必要なドナー調整、大使館との調整は、プロジェクト実施前から実施中にかけて、是非とも事務所にもフォロー（NIS、専門家と共に関係Committeeに出席し調整する等）願いたい。

5. 団長所感

本件実施については、そもそもフェーズ1において、人口センサスへの協力が要請内容としてあがっており協力を想定していたが、その人口センサスの実施日程が確定していなかったために、協力の範囲を「研修」に絞って実施することにし、2008年人口センサスの実施が決定次第、協力内容を直ちに検討する、となっていた（当時のR/Dにその旨明記）ものである。

本プロジェクトは、フェーズ1の協力や他ドナーによる統計能力向上に関する協力の基礎の積み重ねの上に、カンボジアの法で定められた人口センサスという国家的事業に協力することを通じて、国の施策の基礎である統計能力向上につなげる意義深いものであるといえる。

また、人口センサス実施だけではなく、持続性の観点から、人口センサス事業を主たるOJTの対象として、人材育成、組織としての経験蓄積も視野に入れている。

統計能力向上はNational Strategic Development Plan（カンボジア版PRSP・MDGsを牽いたもの）の手段であるRectangular Strategyの中心にすえられた「Good Governance」に必要であり、また、多くのドナーが支援する保健衛生・教育等BHN分野で求められる、基本的なデータを提供できるようにするものであり、その意味でも縁の下の力持ち的ではあるが重要な分野といえる。

本件は、資金面、実施面でUNFPA、ドイツ政府、日本の無償資金協力見返り資金との連携を見込んでおり、JICAはその得意分野である技術面を一番必要とされている部分（調査区設計、集計・分析・提供）を担当し、刊行物には日本のODAマークを始めJICAロゴをUNFPAなどとともにつすことにより、日本の協力にとっても、顔の見える、効率のよいものとなっている。

また、調査区設定には、JICA開発調査（地理情報整備計画、2000～2003、他）で作成した地図を用いること、ボランティアによる統計研修（プロジェクトフェーズ1ではカバーできないより田舎の地方に、プロジェクトの研修用ラップトップパソコン等が使用されない期間をぬって、それを地方に運搬し実施している）とプロジェクトとの有効な補完関係を築いていること、人口センサスを実施しその「組織的な知見の蓄積・継承」のノウハウも有する日本の官庁である総務省と、統計の技術を要する民間のノウハウ活用の、官民協力も考えていることから、様々な面で有効な連携案件といえる。

カンボジアの案件は何に関しても資金面での不足感が否めず、一度協力を開始すると、人的組織的な自立発展の工夫をいくら行っても、資金面での自立発展性に確証がない。プロジェクト終了後には、突然すべてを終了するのではなく、プロジェクト終了後の在外事業強化費の活用、企画調査員の同経費の活用、研修員F/U経費の活用などを通じ、経費面での若干の支援を、規模を縮小して残しつつ、日本の人的協力終了後のカンボジア側の人的組織的な自立・持続をさらに固め後押しできるような方法を検討し、経費的にもFade outしていけるような出口シナリオを、長期的視点から考える必要があると思われる。

以上

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS
FROM JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 20-Nov
Time: 8:30
Venue: JICA Cambodia Office

No.	Name	Institution/Position
1	Experts (Mr. Nishi, etc)	JICA expert
2	Kazuhiro Yoneda	Resident Representative, JICA Cambodia Office
3	Hikoyuki Ukai	次長, JICA Cambodia Office
4	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
5	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1 (Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
6	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
7	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1 (Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 20-Nov
Time: 10:00
Venue: Japanese Embassy

No.	Name	Institution/Position
1	Yoshihiro Sakuda	Second Secretary, Embassy of Japan in Cambodia
2	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
3	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
4	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
5	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
6	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 20-Nov

Time: 14:00-15:00

Venue: Meeting with experts (NIS)

No.	Name	Institution/Position
1	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
2	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
3	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
4	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
5	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date : 20-Nov

Time : 15:00~

Venue : Meeting with NIS (Confirm the progress of implementation of 2008 Population Census)

No.	Name	Institution/Position
1	Hang Lina	Deputy Director General of NIS/MoP
2	Yem Suong	National Advisor, NIS
3	Long Chintha	Deputy Director, Population Census and Survey Department, NIS
4	Meng Kim Hor	Deputy Director, Population Census and Survey Department, NIS
5	Meas Rath Mony	Chief, Bureau of Industrial and Trade Statistics, Economic Statistics Department, NIS
6	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
7	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
8	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
9	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
10	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 21-Nov

Time: 9:30~

Venue: Visit Planning Department of the
Ministry of Planning in Prey Veng

No.	Name	Institution/Position
1	Samreth Makara	Director of Planning
2	Vann Sann	Deputy Director, Department of Planning
3	Soeung Sarath	Deputy Chief, Statistics Office
4	Prak Sophat	Deputy Bureau Chief, Administration Office
5	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
6	Yem Suong	National Advisor, NIS
7	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
8	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
9	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date : 21-Nov

Time : 17:00-18:00

Venue : Visit Planning Department of MoP
in Kandal

No.	Name	Institution/Position
1	Ka Den	Deputy Director, Department of Planning
2	Pao Bumsan	Staff, Planning Office
3	Thoeur Thok	Staff, Planning Office
4	Yeng Bunheang	Staff, Planning Office
5	Chan Tara	Deputy Chief, Inspection Office
6	Kin Nor	Staff, Statistical Office
7	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
8	Yem Suong	National Advisor, NIS
9	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
10	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
11	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 22-Nov

Time: 10:00-11:50

Venue: Meeting with NIS(Confirm C/P,
Machinery and Equipment)

No.	Name	Institution/Position
1	Has Bunton	NIS/DDG
2	Hang Lina	NIS/DDG
3	Salh Neryro Kitana	NIS/Staff
4	Som Bony	NIS/Staff
5	Bouy Somethear	Vice Bureau Chief of Census
6	Chhoun Sothy	Bureau Chief of Deta Processing
7	Sam Saroeun	Vice Bureau Chief of Servey
8	Pen Socheat	Vice Bureau Chief
9	Sin Serey Vuth	Bureau Chief (NIS)
10	Yem Suong	National Advisor, NIS
11	Meng Kim Hor	Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey, NIS
12	Long Chinthia	Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey, NIS
13	Saint Lundy	Deputy Director, General Statistics Department, NIS
14	Mich Kanthul	Director, Economic Statistics Department, NIS
15	They Kheam	Deputy Director, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS
16	Meas Rath Nony	Chief, Bureau of Industrial and Trade Statistics, Economic Statistics Department, NIS
17	Ngeap Chhay	Vice Bureau Chief, Bureau of Field Operation, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS
18	Tong Chhay Rine	Deputy Director, Economic Statistics Department, NIS
19	Chhun Bonarith	Vice Bureau Chief, Bureau of Statistical Information, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS
20	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
21	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
22	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
23	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 22-Nov

Time: 14:00~

Venue: Visit UNFPA Cambodia Office

No.	Name	Institution/Position
1	Bettina Maas	UNFPA Rep.
2	Sok Vanna	PD Manager /UNFPA
4	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
5	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
6	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
7	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 23-Nov

Time: 14:00-15:00

Venue: Meeting with NIS (Discussion on
the Project)

No.	Name	Institution/Position
1	Hang Lina	NIS/DDG
2	Long Chinthia	Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey. NIS
3	Yem Suong	National Advisor, NIS
4	Meng Kim Hor	Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey. NIS
5	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
6	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
7	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
8	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
9	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 23-Nov

Time: 15:15~

Venue: Visit Ministry of Education

No.	Name	Institution/Position
1	Kuy Phala	Deputy Director, Department of Planning, Ministry of Education
2	Puf Sauifu	Deputy Director, Department of Planning, Ministry of Education
3	Tham Setharath	Vice Chief of Project Management Office, Department of Planning, Ministry of Education
4	Long Dim	Staff, Department of Planning, Ministry of Education
5	Khlok Vira	Staff, Department of Planning, Ministry of Education
6	Wow Theauy	Staff, Department of Planning, Ministry of Education
7	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
8	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
9	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
10	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
11	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date : 24-Nov

Time : 8:30~

Venue : Visit Planning Department of MoP
in Phnom Penh

No.	Name	Institution/Position
1	Mom Sandap	Director of Planning
2	Yim Rath	Deputy Director Planning Department
3	Kim Chan Dina	Deputy Director Planning Department
4	Mak Phiquum	Staff, Bureau of Statistic
5	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
6	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
7	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
8	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
9	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 24-Nov

Time: 10:00~

Venue: Meeting with NIS(Discussion on the Project)

No.	Name	Institution/Position
1	HE San Sy Than	Director General, NIS
2	Hang Lina	Deputy Director General, NIS
3	Has Bunton	Deputy Director General, NIS
4	Yem Suong	National Advisor, NIS
5	Long Chintha	Deputy Director of Demographic Statistics, Census and Survey. NIS
6	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
7	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
8	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
9	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
10	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
11	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date : 24-Nov

Time : 15:00

Venue : Visit CDC(Council for the
Development of Cambodia)

No.	Name	Institution/Position
1	Heng Sokun	Director, Cambodia Rehabilitation and Development Board, Council for the Development of Cambodia
2	Im Sour	Deputy Director, Cambodia Rehabilitation and Development Board, Council for the Development of Cambodia
3	Dim Kimhon	Cambodia Rehabilitation and Development Board, Council for the Development of Cambodia
4	Sachiko Nishihara	CDC/JICA expert
5	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
6	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
7	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
8	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 24-Nov

Time: 16:00~

Venue: Visit Ministry of Industry, Mines
and Energy

No.	Name	Institution/Position
1	Nuon Sophorn	Deputy Director, Industrial Affair Department, Ministry of Industry, Mines and Energy
2	Heng Sophoan	Deputy Director, Industrial Affair Department, Ministry of Industry, Mines and Energy
3	Sok Sanbath	Deputy Chief, Planning and Statistics Office, Industrial Affair Department, Ministry of Industry, Mines and Energy
4	Hort Pheng	Chief, Planning and Statistics Office, Industrial Affair Department, Ministry of Industry, Mines and Energy
5	Iv Sambath	Staff, Planning and Statistics Office, Industrial Affair Department, Ministry of Industry, Mines and Energy
6	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
7	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
8	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
9	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
10	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 25-Nov

Time: 10:00~

Venue: Visit Planning Department of MoP

No.	Name	Institution/Position
1	San Sy Than	Director General of NIS
2	Soukim Prithy	Director, Department of Planning, Siem Reap Province
3	Seng Visal	Vice Bureau Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
4	Nim Sophin	Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
5	Ly-Sareum	Vice Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
6	Sy Ve	Vice Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
7	Srey Sokun	Vice Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
8	Hak Sotheara	Deputy Director, Planning Department, Siem Reap Province
9	Chhoeun Sotoa	Vice Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
10	Em. Sean	Chief, Planning Office, Department of Planning, Siem Reap Province
11	Hom Kim Ay	Vice Chief, Planning Office, Pouk District, Siem Reap Province
12	Kas Mach	Vice Chief, Statistical Office, Pouk District, Siem Reap Province
13	Chen Sarakvcm	Staff, Planning Office, (District Office), Siem Reap Province
14	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
16	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
17	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
18	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
19	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date : 27-Nov

Time : 10:00~

Venue : Wrap Up Meeting with NIS(Confirm
Minutes of Meeting)

No.	Name	Institution/Position
1	San Sy Than	DG, NIS
2	Has Bunton	DDG, NIS
3	Seng Soeurn	DDG, NIS
4	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
5	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
6	Chhoun Sothy	Chief, Bureau of Data Processing, General Statistics Department, NIS
7	Sin Serey Vuth	Chief, Bureau of Statistical Information, Demographic Statistics, Census and Survey Department, NIS
8	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
9	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
10	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
11	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 27-Nov

Time: 14:00~

Venue: Signing on Minutes of Meeting

No.	Name	Institution/Position
1	HE Chhay Than	Senior Minister, Minister, Min of Planning
2	HE Ouk Chay	Secretary of States, Min of Planning
3	HE San Sy Than	Director General, NIS
4	Seng Soeurn	Deputy Director General, NIS
5	Saint Lundy	Deputy Director Dept of General Statistics
6	Ouk Eam	Deputy Director Dept of Social Statistics, NIS
7	Kim Net	Chief, Bureau of Social & Labour Statistics, Social Statistics Department, NIS
8	Liu Penh	Deputy Director, Dept of Population Census & Survey, NIS
9	Has Bunton	Deputy Director General, NIS
10	Kazuhiro Yoneda	Resident Representatius, JICA Cambodia Office
11	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
12	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
14	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
15	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
16	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA

**STUDY TEAM OF IMPROVING OFFICIAL STATISTICS FROM
JAPAN
ATTENDANCE LIST**

Date: 27-Nov

Time: 14:15~

Venue: Report to the JICA Cambodia
Office

No.	Name	Institution/Position
1	Experts (Mr.Nishi, etc)	JICA expert
3	Kazuhiro Yoneda	Resident Representatius, JICA Cambodia Office
4	Hikoyuki Ukai	次長, JICA Cambodia Office
5	Nami Kasahara	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
6	Nobuyuki Konishi	JICAアジア第一部第二G東南アジ ア第三チーム長
7	Eiichiro Hayashi	Project Formulation Advisor JICA Cambodia Office
8	Mitsuko Kumagai	Team Director, Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA
9	Hideo Ishihara	Deputy Director, Population Census Division, Statistical Survey Department, Statistics Bureau, Ministry of Internal Affairs and Communications
10	Hideo Tsukamoto	Senior Program Officer Social System & Peace Building Team, Group 1(Social System & Peace Building), Social Development Department, JICA